第一次山陽小野田市総合計画
基本計画の見直しに関する
アンケート調査　集計結果

＜市民アンケート編＞

平成24年8月

山陽小野田市　総合政策部　企画課

memo

1.調査の概要

（1）調査の目的

本調査は、「第一次山陽小野田市総合計画」の基本計画の見直しの参考資料とするために実施しました。
集計結果については、平成18年調査時（平成18年1月）からの推移が分かるよう、前回の調査結果と今回の調査結果の両方を掲載し、比較ができるようにまとめました。

（2）調査の方法

①対象者

市内在住の１８才以上の3,500人を対象にしました。

②調査の方法

郵送による配布・回収を行い、無記名回答方式としました。

③調査期間

平成24年7月6日～7月31日

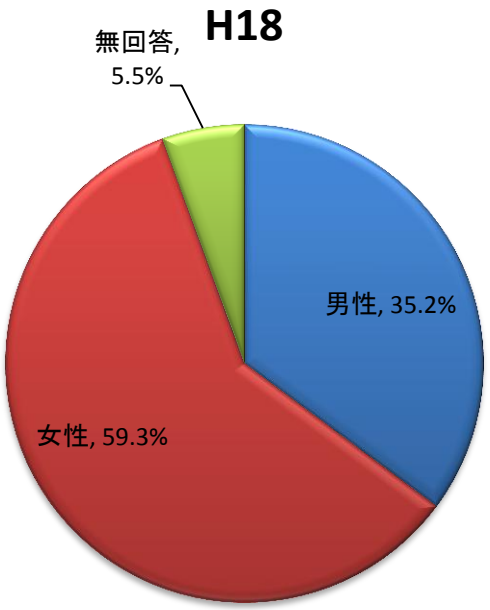
④回答状況

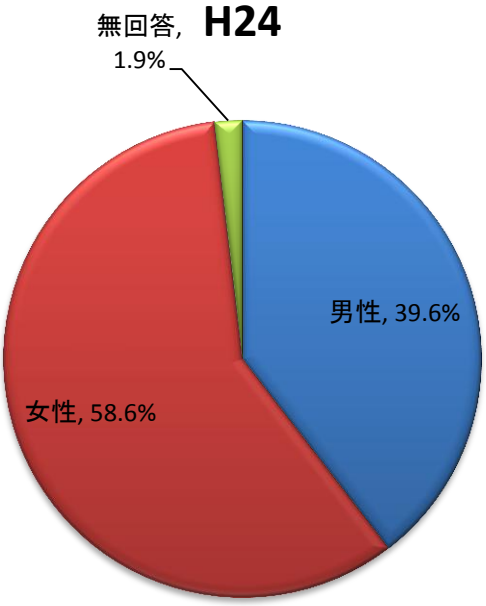
	H18	H24
配布数	3,500	3,500
回収数	1,407	1,183
回答率	40.20%	33.80%

（3）調査対象者の属性

問1　あなたの性別は？

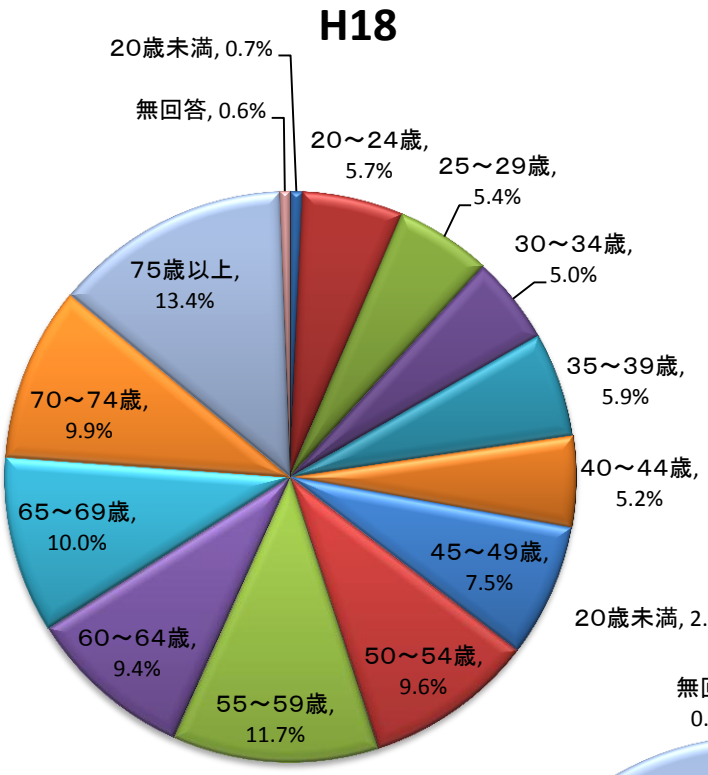
項　　目	H18	H24
男性	495	468
女性	834	693
無回答	78	22
合　　計	1,407	1,183

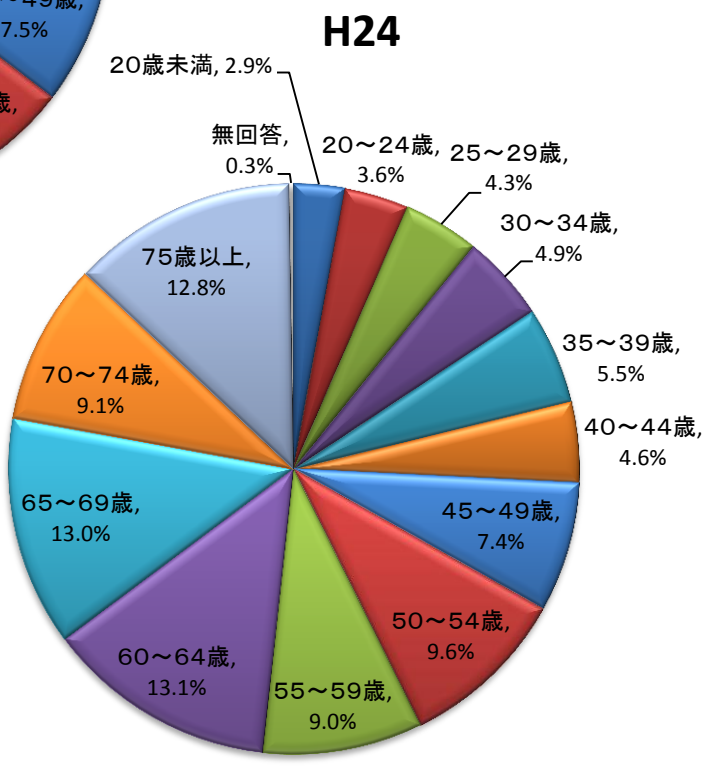




問2　あなたの年齢は？

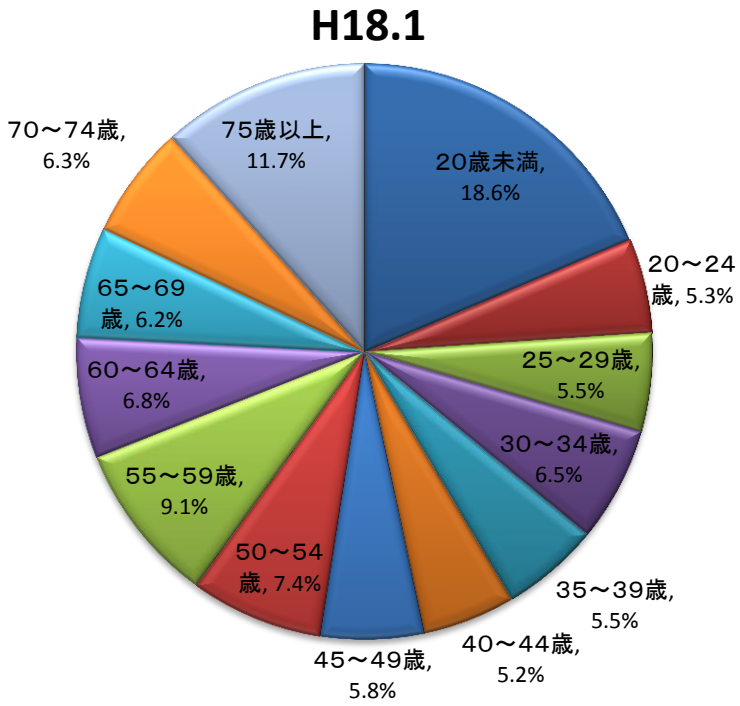
項　　目	H18	H24
20歳未満	10	34
20～24歳	80	43
25～29歳	76	51
30～34歳	70	58
35～39歳	83	65
40～44歳	73	54
45～49歳	106	87
50～54歳	135	113
55～59歳	165	107
60～64歳	132	155
65～69歳	141	154
70～74歳	139	108
75歳以上	189	151
無回答	8	3
合　　計	1,407	1,183

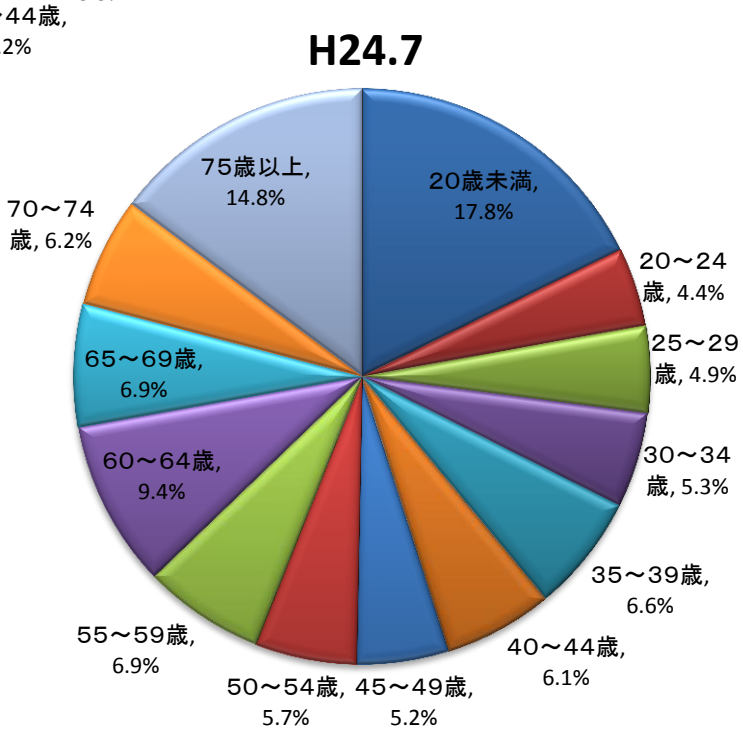




※(参考)山陽小野田市全体の年齢別人口

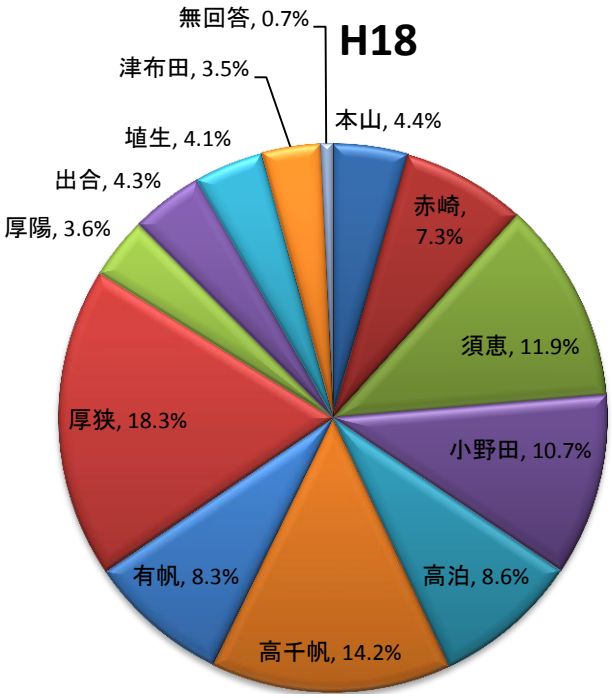
項　　目	H18.1	H24.7
20歳未満	12,527	11,660
20～24歳	3,562	2,893
25～29歳	3,720	3,199
30～34歳	4,340	3,512
35～39歳	3,724	4,342
40～44歳	3,507	4,016
45～49歳	3,886	3,412
50～54歳	5,002	3,727
55～59歳	6,119	4,499
60～64歳	4,553	6,144
65～69歳	4,167	4,514
70～74歳	4,262	4,045
75歳以上	7,831	9,697
合　　計	67,200	65,660

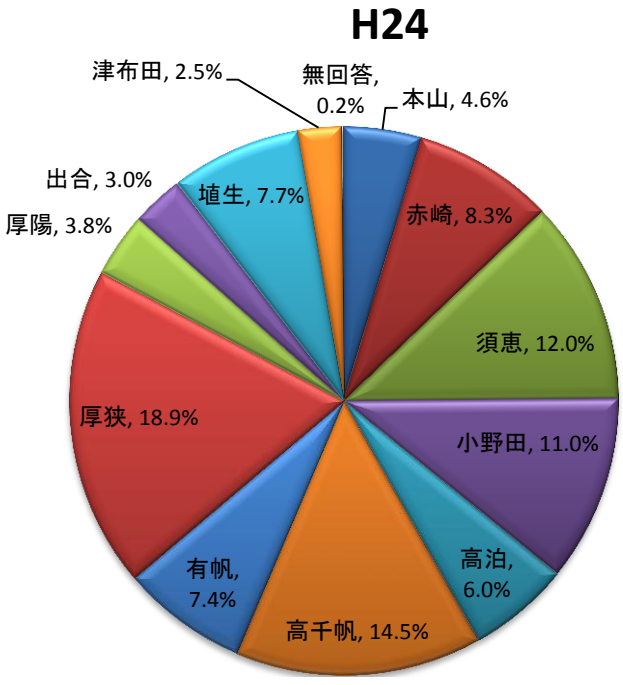




問3　あなたのお住まいの校区は？

項　　目	H18	H24
本山	62	54
赤崎	103	98
須恵	168	142
小野田	151	130
高泊	121	71
高千帆	200	172
有帆	117	88
厚狭	258	224
厚陽	51	45
出合	60	36
埴生	57	91
津布田	49	30
無回答	10	2
合　　計	1,407	1,183

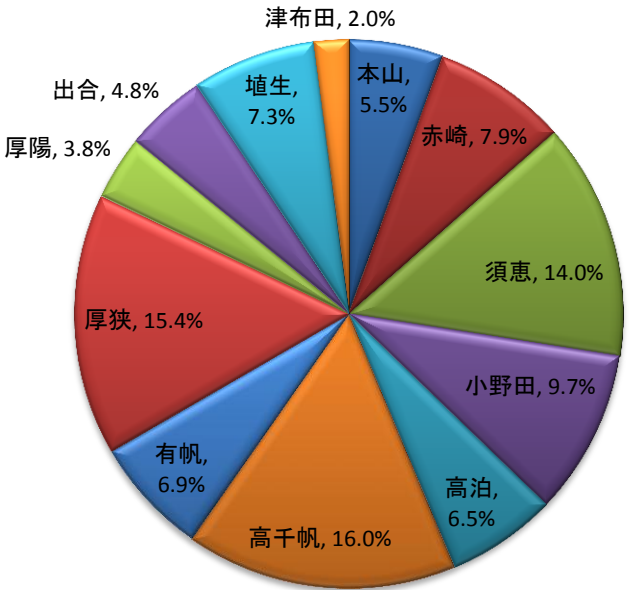




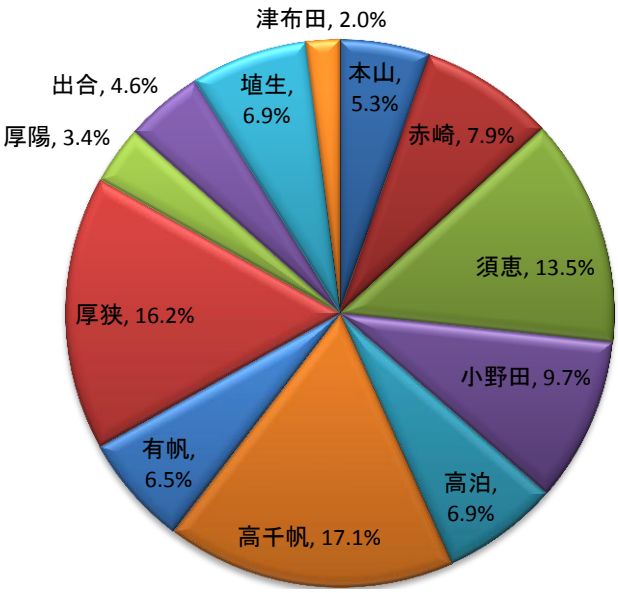
※(参考)山陽小野田市全体の校区別人口

項　　目	H18.1	H24.7
本山	3,729	3,476
赤崎	5,322	5,200
須恵	9,399	8,844
小野田	6,544	6,380
高泊	4,361	4,544
高千帆	10,765	11,206
有帆	4,655	4,297
厚狭	10,376	10,611
厚陽	2,549	2,256
出合	3,230	3,026
埴生	4,898	4,521
津布田	1,372	1,299
合　　計	67,200	65,660

H18.1

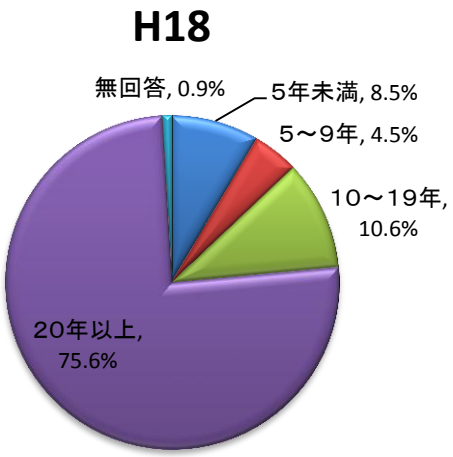


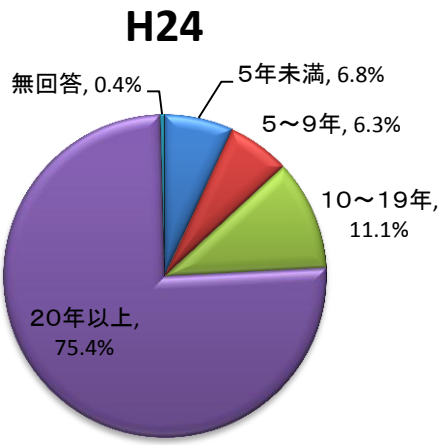
H24.7



問4　あなたは山陽小野田市に住んで何年になりますか？

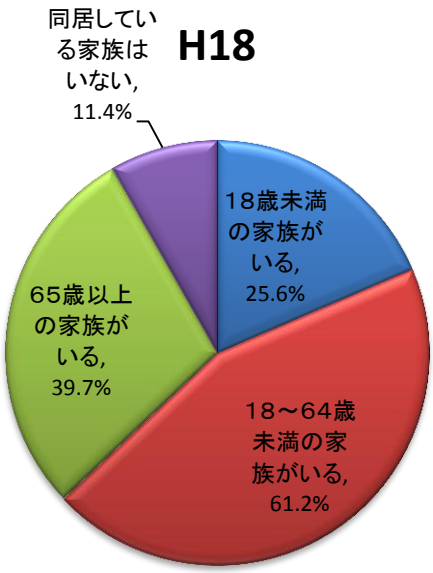
項　　目	H18	H24
5年未満	119	81
5～9年	63	74
10～19年	149	131
20年以上	1,063	892
無回答	13	5
合　　計	1,407	1,183

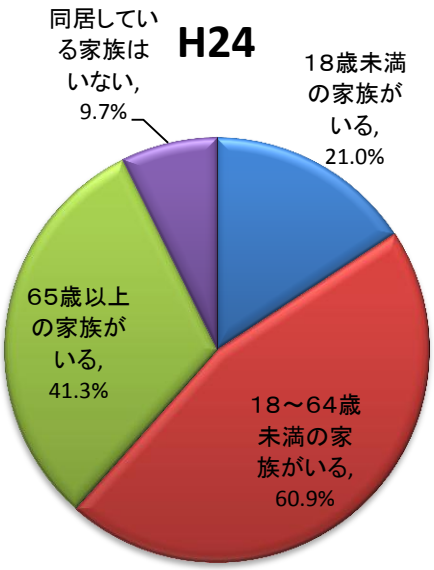




問5　あなたと同居している家族についてお答えください

項　　目	H18	H24
18歳未満の家族がいる	360	248
18～64歳未満の家族がいる	861	720
65歳以上の家族がいる	559	489
同居している家族はいない	160	115
合　　計	1,407	1,183





memo

2.調査の結果

問6　山陽小野田市の好きなところ、きらいなところは何ですか？

●好きなところ

項　　目	H18	H24
瀬戸内地域の気候・風土	499	526
瀬戸内海や山などの自然環境	512	511
コンパクトにまとまった市街地	61	87
宅地の価格や住宅の取得のしやすさ	117	109
近所づきあいなど近隣の連帯感	223	205
犯罪などの治安の安全性	180	245
道路などの交通の安全性	104	137
日常の買い物の便利さ	485	444
鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	107	98
病院の数や質（利用しやすさ）	373	269
子育て環境の充実	41	44
高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	59	49
児童・生徒などの教育環境の充実	33	37
図書館、公民館などの生涯学習環境の充実	214	160
文化活動の充実（演奏・ダンスなど）	22	24
文化会館など文化施設の充実	65	67
大学がある(山口東京理科大学)	87	43
スポーツ・レクリエーション施設の充実	35	43
江汐、物見山公園などの都市公園の充実	427	353
街区（児童）公園などの近隣公園の充実	62	66
数多くあるゴルフ場	127	80
山陽工業地帯に位置していること	30	19
福岡・北九州等大都市への近接性	191	227
新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	562	495
市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	3	8
農林水産業、畜産業などの地域産業	9	10
地方卸売市場など流通拠点の整備	7	4
焼野海岸などの観光資源	89	119
きらら交流館など温泉・宿泊施設	163	135
炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産	74	51
工業都市のイメージ	21	11
台風、地震への安全性、安心感	215	306
その他	27	12
合　　計	1,407	1,183

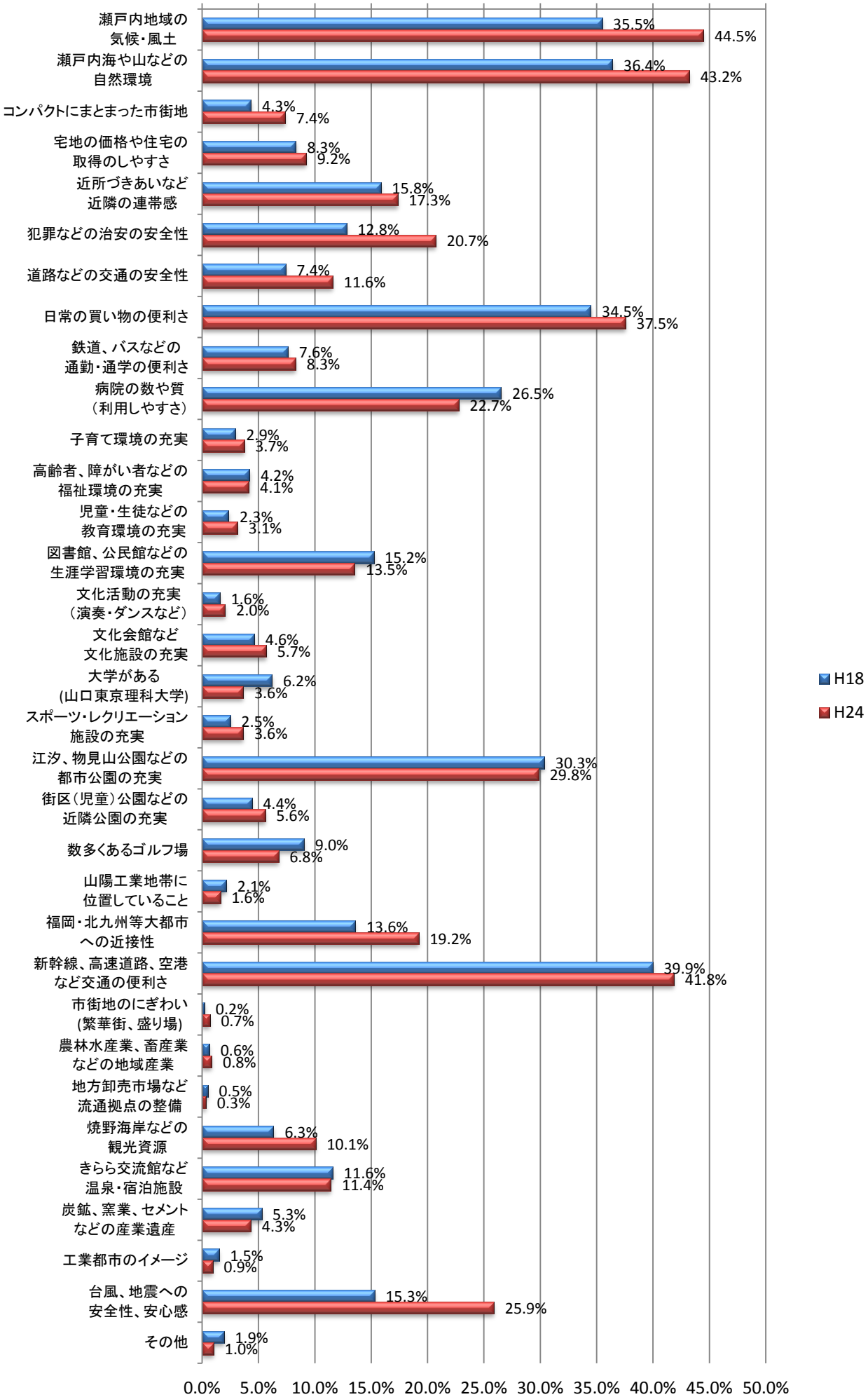
■全体

山陽小野田市の好きなところとして、「瀬戸内地域の気候・風土」（44.5%）、「瀬戸内海や山などの自然環境」（43.2%）などの自然とともに、「日常の買い物の便利さ」（37.5%）、「江汐、物見山公園などの都市公園の充実」（29.8%）、「新幹線、高速道路、空港などの交通の便利さ」（41.8%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

前回調査時より割合が増加した項目として、「瀬戸内地域の気候・風土」（35.5%→44.5%）、「瀬戸内海や山などの自然環境」（36.4%→43.2%）、「コンパクトにまとまった市街地」（4.3%→7.4%）、「犯罪などの治安の安全性」（12.8%→20.7%）、「道路などの交通の安全性」（7.4%→11.6%）、「福岡・北九州等大都市への近接性」（13.6%→19.2%）、「焼野海岸などの観光資源」（6.3%→10.1%）、「台風、地震への安全性、安心感」（15.3%→25.9%）等がありました。

前回調査時より割合が減少した項目として、「病院の数や質（利用しやすさ）」（26.5%→22.7%）、「大学がある（山口東京理科大学）」（6.2%→3.6%）等がありました。


瀬戸内地域の気候・風土
35.5%
44.5%
瀬戸内海や山などの自然環境
36.4%
43.2%
コンパクトにまとまった市街地
4.3%
7.4%
宅地の価格や住宅の取得のしやすさ
8.3%
9.2%
近所づきあいなど近隣の連帯感
15.8%
17.3%
犯罪などの治安の安全性
12.8%
20.7%
道路などの交通の安全性
7.4%
11.6%
日常の買い物の便利さ
34.5%
37.5%
鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ
7.6%
8.3%
病院の数や質（利用しやすさ）
26.5%
22.7%
子育て環境の充実
2.9%
3.7%
高齢者、障がい者などの福祉環境の充実
4.2%
4.1%
児童・生徒などの教育環境の充実
2.3%
3.1%
図書館、公民館などの生涯学習環境の充実
15.2%
13.5%
文化活動の充実（演奏・ダンスなど）
1.6%
2.0%
文化会館など文化施設の充実
4.6%
5.7%
大学がある(山口東京理科大学)
6.2%
3.6%
スポーツ・レクリエーション施設の充実
2.5%
3.6%
江汐、物見山公園などの都市公園の充実
30.3%
29.8%
街区（児童）公園などの近隣公園の充実
4.4%
5.6%
数多くあるゴルフ場
9.0%
6.8%
山陽工業地帯に位置していること
2.1%
1.6%
福岡・北九州等大都市への近接性
13.6%
19.2%
新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ
39.9%
41.8%
市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)
0.2%
0.7%
農林水産業、畜産業などの地域産業
0.6%
0.8%
地方卸売市場など流通拠点の整備
0.5%
0.3%
焼野海岸などの観光資源
6.3%
10.1%
きらら交流館など温泉・宿泊施設
11.6%
11.4%
炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産
5.3%
4.3%
工業都市のイメージ
1.5%
0.9%
台風、地震への安全性、安心感
15.3%
25.9%
その他
1.9%
1.0%
0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0% 40.0% 45.0% 50.0%
H18
H24

山陽小野田市の好きなところについての「その他」の意見

物価が安い
竜王山オートキャンプ場
ゴミの分別が簡単
住みやすい
外灯が多く夜は見えやすい
ゴミの仕分けが他市より楽
広報の充実
サンパークも好きです
市役所職員の真面目な対応
市長の市政への取り組み方
無料の駐車場が多い
寝太郎伝説
ベットタウンとして住みやすい

memo

●嫌いなところ

項　　目	H18	H24
瀬戸内地域の気候・風土	13	4
瀬戸内海や山などの自然環境	17	9
コンパクトにまとまった市街地	80	68
宅地の価格や住宅の取得のしやすさ	68	58
近所づきあいなど近隣の連帯感	130	134
犯罪などの治安の安全性	165	82
道路などの交通の安全性	221	146
日常の買い物の便利さ	159	188
鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ	353	370
病院の数や質（利用しやすさ）	331	295
子育て環境の充実	143	107
高齢者、障がい者などの福祉環境の充実	253	168
児童・生徒などの教育環境の充実	125	77
図書館、公民館などの生涯学習環境の充実	77	71
文化活動の充実（演奏・ダンスなど）	84	64
文化会館など文化施設の充実	122	61
大学がある(山口東京理科大学)	13	13
スポーツ・レクリエーション施設の充実	144	102
江汐、物見山公園などの都市公園の充実	39	27
街区（児童）公園などの近隣公園の充実	132	103
数多くあるゴルフ場	122	115
山陽工業地帯に位置していること	40	34
福岡・北九州等大都市への近接性	23	18
新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ	50	62
市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)	334	309
農林水産業、畜産業などの地域産業	84	68
地方卸売市場など流通拠点の整備	72	72
焼野海岸などの観光資源	52	36
きらら交流館など温泉・宿泊施設	55	31
炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産	33	45
工業都市のイメージ	80	116
台風、地震への安全性、安心感	277	235
その他	97	69
合　　計	**1,407**	**1,183**

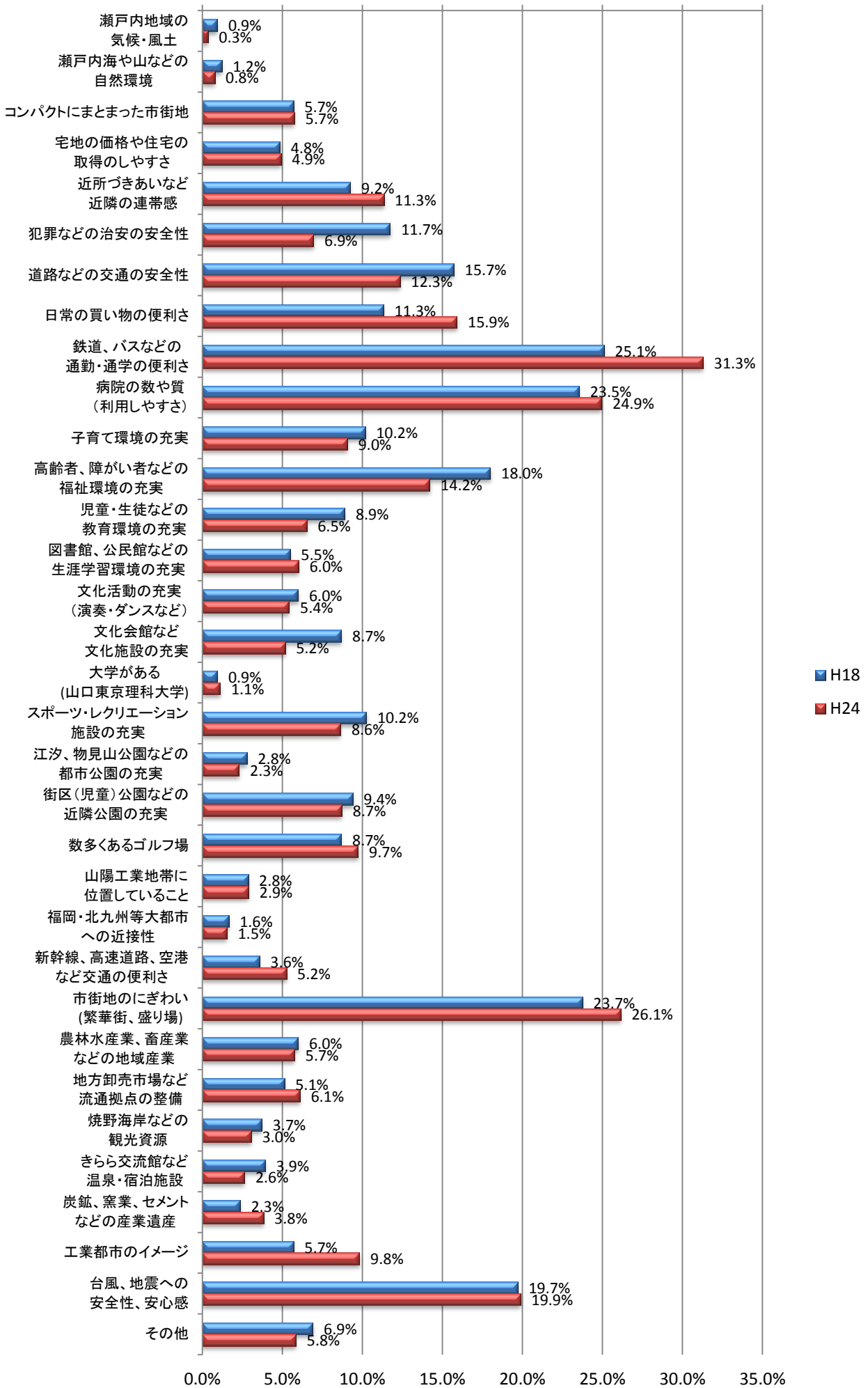
■全体

山陽小野田市の嫌いなところとして、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」（31.3%）、「病院の数や質（利用しやすさ）」（24.9%）、「市街地のにぎわい（繁華街、盛り場）」（26.1%）、「台風、地震への安全性、安心感」（19.9%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

前回調査時より割合が減少した項目として、「犯罪などの治安の安全性」（11.7%→6.9%）、「文化会館など文化施設の充実」（8.7%→5.2%）等がありました。

前回調査時より割合が増加した項目として、「日常の買い物の便利さ」（11.3%→15.9%）、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」（25.1%→31.3%）、「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」（3.6%→5.2%）、「炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産」（2.3%→3.8%）、「工業都市のイメージ」（5.7%→9.8%）等がありました。


瀬戸内地域の気候・風土
0.9%
0.3%
瀬戸内海や山などの自然環境
1.2%
0.8%
コンパクトにまとまった市街地
5.7%
5.7%
宅地の価格や住宅の取得のしやすさ
4.8%
4.9%
近所づきあいなど近隣の連帯感
9.2%
11.3%
犯罪などの治安の安全性
11.7%
6.9%
道路などの交通の安全性
15.7%
12.3%
日常の買い物の便利さ
11.3%
15.9%
鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ
25.1%
31.3%
病院の数や質（利用しやすさ）
23.5%
24.9%
子育て環境の充実
10.2%
9.0%
高齢者、障がい者などの福祉環境の充実
18.0%
14.2%
児童・生徒などの教育環境の充実
8.9%
6.5%
図書館、公民館などの生涯学習環境の充実
5.5%
6.0%
文化活動の充実（演奏・ダンスなど）
6.0%
5.4%
文化会館など文化施設の充実
8.7%
5.2%
大学がある(山口東京理科大学)
0.9%
1.1%
スポーツ・レクリエーション施設の充実
10.2%
8.6%
江汐、物見山公園などの都市公園の充実
2.8%
2.3%
街区（児童）公園などの近隣公園の充実
9.4%
8.7%
数多くあるゴルフ場
8.7%
9.7%
山陽工業地帯に位置していること
2.8%
2.9%
福岡・北九州等大都市への近接性
1.6%
1.5%
新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ
3.6%
5.2%
市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)
23.7%
26.1%
農林水産業、畜産業などの地域産業
6.0%
5.7%
地方卸売市場など流通拠点の整備
5.1%
6.1%
焼野海岸などの観光資源
3.7%
3.0%
きらら交流館など温泉・宿泊施設
3.9%
2.6%
炭鉱、窯業、セメントなどの産業遺産
2.3%
3.8%
工業都市のイメージ
5.7%
9.8%
台風、地震への安全性、安心感
19.7%
19.9%
その他
6.9%
5.8%
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
30.0%
35.0%
H18
H24

山陽小野田市の嫌いなところについての「その他」の意見

目立つのはパチンコ屋に象徴されるように文化的なものがない
若者の働くところが少ない
水害への不安
町が騒々しい、空気がごみっぽい、河川や海が汚い
山陽小野田市・・・字が多すぎる。山陽市OR小野田市等。
職場が少ない
下水道の整備
自分の地域には、下水計画（トイレの水洗計画）が遅れている→計画されていない
市役所の方々が対応が悪い。愛想もなく言っても無視する方々が多い。
小野田駅の近所に喫茶店がない
図書館に行っても新刊図書がなく古い本ばかりである
病院に通うのにバスの回数が少なく大変です
不便な生活環境(すべての公共施設が車で15分以上、市から見捨てられたような地域性)
入院できる病院がほしい
公共交通機関が不便。車がないと生活できない。
地デジがあまり映らない(福岡放送)
健康保険料、水道代など他に比べて高すぎ
小中高の教育レベル
地域の閉塞性
中途半端。景気の影響を受けやすく、不景気時に消費が冷え込む
行動力の遅さ、企画力の無さ
道が縦長で混雑しやすい
洪水になりやすい
各所公園の木が多く外から見えないため、女性の散歩には危険を感じる。もっとオープンにできないか。暴力団を撲滅せよ。
道路が整備されておらず、ガラスの破片などが落ちており自転車での走行が困難
合併のため、公共施設がバラバラ。公共料金が高い(国保等)。
保守的なところ。活気がまったくない。
乳児医療の該当する金額の低さ
田舎くさいイメージがある。
市民の意見を聞かず、厚狭と合併したところ、宇部とすれば良かったのに。
物見山公園をもっと整備してほしい
田舎すぎて人も文化もないところ、教育水準の低さ
「山陽小野田市」という名前。長すぎて枠に入らない。恥ずかしい。人口の割に議員が多く、税金が高い。
遊ぶ所がない。若者が集まらない。住民税が高すぎる。
自然環境以外どれにも魅力を感じないのに、「充実」などと挙げられていること。
厚陽校区に光インターネットが来ていない
町と人に活気がない。
車を持つ若い人は良いが、６５歳以上の車のないお年寄りは日常的に買い物に不便を感じる（有帆にはスーパーがない。）
遊ぶところがない
水害が不安
駅前商店街の活気のなさ
ショッピングに行きたいという気がしない
遊ぶところが少ない
すぐ水害になる
海岸沿い一帯のコンクリート（自然破壊）
特になし
ここ数年で、何度も水害にあった。
病院が一部に集まっている
低所得者、少人数世帯に課される自治会の罰金。雇用が少ない、賃金が低い、非正規雇用が多い。仕事後の夜間に安心してウォーキングできる場所がない。外国語の生涯学習講座があまりない。若者の好きな音楽系や楽器演奏の教室がなく、毎年同じ講座しかない。自由な時間に資源ゴミを出す施設がない。
市民税が高い
市名が長すぎる。
税金が高い
商店街がさびれているところ
水害の心配
歩道が狭い。公園はあっても遊具がいまいち（老朽化し、安全面に不安）。小児科が少ない。
公園の芝生に犬の糞が多いこと

水害が多い
市名がとってつけたようだ
市立病院の質の低さ。ゴルフ場がこんなにいらない。
下水道整備の遅れ
パチンコ店が多すぎる
道路のゴミのポイ捨て
携帯ショップ、ファースト店等なにもないところ
高齢者にとって病院がない
鉄道・バスの便数のなさ
バスの便利が悪い
子どもを持つ母親の働く場所が少ない。
国保料が高い
赤崎校区の幹線道路が暗い
行政・議会のクオリティの低さ。市民が市政に関心がない。
市道の整備
一部の市職員・議員の職務怠慢
病院が偏っているところ
鉄道・バスなどの交通の便が悪い。焼野海岸のペットの出入りができないこと。
市内の公園が多すぎる
通勤通学の鉄道の少なさ（小野田線）
きらら交流館などの温泉・宿泊施設等、旧小野田市のみ優遇されること

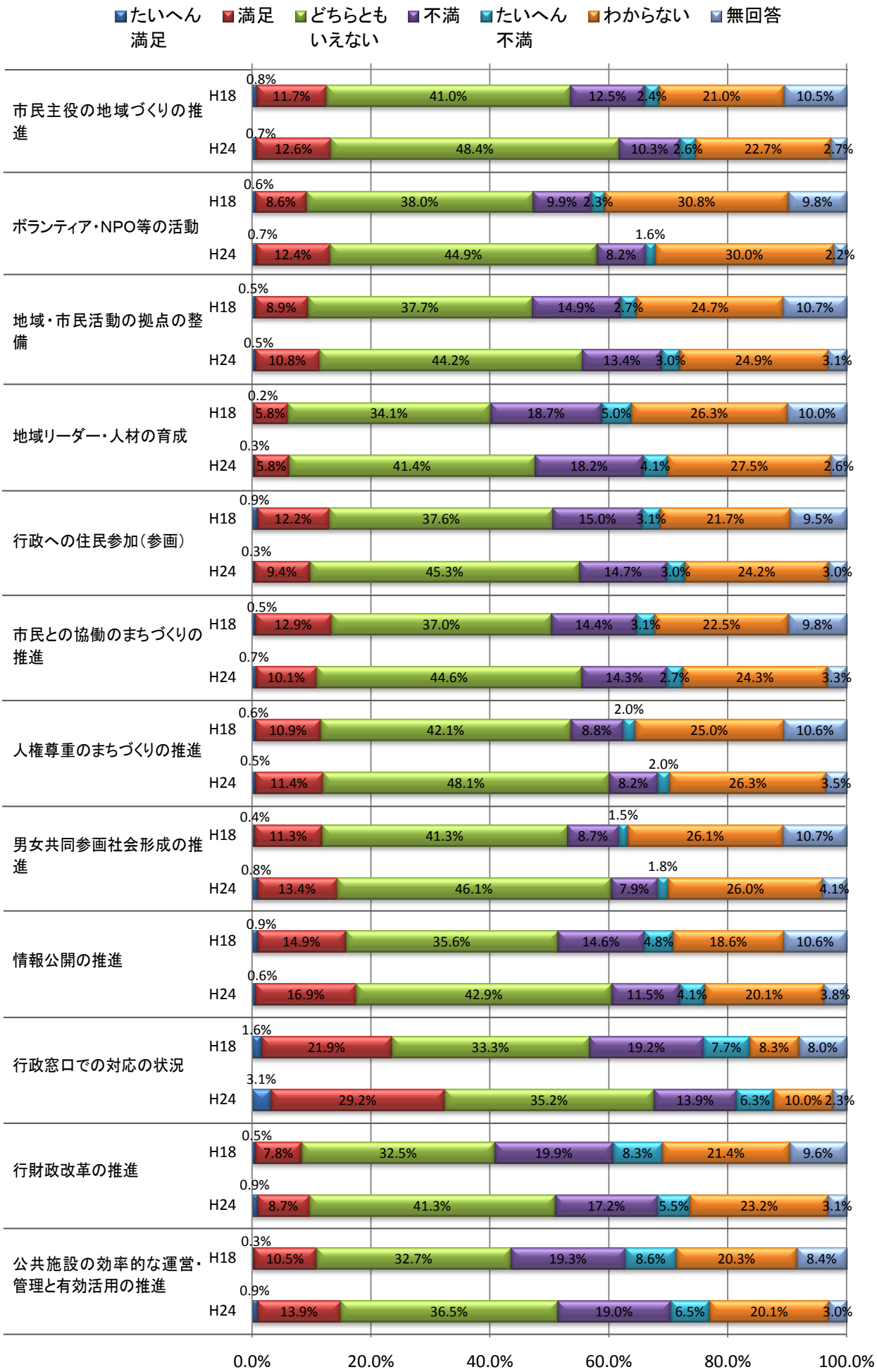
問7 「市民主役の行政運営の確立」について、以下に示す「1」～「12」の市が実施している施策・状況に満足していますか。

施策・状況		たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	わからない	無回答
市民主役の地域づくりの推進	H18	11	165	577	176	34	296	148
	H24	8	149	573	122	31	268	32
ボランティア・NPO等の活動	H18	8	121	535	139	32	434	138
	H24	8	147	531	97	19	355	26
地域・市民活動の拠点の整備	H18	7	125	531	209	38	347	150
	H24	6	128	523	158	36	295	37
地域リーダー・人材の育成	H18	3	81	480	263	70	370	140
	H24	4	69	490	215	49	325	31
行政への住民参加（参画）	H18	12	171	529	211	44	306	134
	H24	4	111	536	174	36	286	36
市民との協働のまちづくりの推進	H18	7	181	520	202	43	316	138
	H24	8	120	528	169	32	287	39
人権尊重のまちづくりの推進	H18	8	154	592	124	28	352	149
	H24	6	135	569	97	24	311	41
男女共同参画社会形成の推進	H18	6	159	581	122	21	367	151
	H24	10	159	545	93	21	307	48
情報公開の推進	H18	12	210	501	205	68	262	149
	H24	7	200	508	136	49	238	45
行政窓口での対応の状況	H18	22	308	468	270	109	117	113
	H24	37	346	416	165	74	118	27
行財政改革の推進	H18	7	110	457	280	117	301	135
	H24	11	103	489	204	65	274	37
公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進	H18	4	148	460	271	121	285	118
	H24	11	165	432	225	77	238	35

■前回調査時との比較

「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「ボランティア・NPO等の活動」が9.2%から13.1%へ、「行政窓口での対応の状況」が23.5%から32.3%へ、「公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進」が10.8%から14.8%へ上がりました。

「行政への住民参加（参画）」は13.1%から9.7%へ、「市民との協働のまちづくりの推進」は13.4%から10.8%へ下がりました。


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
市民主役の地域づくりの推進
H18 0.8% 11.7% 41.0% 12.5% 2.4% 21.0% 10.5%
H24 0.7% 12.6% 48.4% 10.3% 2.6% 22.7% 2.7%
ボランティア・NPO等の活動
H18 0.6% 8.6% 38.0% 9.9% 2.3% 30.8% 9.8%
H24 0.7% 12.4% 44.9% 8.2% 1.6% 30.0% 2.2%
地域・市民活動の拠点の整備
H18 0.5% 8.9% 37.7% 14.9% 2.7% 24.7% 10.7%
H24 0.5% 10.8% 44.2% 13.4% 3.0% 24.9% 3.1%
地域リーダー・人材の育成
H18 0.2% 5.8% 34.1% 18.7% 5.0% 26.3% 10.0%
H24 0.3% 5.8% 41.4% 18.2% 4.1% 27.5% 2.6%
行政への住民参加（参画）
H18 0.9% 12.2% 37.6% 15.0% 3.1% 21.7% 9.5%
H24 0.3% 9.4% 45.3% 14.7% 3.0% 24.2% 3.0%
市民との協働のまちづくりの推進
H18 0.5% 12.9% 37.0% 14.4% 3.1% 22.5% 9.8%
H24 0.7% 10.1% 44.6% 14.3% 2.7% 24.3% 3.3%
人権尊重のまちづくりの推進
H18 0.6% 10.9% 42.1% 8.8% 2.0% 25.0% 10.6%
H24 0.5% 11.4% 48.1% 8.2% 2.0% 26.3% 3.5%
男女共同参画社会形成の推進
H18 0.4% 11.3% 41.3% 8.7% 1.5% 26.1% 10.7%
H24 0.8% 13.4% 46.1% 7.9% 1.8% 26.0% 4.1%
情報公開の推進
H18 0.9% 14.9% 35.6% 14.6% 4.8% 18.6% 10.6%
H24 0.6% 16.9% 42.9% 11.5% 4.1% 20.1% 3.8%
行政窓口での対応の状況
H18 1.6% 21.9% 33.3% 19.2% 7.7% 8.3% 8.0%
H24 3.1% 29.2% 35.2% 13.9% 6.3% 10.0% 2.3%
行財政改革の推進
H18 0.5% 7.8% 32.5% 19.9% 8.3% 21.4% 9.6%
H24 0.9% 8.7% 41.3% 17.2% 5.5% 23.2% 3.1%
公共施設の効率的な運営・管理と有効活用の推進
H18 0.3% 10.5% 32.7% 19.3% 8.6% 20.3% 8.4%
H24 0.9% 13.9% 36.5% 19.0% 6.5% 20.1% 3.0%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

問8 「市民主役の行政運営の確立」について、特に重要と思われるものは何ですか？

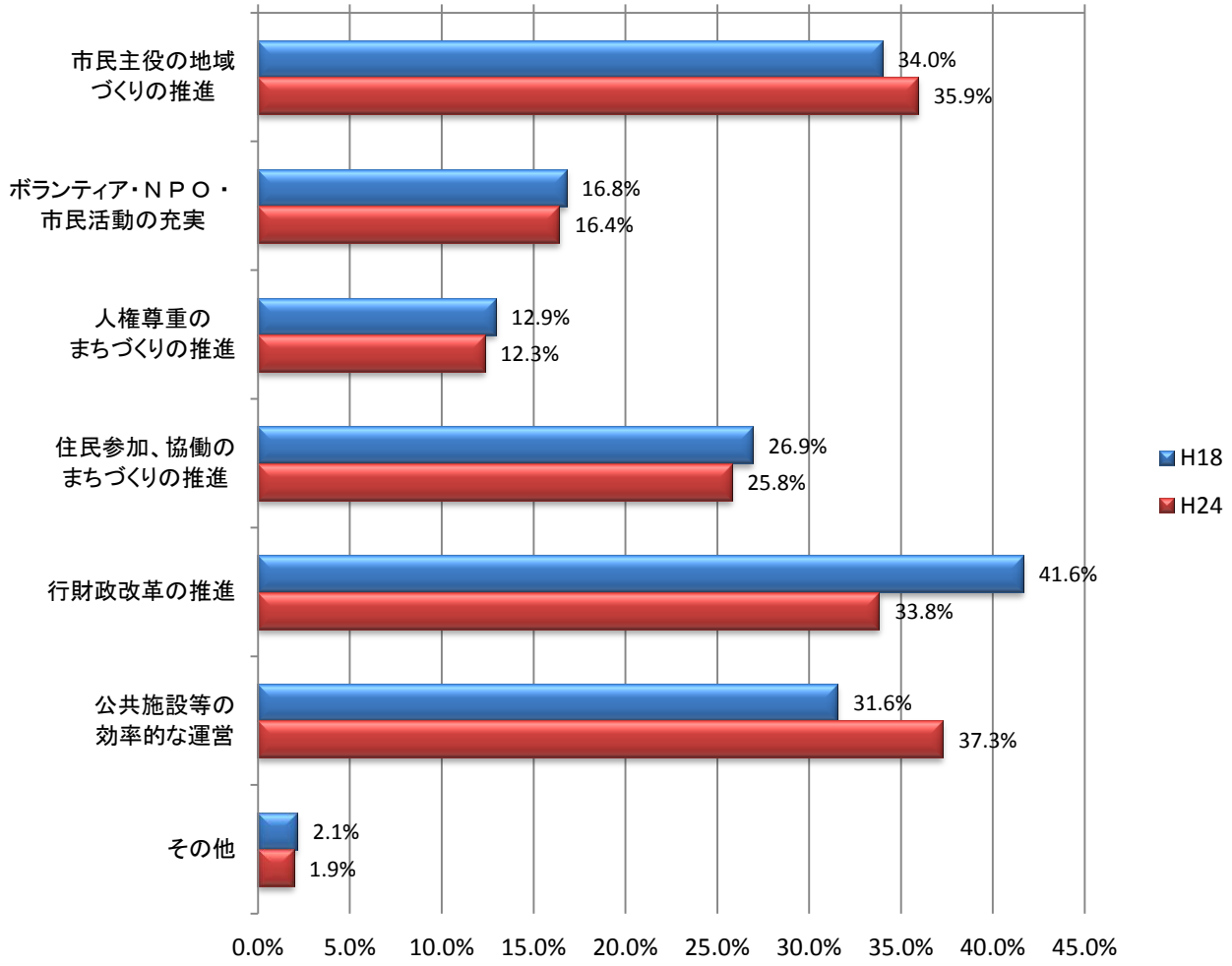
項　　目	H18	H24
市民主役の地域づくりの推進	478	425
ボランティア・NPO・市民活動の充実	236	194
人権尊重のまちづくりの推進	182	146
住民参加、協働のまちづくりの推進	379	305
行財政改革の推進	586	400
公共施設等の効率的な運営	444	441
その他	30	23
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「公共施設等の効率的な運営」(37.3%)、「市民主役の地域づくりの推進」(35.9%)、「行財政改革の推進」(33.8%)が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「公共施設等の効率的な運営」が3位から1位になり、割合は31.6%から37.3%に増加しました。
「行財政改革の推進」が1位から3位になり、割合は41.6%から33.8%に減少しました。



「その他」の意見

市民が主役の美辞のもと、行政は責任も転嫁している。
市職員各層階での決定権の確立（何でも市長はダメ）
わかりません。
市職員の専門性を生かした市民との連携
市民の本当の気持ちに耳を、目を、意識を向けること
若者が参加、発言、活動しやすいまちづくり
わからない
小さな地区で、ひとりひとりが参加できる環境作り、遊びの道具もサロンに入っていないと借りることができない体制に疑問をもちます。
行政の自立
抽象的でわかりにくいが、もっと市公務員のPRが必要では。何をしているのかわからない。
橋はいつできるのか。
この質問自体わかりにくい。市民目線ではないと思う。
長い目でみて学生と地域が密着した地域づくりが必要である。
質問理解不明です。
市長の独断を行わせないこと、市役所職員の意識改革
人づくりのためのしくみ
生前でも墓地の手配が容易であること
障がい者の就労
最初にその方針、指針を周知させることが前提なのでは？答えようがない。
公務員の意識改革
行政側の本気度
個人の意見を聞く。聞き逃さないこと。聞き流さないこと。
優秀な市議会議員の選出

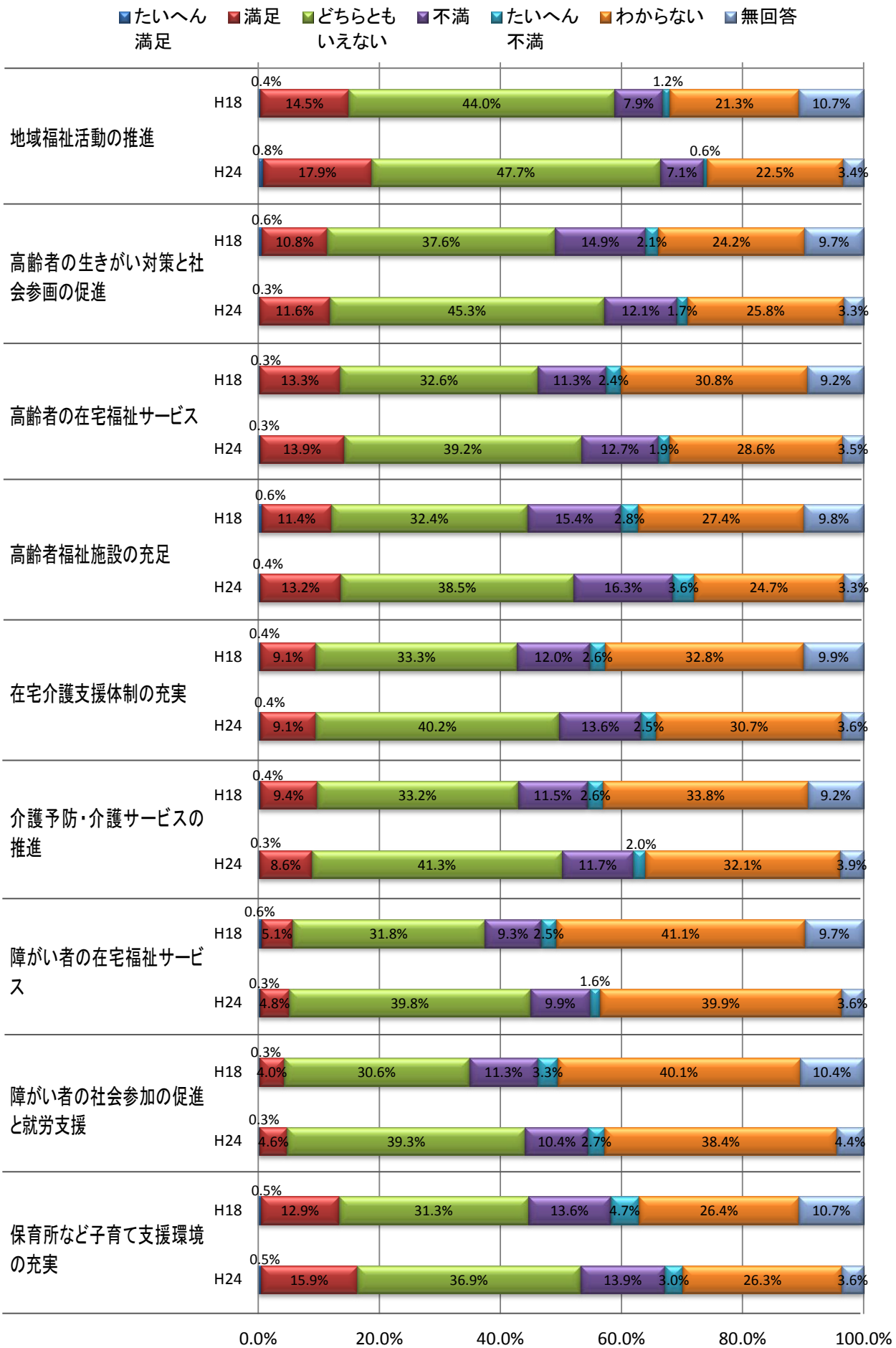
問9 「安心・安全環境の充実」について、以下に示す「13」～「29」の市が実施している施策・状況に満足していますか。

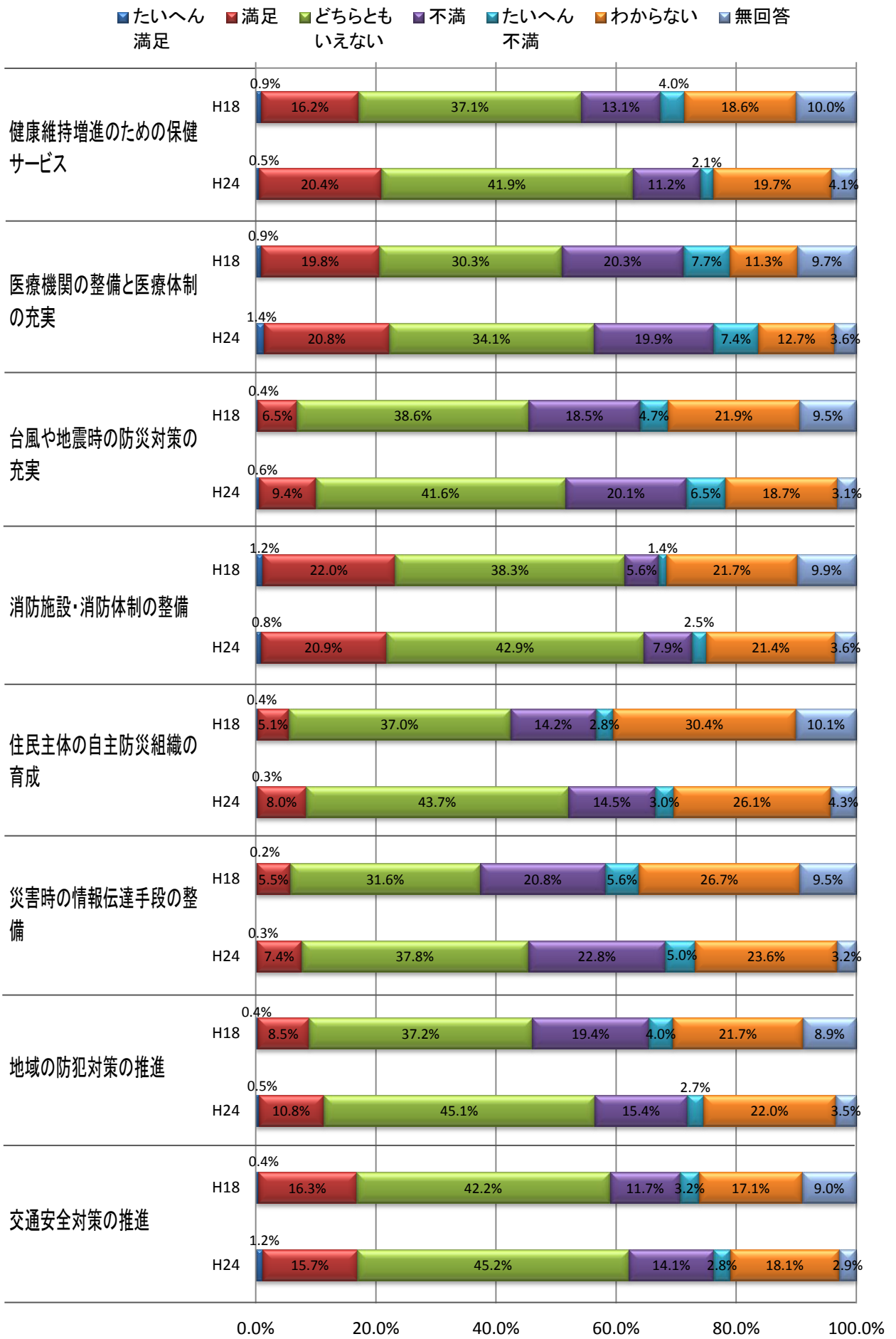
施策・状況		たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	わからない	無回答
地域福祉活動の推進	H18	6	204	619	111	17	300	150
	H24	10	212	564	84	7	266	40
高齢者の生きがい対策と社会参画の促進	H18	9	152	529	210	30	340	137
	H24	3	137	536	143	20	305	39
高齢者の在宅福祉サービス	H18	4	187	459	159	34	434	130
	H24	4	164	464	150	22	338	41
高齢者福祉施設の充足	H18	9	161	456	217	40	386	138
	H24	5	156	456	193	42	292	39
在宅介護支援体制の充実	H18	6	128	468	169	36	461	139
	H24	5	108	475	161	29	363	42
介護予防・介護サービスの推進	H18	5	132	467	162	36	476	129
	H24	3	102	489	139	24	380	46
障がい者の在宅福祉サービス	H18	8	72	447	131	35	578	136
	H24	4	57	471	117	19	472	43
障がい者の社会参加の促進と就労支援	H18	4	56	431	159	46	564	147
	H24	3	54	465	123	32	454	52
保育所など子育て支援環境の充実	H18	7	181	440	191	66	372	150
	H24	6	188	436	165	35	311	42
健康維持増進のための保健サービス	H18	13	228	522	185	56	262	141
	H24	6	241	496	133	25	233	49
医療機関の整備と医療体制の充実	H18	12	278	427	285	109	159	137
	H24	17	246	403	236	88	150	43
台風や地震時の防災対策の充実	H18	5	92	543	260	66	308	133
	H24	7	111	492	238	77	221	37
消防施設・消防体制の整備	H18	17	309	539	79	19	305	139
	H24	10	247	508	94	29	253	42
住民主体の自主防災組織の育成	H18	5	72	520	200	40	428	142
	H24	4	95	517	171	36	309	51
災害時の情報伝達手段の整備	H18	3	78	445	293	79	376	133
	H24	3	87	447	270	59	279	38
地域の防犯対策の推進	H18	5	120	523	273	56	305	125
	H24	6	128	534	182	32	260	41
交通安全対策の推進	H18	6	230	594	164	45	241	127
	H24	14	186	535	167	33	214	34

■前回調査時との比較

「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「住民主体の自主防災組織の育成」が5.5%から8.3%へ上がりました。

「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合は、「消防施設・消防体制の整備」が7.0%→10.4%へ上がりました。


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
地域福祉活動の推進
H18 0.4% 14.5% 44.0% 7.9% 1.2% 21.3% 10.7%
H24 0.8% 17.9% 47.7% 7.1% 0.6% 22.5% 3.4%
高齢者の生きがい対策と社会参画の促進
H18 0.6% 10.8% 37.6% 14.9% 2.1% 24.2% 9.7%
H24 0.3% 11.6% 45.3% 12.1% 1.7% 25.8% 3.3%
高齢者の在宅福祉サービス
H18 0.3% 13.3% 32.6% 11.3% 2.4% 30.8% 9.2%
H24 0.3% 13.9% 39.2% 12.7% 1.9% 28.6% 3.5%
高齢者福祉施設の充足
H18 0.6% 11.4% 32.4% 15.4% 2.8% 27.4% 9.8%
H24 0.4% 13.2% 38.5% 16.3% 3.6% 24.7% 3.3%
在宅介護支援体制の充実
H18 0.4% 9.1% 33.3% 12.0% 2.6% 32.8% 9.9%
H24 0.4% 9.1% 40.2% 13.6% 2.5% 30.7% 3.6%
介護予防・介護サービスの推進
H18 0.4% 9.4% 33.2% 11.5% 2.6% 33.8% 9.2%
H24 0.3% 8.6% 41.3% 11.7% 2.0% 32.1% 3.9%
障がい者の在宅福祉サービス
H18 0.6% 5.1% 31.8% 9.3% 2.5% 41.1% 9.7%
H24 0.3% 4.8% 39.8% 9.9% 1.6% 39.9% 3.6%
障がい者の社会参加の促進と就労支援
H18 0.3% 4.0% 30.6% 11.3% 3.3% 40.1% 10.4%
H24 0.3% 4.6% 39.3% 10.4% 2.7% 38.4% 4.4%
保育所など子育て支援環境の充実
H18 0.5% 12.9% 31.3% 13.6% 4.7% 26.4% 10.7%
H24 0.5% 15.9% 36.9% 13.9% 3.0% 26.3% 3.6%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
健康維持増進のための保健サービス
H18 0.9% 16.2% 37.1% 13.1% 4.0% 18.6% 10.0%
H24 0.5% 20.4% 41.9% 11.2% 2.1% 19.7% 4.1%
医療機関の整備と医療体制の充実
H18 0.9% 19.8% 30.3% 20.3% 7.7% 11.3% 9.7%
H24 1.4% 20.8% 34.1% 19.9% 7.4% 12.7% 3.6%
台風や地震時の防災対策の充実
H18 0.4% 6.5% 38.6% 18.5% 4.7% 21.9% 9.5%
H24 0.6% 9.4% 41.6% 20.1% 6.5% 18.7% 3.1%
消防施設・消防体制の整備
H18 1.2% 22.0% 38.3% 5.6% 1.4% 21.7% 9.9%
H24 0.8% 20.9% 42.9% 7.9% 2.5% 21.4% 3.6%
住民主体の自主防災組織の育成
H18 0.4% 5.1% 37.0% 14.2% 2.8% 30.4% 10.1%
H24 0.3% 8.0% 43.7% 14.5% 3.0% 26.1% 4.3%
災害時の情報伝達手段の整備
H18 0.2% 5.5% 31.6% 20.8% 5.6% 26.7% 9.5%
H24 0.3% 7.4% 37.8% 22.8% 5.0% 23.6% 3.2%
地域の防犯対策の推進
H18 0.4% 8.5% 37.2% 19.4% 4.0% 21.7% 8.9%
H24 0.5% 10.8% 45.1% 15.4% 2.7% 22.0% 3.5%
交通安全対策の推進
H18 0.4% 16.3% 42.2% 11.7% 3.2% 17.1% 9.0%
H24 1.2% 15.7% 45.2% 14.1% 2.8% 18.1% 2.9%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

問10 「安心・安全環境の充実」について、特に重要と思われるものは何ですか？

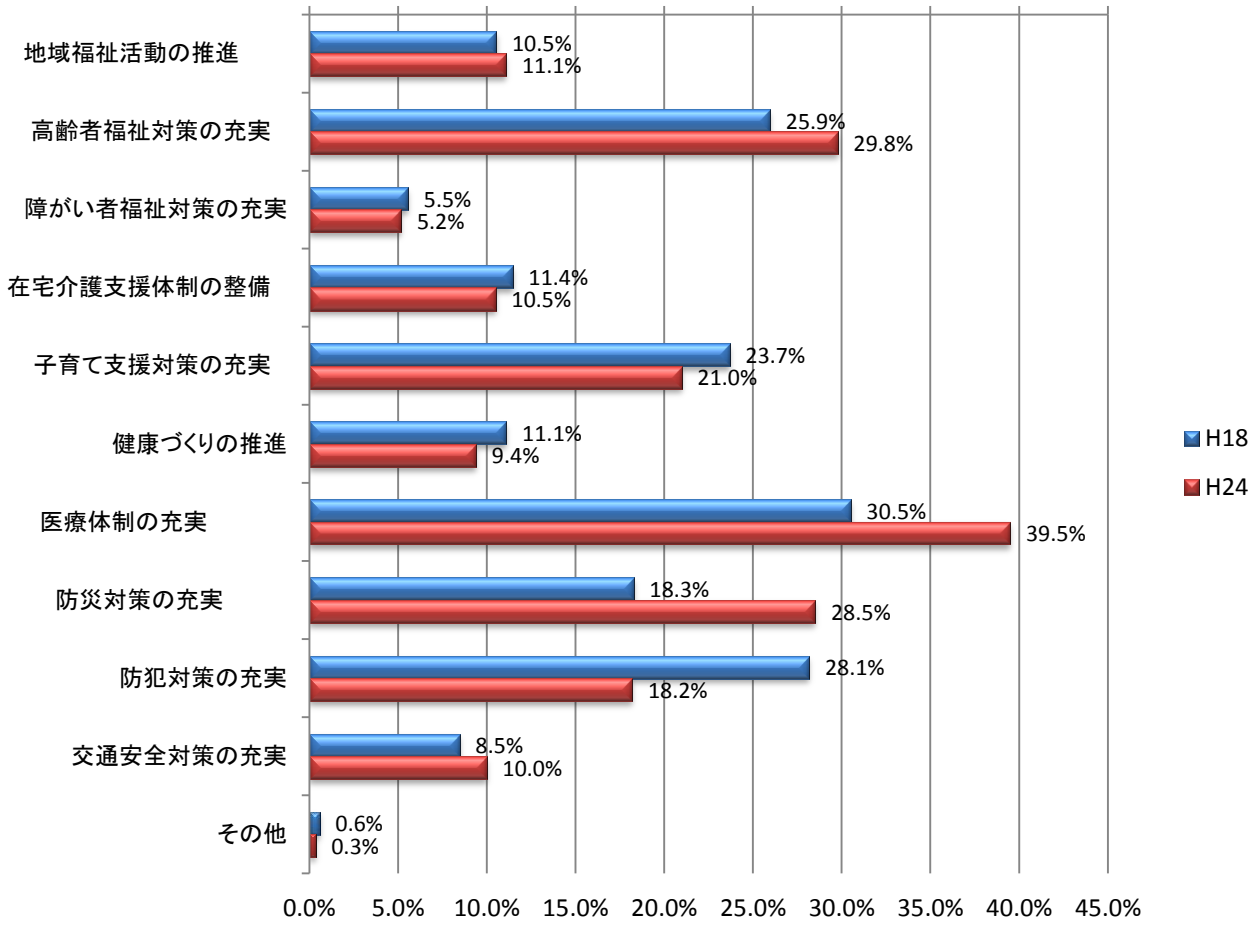
項　　目	H18	H24
地域福祉活動の推進	148	131
高齢者福祉対策の充実	365	352
障がい者福祉対策の充実	78	61
在宅介護支援体制の整備	161	124
子育て支援対策の充実	333	248
健康づくりの推進	156	111
医療体制の充実	429	467
防災対策の充実	257	337
防犯対策の充実	396	215
交通安全対策の充実	119	118
その他	8	4
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「医療体制の充実」（39.5%）、「高齢者福祉対策の充実」（29.8%）、「防災対策の充実」（28.5%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「医療体制の充実」は前回調査時も今回も1位で、割合は30.5%から39.5%に増加しました。
「防災対策の充実」は5位から3位になり、割合は18.3%から28.5%に増加しました。
「防犯対策の充実」は2位から5位になり、割合は28.1%から18.2%に減少しました。



「その他」の意見

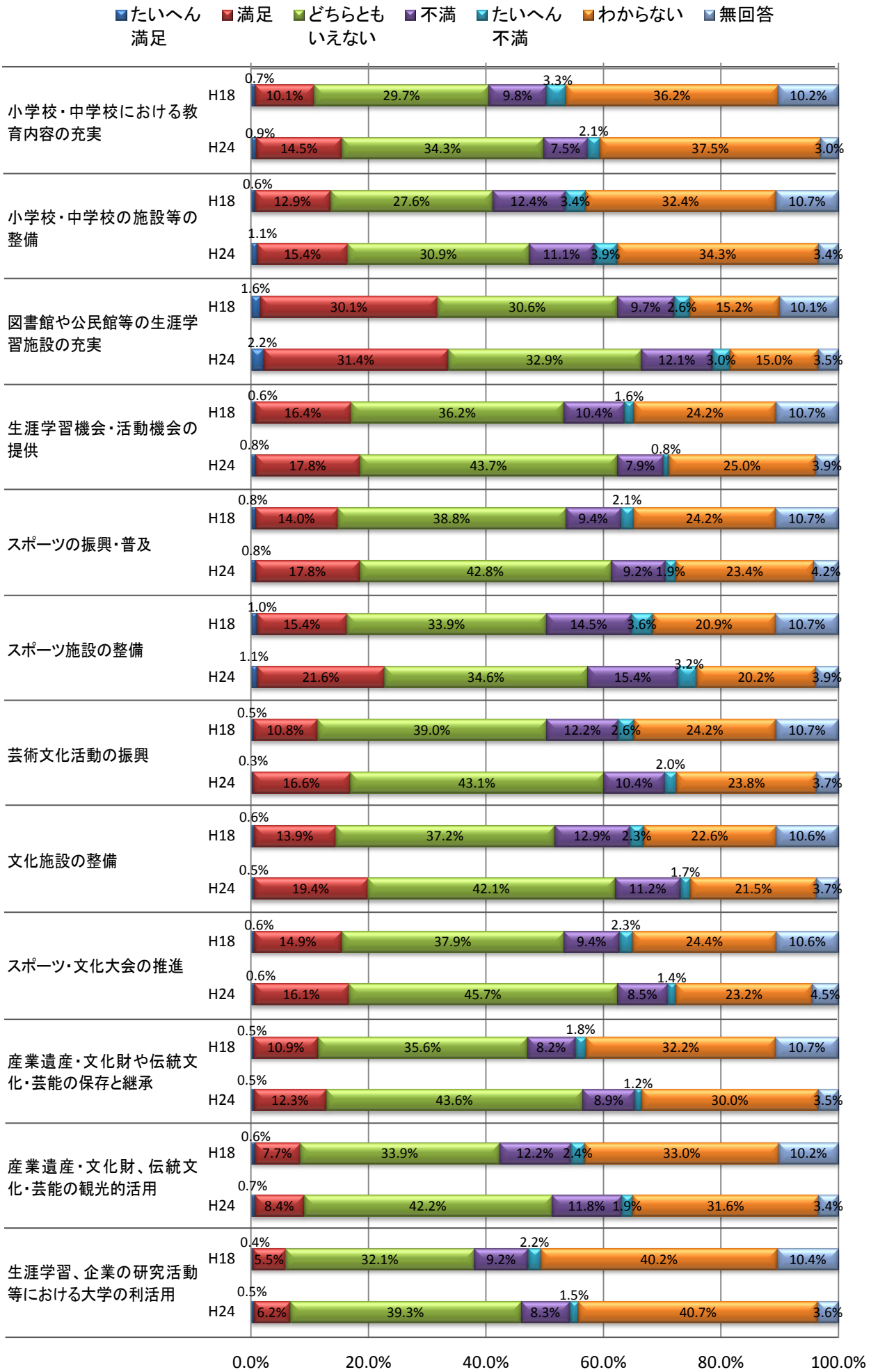
車やバスなど交通対策
土砂災害指定地区の整備を公費ですべき
歩道と車道の分離（ラインでは不十分）
街灯が少ない
広域がれき処理に反対することが安心して山陽小野田に住めると思えることになる。

問11 「教育・文化環境の充実」について、以下に示す「30」～「41」の市が実施している施策・状況に満足していますか。

施策・状況		たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	わからない	無回答
小学校・中学校における教育内容の充実	H18	10	142	418	138	46	509	144
	H24	11	172	406	89	25	444	36
小学校・中学校の施設等の整備	H18	9	182	388	174	48	456	150
	H24	13	182	365	131	46	406	40
図書館や公民館等の生涯学習施設の充実	H18	23	424	430	137	37	214	142
	H24	26	371	389	143	36	177	41
生涯学習機会・活動機会の提供	H18	9	231	509	146	22	340	150
	H24	9	211	517	94	10	296	46
スポーツの振興・普及	H18	11	197	546	132	30	340	151
	H24	9	210	506	109	22	277	50
スポーツ施設の整備	H18	14	216	477	204	51	294	151
	H24	13	256	409	182	38	239	46
芸術文化活動の振興	H18	7	152	549	172	37	340	150
	H24	4	196	510	123	24	282	44
文化施設の整備	H18	8	195	524	181	32	318	149
	H24	6	229	498	132	20	254	44
スポーツ・文化大会の推進	H18	8	209	533	132	32	344	149
	H24	7	190	541	101	17	274	53
産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の保存と継承	H18	7	154	501	115	26	453	151
	H24	6	146	516	105	14	355	41
産業遺産・文化財、伝統文化・芸能の観光的活用	H18	9	109	477	171	34	464	143
	H24	8	99	499	140	23	374	40
生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用	H18	5	78	452	129	31	565	147
	H24	6	73	465	98	18	481	42

■前回調査時との比較

「大変満足」と「満足」を合わせた割合は、「スポーツ施設の整備」が16.4%から22.7%へ、「芸術文化活動の振興」が11.3%から16.9%へ、「文化施設の整備」が14.5%から19.9%へ増加しました。


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
小学校・中学校における教育内容の充実
H18 0.7% 10.1% 29.7% 9.8% 3.3% 36.2% 10.2%
H24 0.9% 14.5% 34.3% 7.5% 2.1% 37.5% 3.0%
小学校・中学校の施設等の整備
H18 0.6% 12.9% 27.6% 12.4% 3.4% 32.4% 10.7%
H24 1.1% 15.4% 30.9% 11.1% 3.9% 34.3% 3.4%
図書館や公民館等の生涯学習施設の充実
H18 1.6% 30.1% 30.6% 9.7% 2.6% 15.2% 10.1%
H24 2.2% 31.4% 32.9% 12.1% 3.0% 15.0% 3.5%
生涯学習機会・活動機会の提供
H18 0.6% 16.4% 36.2% 10.4% 1.6% 24.2% 10.7%
H24 0.8% 17.8% 43.7% 7.9% 0.8% 25.0% 3.9%
スポーツの振興・普及
H18 0.8% 14.0% 38.8% 9.4% 2.1% 24.2% 10.7%
H24 0.8% 17.8% 42.8% 9.2% 1.9% 23.4% 4.2%
スポーツ施設の整備
H18 1.0% 15.4% 33.9% 14.5% 3.6% 20.9% 10.7%
H24 1.1% 21.6% 34.6% 15.4% 3.2% 20.2% 3.9%
芸術文化活動の振興
H18 0.5% 10.8% 39.0% 12.2% 2.6% 24.2% 10.7%
H24 0.3% 16.6% 43.1% 10.4% 2.0% 23.8% 3.7%
文化施設の整備
H18 0.6% 13.9% 37.2% 12.9% 2.3% 22.6% 10.6%
H24 0.5% 19.4% 42.1% 11.2% 1.7% 21.5% 3.7%
スポーツ・文化大会の推進
H18 0.6% 14.9% 37.9% 9.4% 2.3% 24.4% 10.6%
H24 0.6% 16.1% 45.7% 8.5% 1.4% 23.2% 4.5%
産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の保存と継承
H18 0.5% 10.9% 35.6% 8.2% 1.8% 32.2% 10.7%
H24 0.5% 12.3% 43.6% 8.9% 1.2% 30.0% 3.5%
産業遺産・文化財、伝統文化・芸能の観光的活用
H18 0.6% 7.7% 33.9% 12.2% 2.4% 33.0% 10.2%
H24 0.7% 8.4% 42.2% 11.8% 1.9% 31.6% 3.4%
生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用
H18 0.4% 5.5% 32.1% 9.2% 2.2% 40.2% 10.4%
H24 0.5% 6.2% 39.3% 8.3% 1.5% 40.7% 3.6%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

問12 「教育・文化環境」について、特に重要と思われるものは何ですか？

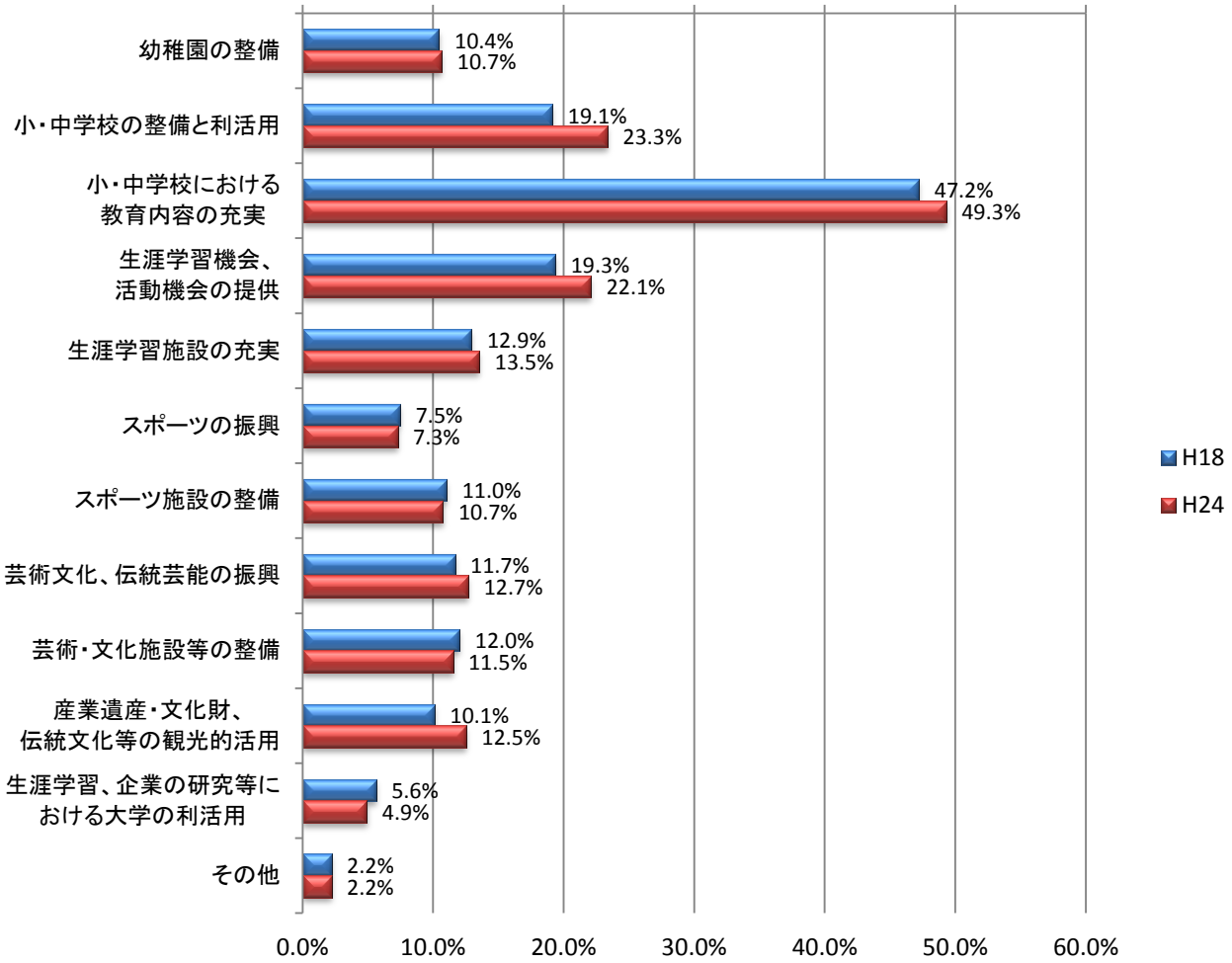
項　　目	H18	H24
幼稚園の整備	147	126
小・中学校の整備と利活用	269	276
小・中学校における教育内容の充実	664	583
生涯学習機会、活動機会の提供	272	261
生涯学習施設の充実	182	160
スポーツの振興	105	86
スポーツ施設の整備	155	127
芸術文化、伝統芸能の振興	164	150
芸術・文化施設等の整備	169	136
産業遺産・文化財、伝統文化等の観光的活用	142	148
生涯学習、企業の研究等における大学の利活用	79	58
その他	31	26
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「小・中学校における教育内容の充実」（49.3%）、「小・中学校の整備と利活用」（23.3%）、「生涯学習機会、活動機会の提供」（22.1%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「小・中学校における教育内容の充実」は、前回調査時も今回も1位でした。
その他、前回調査時と今回で大きな変動はありませんでした。



「その他」の意見

日本人の基本を守る教育。教育基本法遵守！
放課後保育、夏休みなどの長期休みの対応
保育園を増やす
未就園児の支援
文化財等保存と継承
仕事しながらの子育てがしやすい環境が必要と思う
小学校英語に力を入れ、小学校の先生が中途半端な英語を教えるのではなく、外国人を英語の先生にしてはどうか
保育園の整備
心の教育というが、内面をみがく教育ができればいいが、一般常識のずれを感じる。
人づくり環境
子どもが教育やスポーツに意欲的になるための指導・環境づくり
学生の地元（山陽小野田市）定着を促す環境づくり
整備うんぬんではなく、教育が重要だと思います。
市民全体の道徳教育(子供に限らず。場合によっては教職者も)
思いやり、あいさつ
市独自の思い切った施策(他市にはない)
幼稚園・保育園同等な教育を
保育園の充実(若い人の子育てが安心してできる環境が望ましい)
小中学校における教師の充実
いじめについて
6才までの子育て
保育園の整備
文化会館の充実、活用の工夫等を希望する。
いじめをなくそう
産業遺産・文化財や伝統文化の保存と継承
教育に道徳をもっと取り入れるべき

問13 「にぎわい・活力環境の創出」について、以下に示す「42」～「62」の市が実施している施策・状況に満足していますか。

施策・状況		たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	わからない	無回答
土地区画整理事業など計画的な土地利用の推進	H18	6	81	435	225	64	413	183
	H24	6	66	457	205	71	318	60
新幹線、空港などの利用のしやすさ	H18	48	565	384	172	36	69	133
	H24	56	479	323	166	47	70	42
地域間を結ぶ幹線道路	H18	22	539	401	176	37	83	149
	H24	31	486	375	147	30	67	47
JR、バス等の地域生活交通の運行状況	H18	7	205	461	335	122	144	133
	H24	7	182	349	358	137	109	41
インターネット等の情報通信環境の整備	H18	8	120	458	145	46	483	147
	H24	12	170	466	127	39	321	48
魅力ある計画的な住宅地の形成	H18	3	69	525	233	51	378	148
	H24	4	46	541	212	46	286	48
企業誘致や新しい産業の創出	H18	3	33	343	407	111	372	138
	H24	4	24	372	361	121	258	43
地元企業の育成	H18	3	37	399	345	91	388	144
	H24	4	31	393	329	79	305	42
産・学・公・民の連携による新しい産業づくりと人づくり	H18	2	40	423	267	61	461	153
	H24	2	29	428	246	58	368	52
中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実	H18	3	46	295	539	226	162	136
	H24	2	28	297	495	191	126	44
地方卸売市場など流通拠点の整備	H18	3	70	433	242	59	445	155
	H24	3	38	462	221	59	351	49
優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興	H18	12	147	490	289	57	266	146
	H24	8	148	500	239	54	188	46
宿泊施設や観光集客施設などの整備	H18	4	100	450	363	101	246	143
	H24	5	82	450	339	89	177	41
農林水産業の担い手の育成	H18	3	22	364	298	93	480	147
	H24	4	17	388	263	81	386	44
ほ場整備・漁港整備など生産基盤の整備	H18	6	73	430	156	51	547	144
	H24	8	37	447	161	35	444	51
森林・農地・海岸の保全	H18	5	101	430	190	68	462	151
	H24	6	76	462	178	51	360	50
米・果樹・野菜・水産物等の販売の促進	H18	10	162	490	188	51	360	146
	H24	10	139	495	179	31	286	43
森林資源の活用	H18	3	36	428	158	55	579	148
	H24	4	36	446	152	44	450	51
地産地消の推進	H18	4	103	463	195	40	449	153
	H24	9	169	487	156	34	282	46
雇用機会の確保	H18	2	31	334	403	142	353	142
	H24	3	23	323	388	137	266	43
職業能力の開発向上	H18	4	42	415	307	96	400	143
	H24	4	27	405	278	100	323	46

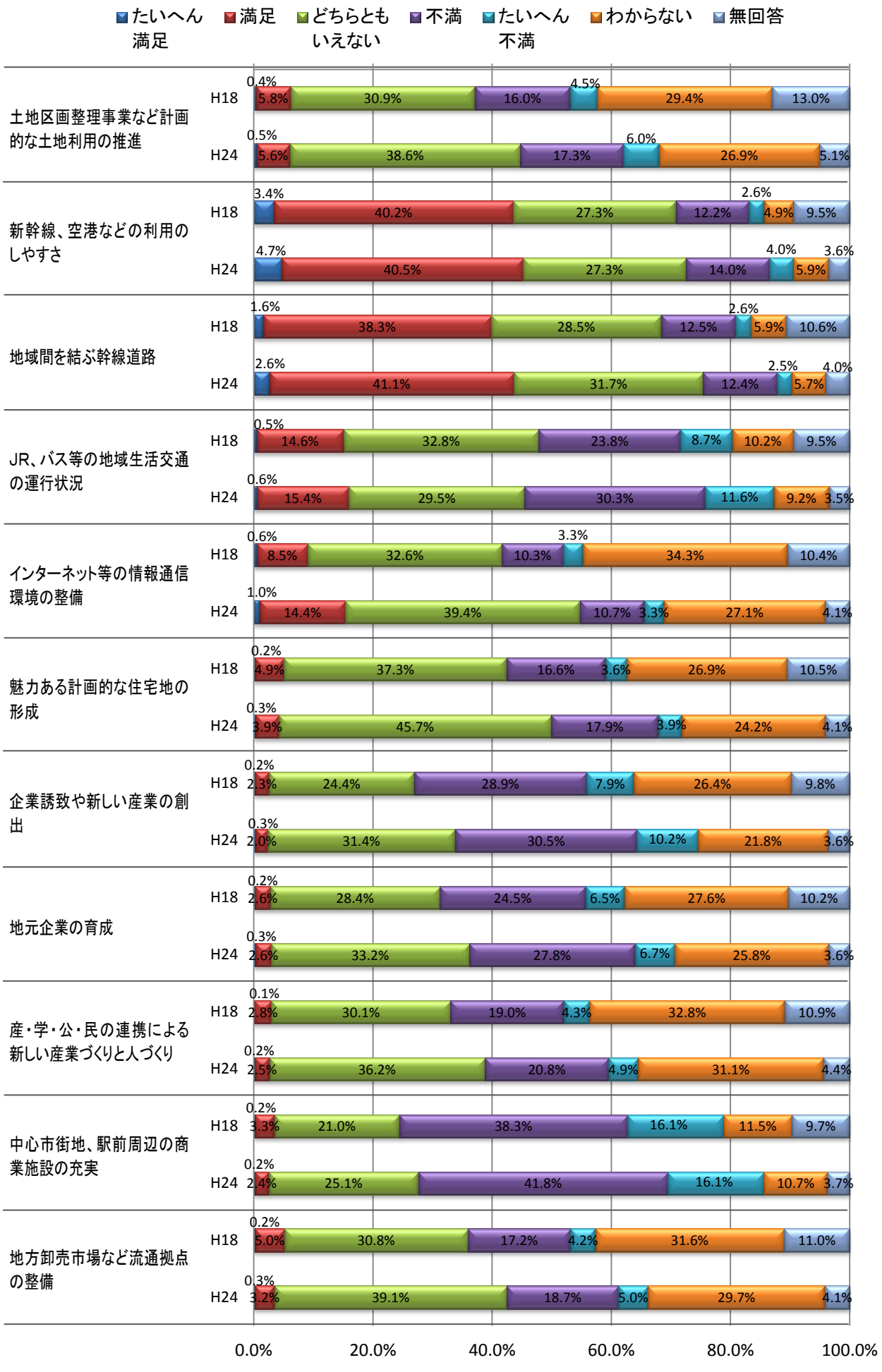
■全体

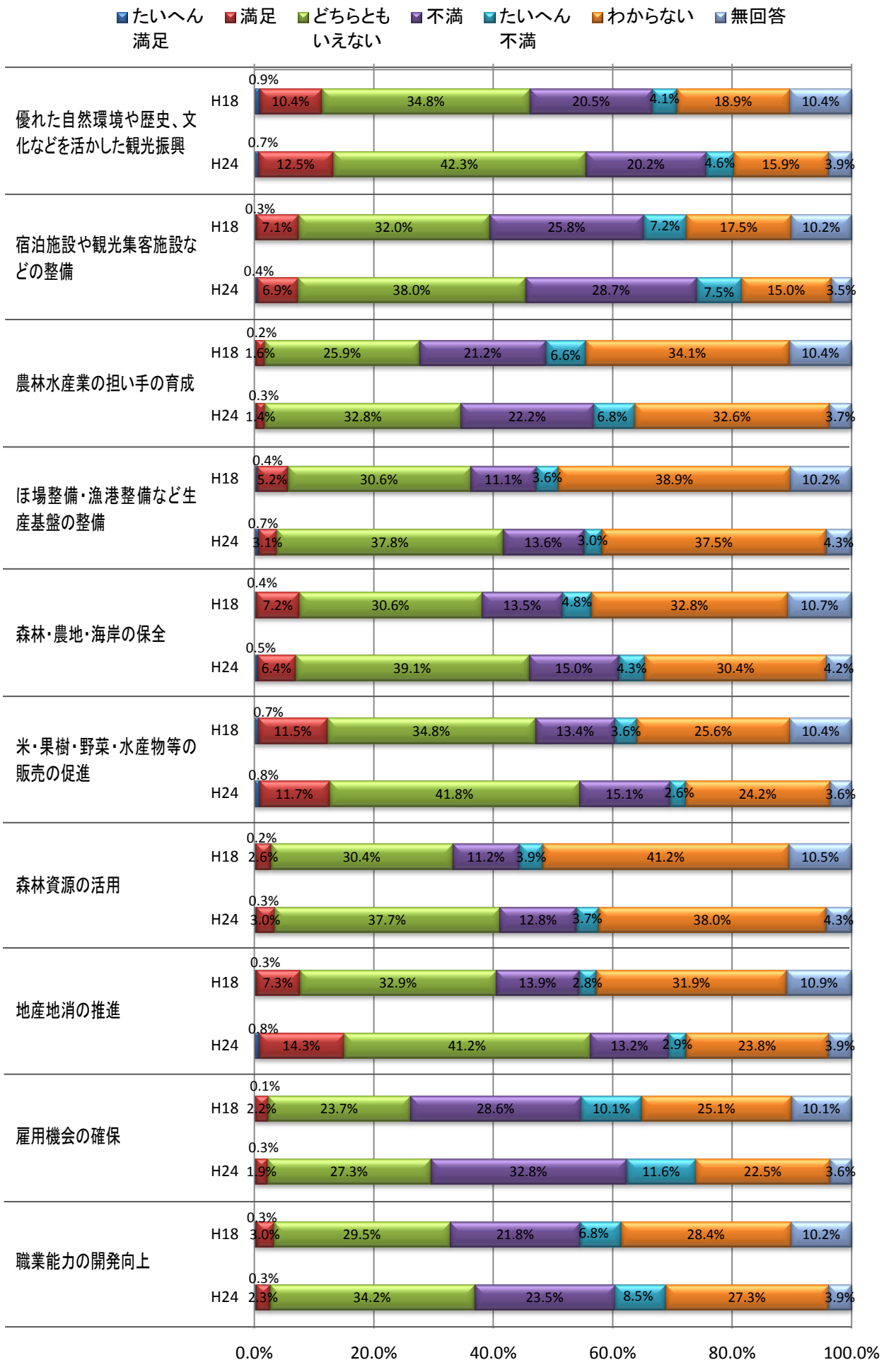
「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合が、「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合を上回っている項目として、「JR、バス等の地域生活交通の運行状況」（満足度　16.0%、不満度　41.9%）、「企業誘致や新しい産業の創出」（満足度　2.3%、不満度　40.7%）、「地元企業の育成」（満足度　2.9%、不満度　34.5%）、「中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実」（満足度　2.6%、不満度　57.9%）、「雇用機会の確保」（満足度　2.2%、不満度　44.4%）、「職業能力の開発向上」（満足度　2.6%、不満度　32.0%）等があります。

■前回調査時との比較

「たいへん満足」と「満足」を合わせた割合は、「インターネット等の情報通信環境の整備」が9.1%→15.4%へ、「地産地消の推進」が7.6%→15.1%へ増加しました。

「不満」と「たいへん不満」を合わせた割合が増加した項目として、「JR、バス等の地域生活交通の運行状況」（32.5%→41.9%）、「雇用機会の確保」（38.7%→44.4%）等がありました。


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
土地区画整理事業など計画的な土地利用の推進
H18 0.4% 5.8% 30.9% 16.0% 4.5% 29.4% 13.0%
H24 0.5% 5.6% 38.6% 17.3% 6.0% 26.9% 5.1%
新幹線、空港などの利用のしやすさ
H18 3.4% 40.2% 27.3% 12.2% 2.6% 4.9% 9.5%
H24 4.7% 40.5% 27.3% 14.0% 4.0% 5.9% 3.6%
地域間を結ぶ幹線道路
H18 1.6% 38.3% 28.5% 12.5% 2.6% 5.9% 10.6%
H24 2.6% 41.1% 31.7% 12.4% 2.5% 5.7% 4.0%
JR、バス等の地域生活交通の運行状況
H18 0.5% 14.6% 32.8% 23.8% 8.7% 10.2% 9.5%
H24 0.6% 15.4% 29.5% 30.3% 11.6% 9.2% 3.5%
インターネット等の情報通信環境の整備
H18 0.6% 8.5% 32.6% 10.3% 3.3% 34.3% 10.4%
H24 1.0% 14.4% 39.4% 10.7% 3.3% 27.1% 4.1%
魅力ある計画的な住宅地の形成
H18 0.2% 4.9% 37.3% 16.6% 3.6% 26.9% 10.5%
H24 0.3% 3.9% 45.7% 17.9% 3.9% 24.2% 4.1%
企業誘致や新しい産業の創出
H18 0.2% 2.3% 24.4% 28.9% 7.9% 26.4% 9.8%
H24 0.3% 2.0% 31.4% 30.5% 10.2% 21.8% 3.6%
地元企業の育成
H18 0.2% 2.6% 28.4% 24.5% 6.5% 27.6% 10.2%
H24 0.3% 2.6% 33.2% 27.8% 6.7% 25.8% 3.6%
産・学・公・民の連携による新しい産業づくりと人づくり
H18 0.1% 2.8% 30.1% 19.0% 4.3% 32.8% 10.9%
H24 0.2% 2.5% 36.2% 20.8% 4.9% 31.1% 4.4%
中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実
H18 0.2% 3.3% 21.0% 38.3% 16.1% 11.5% 9.7%
H24 0.2% 2.4% 25.1% 41.8% 16.1% 10.7% 3.7%
地方卸売市場など流通拠点の整備
H18 0.2% 5.0% 30.8% 17.2% 4.2% 31.6% 11.0%
H24 0.3% 3.2% 39.1% 18.7% 5.0% 29.7% 4.1%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
優れた自然環境や歴史、文化などを活かした観光振興
H18 0.9% 10.4% 34.8% 20.5% 4.1% 18.9% 10.4%
H24 0.7% 12.5% 42.3% 20.2% 4.6% 15.9% 3.9%
宿泊施設や観光集客施設などの整備
H18 0.3% 7.1% 32.0% 25.8% 7.2% 17.5% 10.2%
H24 0.4% 6.9% 38.0% 28.7% 7.5% 15.0% 3.5%
農林水産業の担い手の育成
H18 0.2% 1.6% 25.9% 21.2% 6.6% 34.1% 10.4%
H24 0.3% 1.4% 32.8% 22.2% 6.8% 32.6% 3.7%
ほ場整備・漁港整備など生産基盤の整備
H18 0.4% 5.2% 30.6% 11.1% 3.6% 38.9% 10.2%
H24 0.7% 3.1% 37.8% 13.6% 3.0% 37.5% 4.3%
森林・農地・海岸の保全
H18 0.4% 7.2% 30.6% 13.5% 4.8% 32.8% 10.7%
H24 0.5% 6.4% 39.1% 15.0% 4.3% 30.4% 4.2%
米・果樹・野菜・水産物等の販売の促進
H18 0.7% 11.5% 34.8% 13.4% 3.6% 25.6% 10.4%
H24 0.8% 11.7% 41.8% 15.1% 2.6% 24.2% 3.6%
森林資源の活用
H18 0.2% 2.6% 30.4% 11.2% 3.9% 41.2% 10.5%
H24 0.3% 3.0% 37.7% 12.8% 3.7% 38.0% 4.3%
地産地消の推進
H18 0.3% 7.3% 32.9% 13.9% 2.8% 31.9% 10.9%
H24 0.8% 14.3% 41.2% 13.2% 2.9% 23.8% 3.9%
雇用機会の確保
H18 0.1% 2.2% 23.7% 28.6% 10.1% 25.1% 10.1%
H24 0.3% 1.9% 27.3% 32.8% 11.6% 22.5% 3.6%
職業能力の開発向上
H18 0.3% 3.0% 29.5% 21.8% 6.8% 28.4% 10.2%
H24 0.3% 2.3% 34.2% 23.5% 8.5% 27.3% 3.9%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

memo

問14 「にぎわい・活力環境の創出」について、特に重要と思われるものは何ですか？

項　　目	H18	H24
高速交通網の整備	82	74
情報通信環境の整備・充実	96	57
中心市街地、駅前の商業施設の充実	509	461
魅力ある計画的な住宅地の形成	137	108
農林水産業の振興	72	82
地産地消の推進	162	190
工業の振興	52	59
伝統産業(窯業、セメント業等)の振興	34	29
企業誘致や新しい産業の創出	398	411
商業の振興	125	107
観光産業の振興	144	141
産・学・公・民の連携	100	80
雇用機会の確保	350	307
職業能力の開発向上	84	58
その他	25	14
合　　計	**1,407**	**1,183**

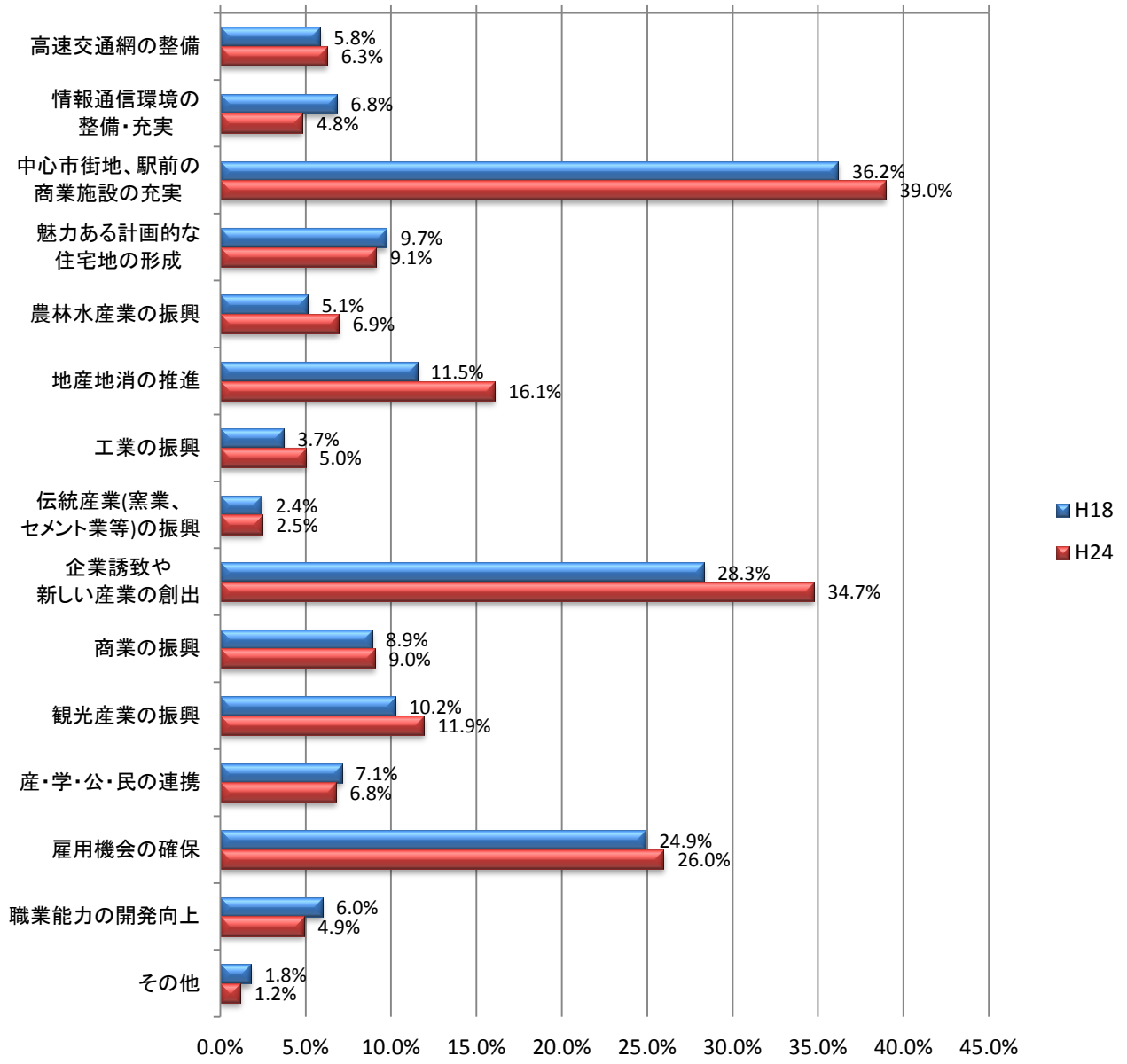
■全体

「中心市街地、駅前の商業施設の充実」(39.0%)、「企業誘致や新しい産業の創出」(34.7%)、「雇用機会の確保」(26.0%)が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「中心市街地、駅前の商業施設の充実」は前回調査時も今回も1位でした。

「地産地消の推進」は11.5%から16.1%へ、「企業誘致や新しい産業の創出」は28.3%から34.7%へ増加しました。



「その他」の意見

市内道路の整備
旧小野田市に集中しているのではないか。
高齢者の方のためにも近くにスーパーのようなは食品を買うことができる施設があれば、主婦の方たちも利用してにぎわいが生まれると思う。
新幹線の駅活用が全く行われていない。
「花の海」のようなドライブ中立ち寄れる休憩でき、地産地消の場がたくさんあると活気が出ると思う。
厚狭新幹線口の整備振興、在来線口との連絡路の新設整備
光インターネットがないのはあり得ない。不公平である。それだけの理由でこの地区から人が出ていくことがある。
この問いに関して意味不明です
雇用格差の是正
若者定住、促進
公共交通機関の充実
芸術文化と雇用を結びつくような新たな場や職が生まれるといいと思う。
人と人がつながる機会をつくる。もっと祭りなどのイベントを行う。

問15 「定住環境の充実」について、以下に示す「63」～「76」の市が実施している施策・状況に満足していますか。

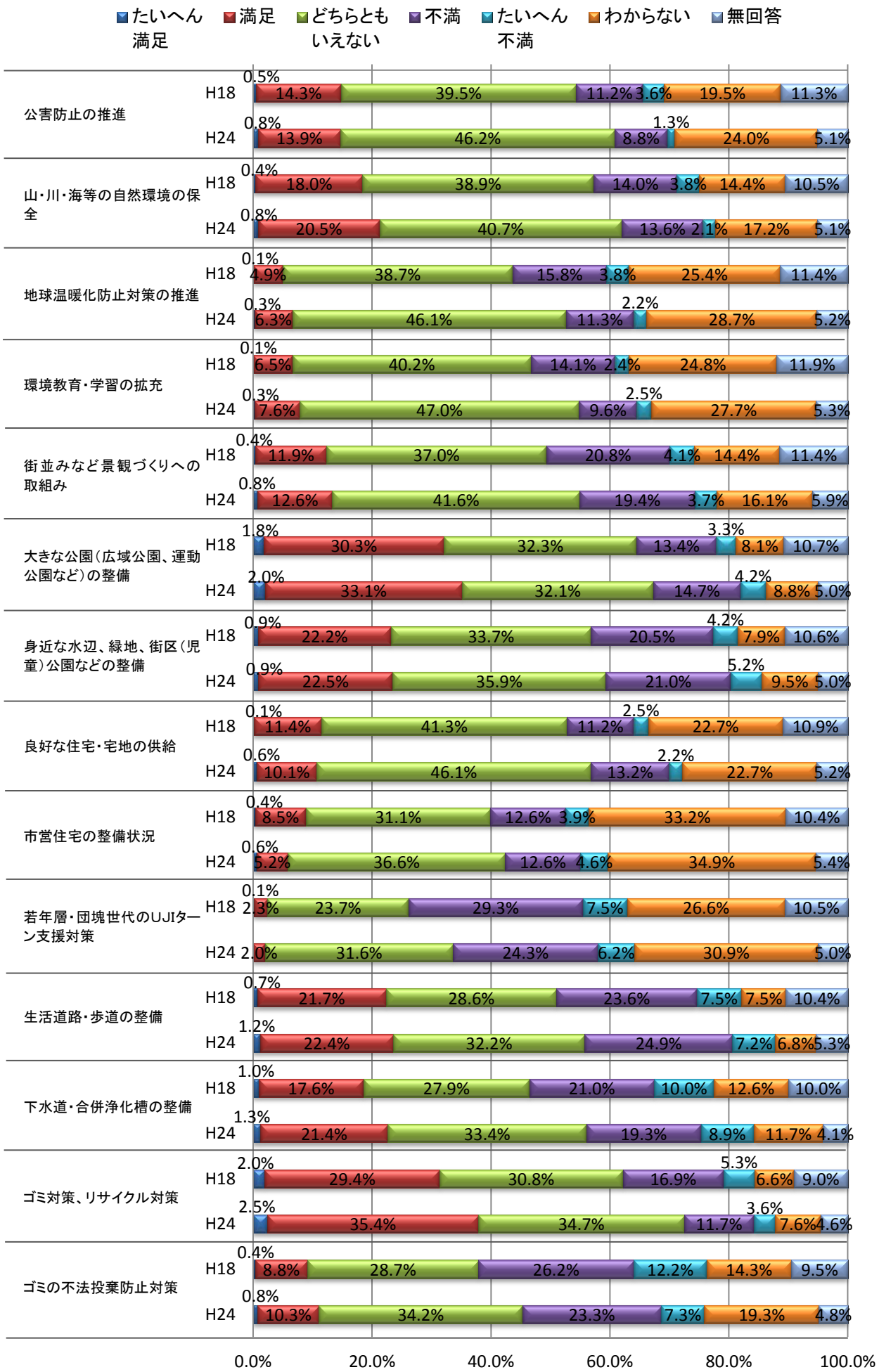
施策・状況		たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	わからない	無回答
公害防止の推進	H18	7	201	556	158	51	275	159
	H24	10	164	546	104	15	284	60
山・川・海等の自然環境の保全	H18	6	253	547	197	53	203	148
	H24	10	242	482	161	25	203	60
地球温暖化防止対策の推進	H18	1	69	544	222	53	358	160
	H24	3	75	545	134	26	339	61
環境教育・学習の拡充	H18	1	92	565	198	34	349	168
	H24	3	90	556	114	29	328	63
街並みなど景観づくりへの取組み	H18	6	168	520	292	58	202	161
	H24	9	149	492	229	44	190	70
大きな公園（広域公園、運動公園など）の整備	H18	25	427	455	189	46	114	151
	H24	24	392	380	174	50	104	59
身近な水辺、緑地、街区（児童）公園などの整備	H18	13	313	474	288	59	111	149
	H24	11	266	425	248	62	112	59
良好な住宅・宅地の供給	H18	2	160	581	157	35	319	153
	H24	7	120	545	156	26	268	61
市営住宅の整備状況	H18	5	120	437	177	55	467	146
	H24	7	62	433	149	55	413	64
若年層・団塊世代のUJIターン支援対策	H18	2	32	334	412	105	374	148
	H24	0	24	374	288	73	365	59
生活道路・歩道の整備	H18	10	305	403	332	106	105	146
	H24	14	265	381	294	85	81	63
下水道・合併浄化槽の整備	H18	14	247	393	295	141	177	140
	H24	15	253	395	228	105	138	49
ゴミ対策、リサイクル対策	H18	28	413	434	238	74	93	127
	H24	29	419	410	138	43	90	54
ゴミの不法投棄防止対策	H18	5	124	404	368	172	201	133
	H24	9	122	405	276	86	228	57

■全体

「不満」又は「たいへん不満」を合わせた不満度が、「たいへん満足」又は「満足」を合わせた満足度を上回っている項目として、「地球温暖化防止対策の推進」（満足度　6.6%、不満度　13.5%）、「環境教育・学習の拡充」（満足度　7.9%、不満度12.1%）、「街並みなど景観づくりへの取組み」（満足度　13.4%、不満度23.1%）、「市営住宅の整備状況」（満足度　5.8%、不満度　17.2%）、「若年層・団塊世代のUJIターン支援対策」（満足度　2.0%、不満度　30.5%）、「ゴミの不法投棄防止対策」（満足度　11.1%、不満度　30.6%）等があります。

■前回調査時との比較

「たいへん満足」と「満足」を合わせた満足度が下がった項目として、「市営住宅の整備状況」（8.9%→5.8%）等がありました。


たいへん満足
満足
どちらともいえない
不満
たいへん不満
わからない
無回答
公害防止の推進
H18 0.5% 14.3% 39.5% 11.2% 3.6% 19.5% 11.3%
H24 0.8% 13.9% 46.2% 8.8% 1.3% 24.0% 5.1%
山・川・海等の自然環境の保全
H18 0.4% 18.0% 38.9% 14.0% 3.8% 14.4% 10.5%
H24 0.8% 20.5% 40.7% 13.6% 2.1% 17.2% 5.1%
地球温暖化防止対策の推進
H18 0.1% 4.9% 38.7% 15.8% 3.8% 25.4% 11.4%
H24 0.3% 6.3% 46.1% 11.3% 2.2% 28.7% 5.2%
環境教育・学習の拡充
H18 0.1% 6.5% 40.2% 14.1% 2.4% 24.8% 11.9%
H24 0.3% 7.6% 47.0% 9.6% 2.5% 27.7% 5.3%
街並みなど景観づくりへの取組み
H18 0.4% 11.9% 37.0% 20.8% 4.1% 14.4% 11.4%
H24 0.8% 12.6% 41.6% 19.4% 3.7% 16.1% 5.9%
大きな公園（広域公園、運動公園など）の整備
H18 1.8% 30.3% 32.3% 13.4% 3.3% 8.1% 10.7%
H24 2.0% 33.1% 32.1% 14.7% 4.2% 8.8% 5.0%
身近な水辺、緑地、街区（児童）公園などの整備
H18 0.9% 22.2% 33.7% 20.5% 4.2% 7.9% 10.6%
H24 0.9% 22.5% 35.9% 21.0% 5.2% 9.5% 5.0%
良好な住宅・宅地の供給
H18 0.1% 11.4% 41.3% 11.2% 2.5% 22.7% 10.9%
H24 0.6% 10.1% 46.1% 13.2% 2.2% 22.7% 5.2%
市営住宅の整備状況
H18 0.4% 8.5% 31.1% 12.6% 3.9% 33.2% 10.4%
H24 0.6% 5.2% 36.6% 12.6% 4.6% 34.9% 5.4%
若年層・団塊世代のUJIターン支援対策
H18 0.1% 2.3% 23.7% 29.3% 7.5% 26.6% 10.5%
H24 2.0% 31.6% 24.3% 6.2% 30.9% 5.0%
生活道路・歩道の整備
H18 0.7% 21.7% 28.6% 23.6% 7.5% 7.5% 10.4%
H24 1.2% 22.4% 32.2% 24.9% 7.2% 6.8% 5.3%
下水道・合併浄化槽の整備
H18 1.0% 17.6% 27.9% 21.0% 10.0% 12.6% 10.0%
H24 1.3% 21.4% 33.4% 19.3% 8.9% 11.7% 4.1%
ゴミ対策、リサイクル対策
H18 2.0% 29.4% 30.8% 16.9% 5.3% 6.6% 9.0%
H24 2.5% 35.4% 34.7% 11.7% 3.6% 7.6% 4.6%
ゴミの不法投棄防止対策
H18 0.4% 8.8% 28.7% 26.2% 12.2% 14.3% 9.5%
H24 0.8% 10.3% 34.2% 23.3% 7.3% 19.3% 4.8%
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

問16 「定住環境の充実」について、特に重要と思われるものは何ですか？

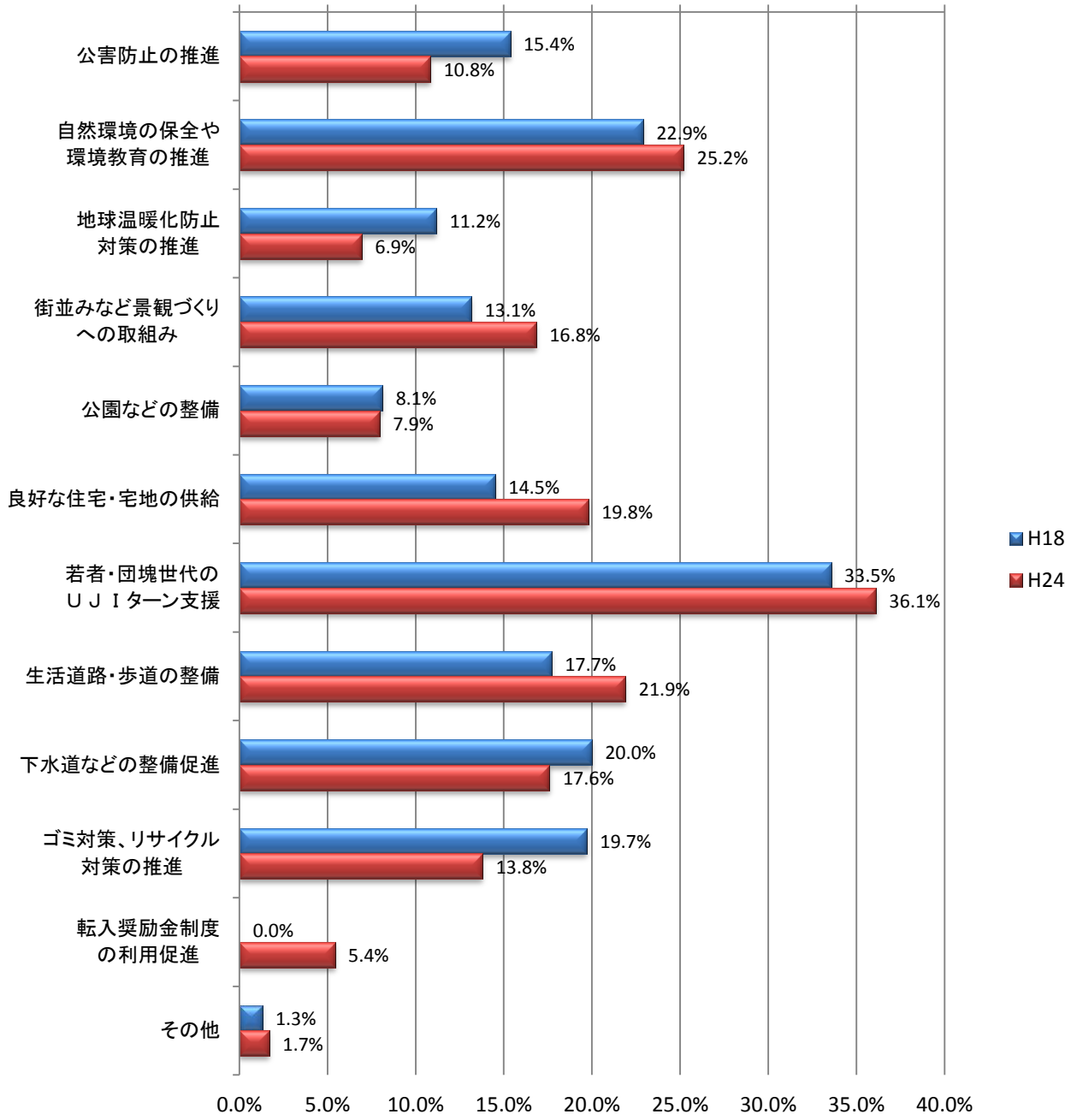
項　　目	H18	H24
公害防止の推進	216	128
自然環境の保全や環境教育の推進	322	298
地球温暖化防止対策の推進	157	82
街並みなど景観づくりへの取組み	185	199
公園などの整備	114	94
良好な住宅・宅地の供給	204	234
若者・団塊世代のUJIターン支援	472	427
生活道路・歩道の整備	249	259
下水道などの整備促進	281	208
ゴミ対策、リサイクル対策の推進	277	163
転入奨励金制度の利用促進		64
その他	18	20
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「若者・団塊世代のUJIターン支援」（36.1%）、「自然環境の保全や環境教育の推進」（25.2%）、「生活道路・歩道の整備」（21.9%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「若者・団塊世代のUJIターン支援」は前回調査時も今回も1位でした。
「生活道路・歩道の整備」は5位から3位へ順位が上がり、割合も17.7%から21.9%に増加しました。
「下水道などの整備促進」は3位から5位へ順位が下がりました。
「良好な住宅・宅地の供給」の割合は14.5%から今回19.8%へ増加しました。
「地球温暖化防止対策の推進」の割合は11.2%から6.9%へ、「ゴミ対策、リサイクル対策の推進」の割合は19.7%から13.8%へ減少しました。



「その他」の意見

働き場の増加
不用な包み紙の利用
下水道事業の推進(いつになったら、下水道が通るのですか。)
教育・子育てのしやすい環境
下水道が高すぎます。どうしてですか。
光ケーブルの実現
全て重要だと思いますが？
水害対策
職場の確保、教育の自由
生活環境/病院・スーパー等
極悪の水道水
雇用
放射能物質における内部被爆の本当の恐ろしさを知らない人が多すぎる。知る機会を市が前のめりにやることが重要。
魅力あるまちづくり
国保料の引き下げ
支えあえる人づくり
交通の利便性の増進
教育環境の充実

問17　あなたが次の5つのテーマの中で最も重視するのは何ですか？

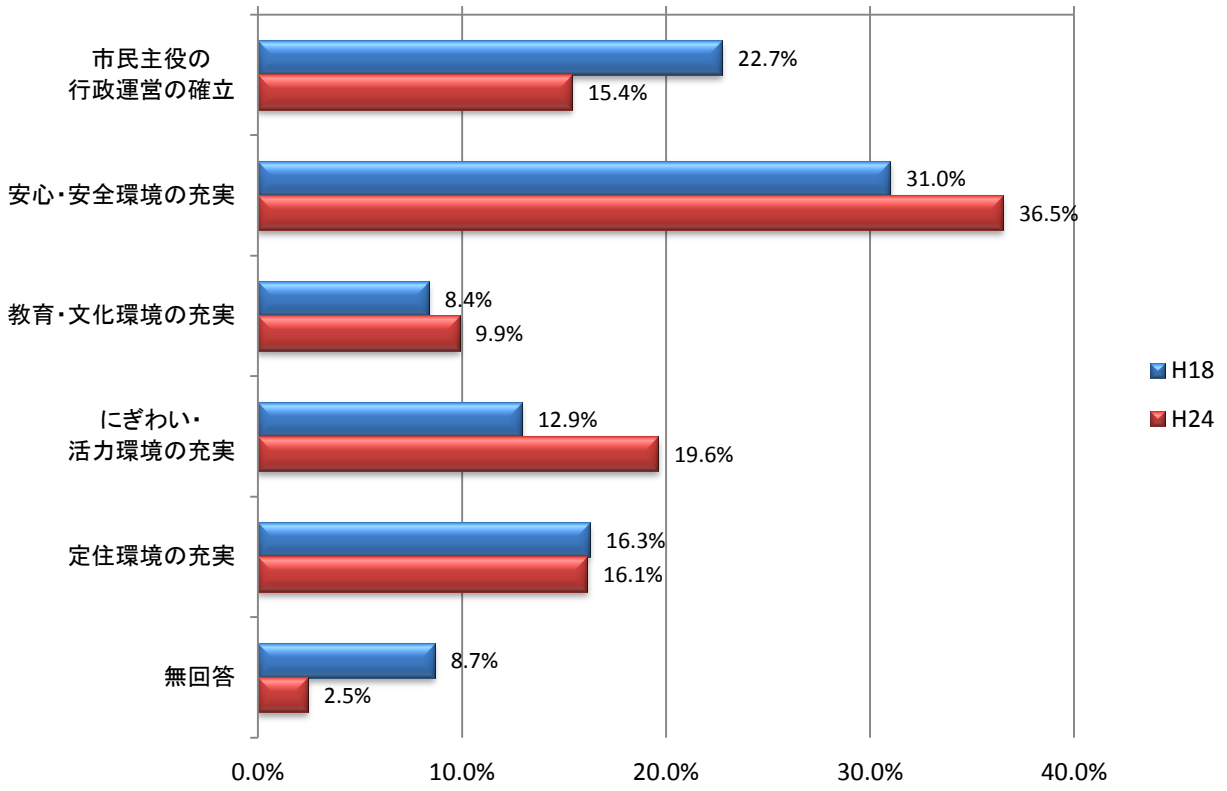
項　　目	H18	H24
市民主役の行政運営の確立	320	182
安心・安全環境の充実	436	432
教育・文化環境の充実	118	117
にぎわい・活力環境の充実	182	232
定住環境の充実	229	191
無回答	122	29
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「安心・安全環境の充実」(36.5%)、「にぎわい・活力環境の充実」(19.6%)、「定住環境の充実」(16.1%)が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「安心・安全環境の充実」は前回調査時も今回も1位でした。
「にぎわい・活力環境の充実」は4位から2位へ順位が上がり、割合も12.9%から19.6%へ上がりました。
「市民主役の行政運営の確立」は2位から4位へ順位が下がり、割合も22.7%から15.4%へ下がりました



memo

問18　あなたは、次の市の施設を、最近１年間に利用したことがありますか。利用したものをあげてください。

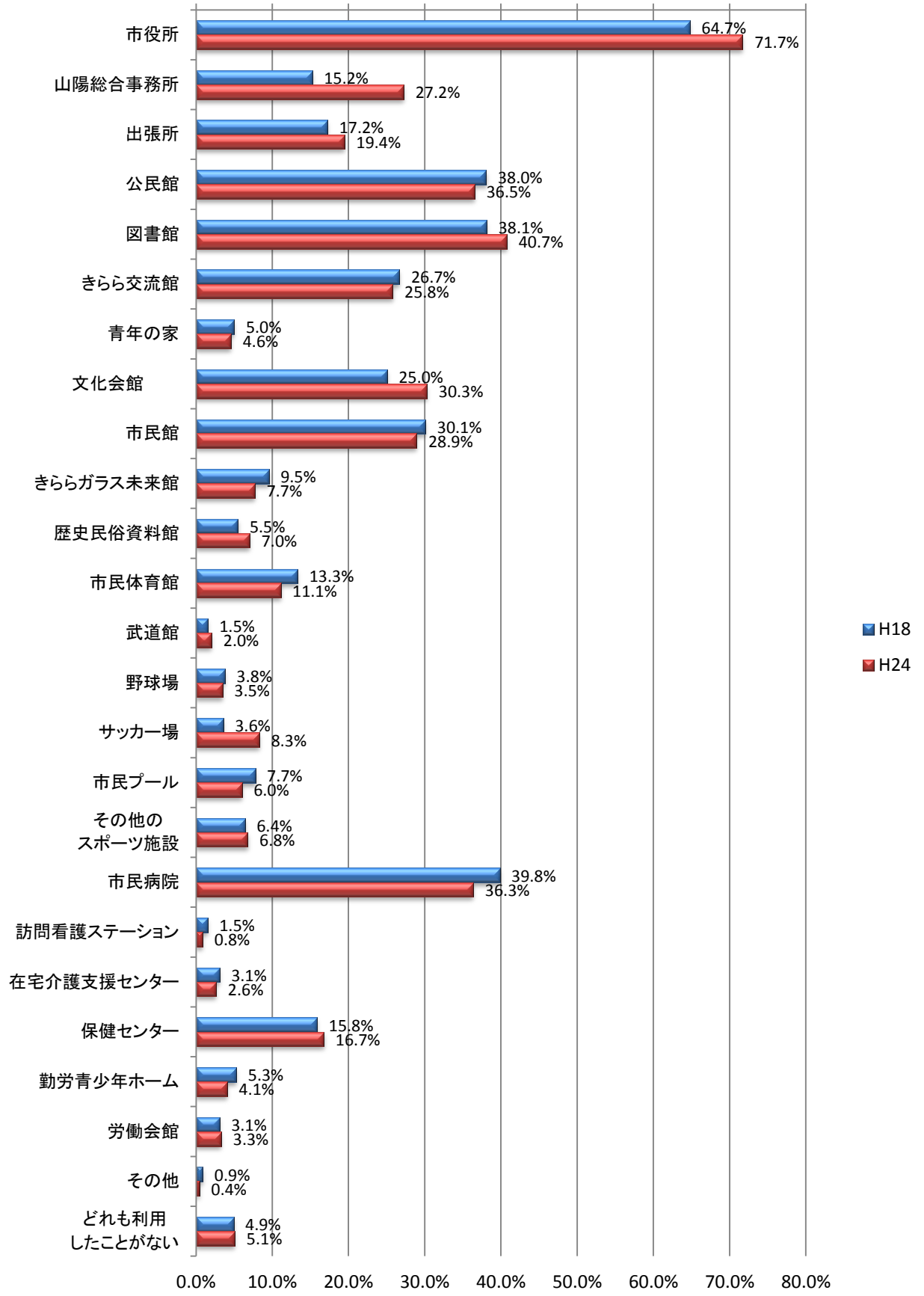
項　　目	H18	H24
市役所	911	848
山陽総合事務所	214	322
出張所	242	230
公民館	535	432
図書館	536	482
きらら交流館	375	305
青年の家	70	54
文化会館	352	358
市民館	423	342
きららガラス未来館	134	91
歴史民俗資料館	77	83
市民体育館	187	131
武道館	21	24
野球場	53	41
サッカー場	50	98
市民プール	109	71
その他のスポーツ施設	90	80
市民病院	560	430
訪問看護ステーション	21	10
在宅介護支援センター	43	31
保健センター	223	198
勤労青少年ホーム	74	48
労働会館	43	39
その他	12	5
どれも利用したことがない	69	60
合　　計	**1,407**	**1,183**

■前回調査時との比較

山陽総合事務所を利用された方の割合は15.2%から27.2%へ、サッカー場を利用された方の割合は3.6%から8.3%へ増加しました。

訪問看護ステーションを利用された方の割合は1.5%から0.8%に減少しました。

施設利用率



「その他」の意見

児童館(学童)
利用する価値があると思ってますか？

問19　現在取り組まれている山陽小野田市の行財政改革では、何に重点的に取り組むべきだと思いますか？

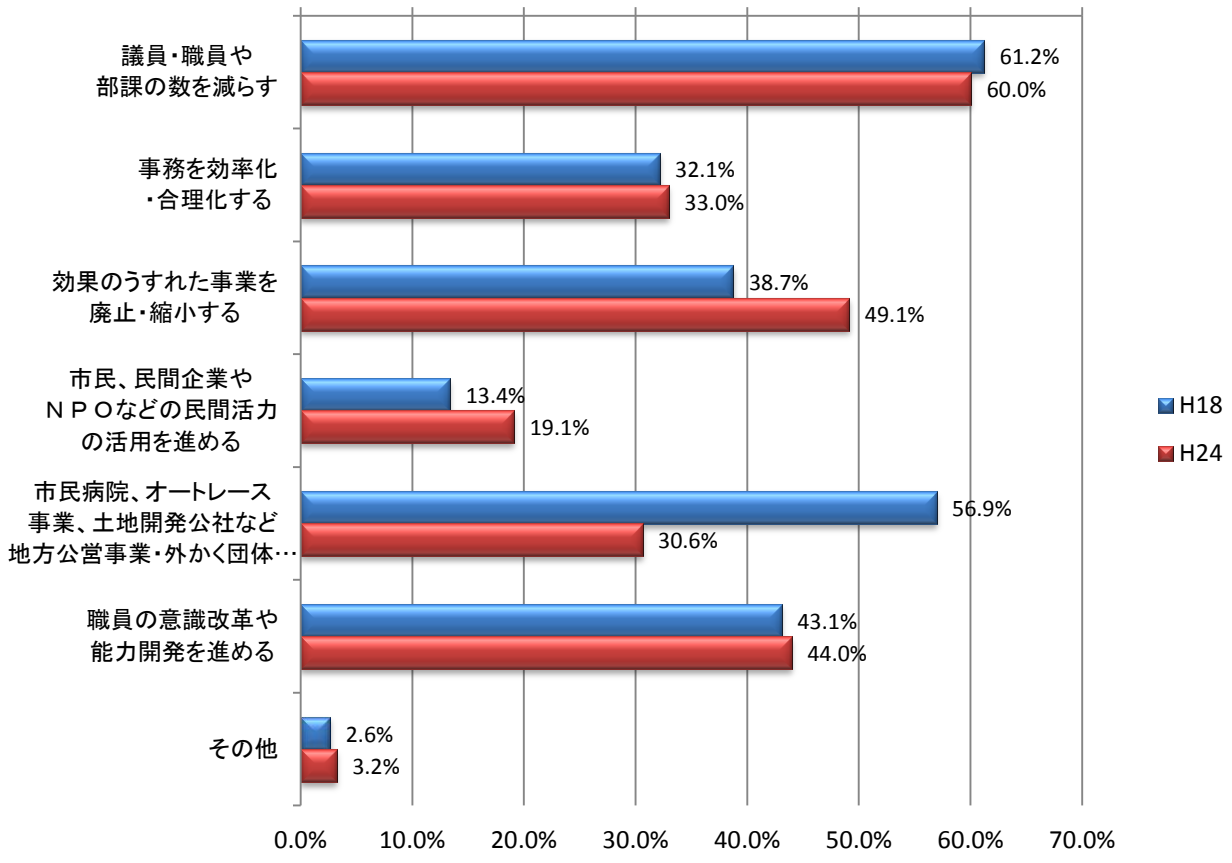
項　　目	H18	H24
議員・職員や部課の数を減らす	861	710
事務を効率化・合理化する	452	390
効果のうすれた事業を廃止・縮小する	545	581
市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用を進める	188	226
市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める	801	362
職員の意識改革や能力開発を進める	606	520
その他	37	38
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「議員・職員や部課の数を減らす」(60.0%)、「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」(49.1%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(44.0%)が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「議員・職員や部課の数を減らす」が前回調査時も今回も1位となっています。
「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」が4位から2位へと順位が上がり、割合は38.7%から49.1%へ増加しました。
「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める」は2位から5位へと順位が下がり、割合は56.9%から30.6%に減少しました。
「市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用を進める」を選んだ方の割合は、13.4%から19.1%に増加しました。



「その他」の意見

山陽小野田市の発展
職員のプロフェッショナル化と資質向上
市中間職員にも権限と責任を持たせるべきだ。市行政の責任と義務感。
市職員各層階に於ける決定力の確立（何でも最上階者の決定ではダメ）
①議員・職員にも家族・生活があるので、減らすことには反対です。②議員・職員である以上、犯罪を犯してはいけないというようなモラルが一般市民以上にあると思います。そのような人の絶対数を減らすことには反対です。③いま議員・職員がしなければならないことは山のようにあるはずです。（本当に市民のことを思えば）。なるだけ効率よく仕事をし、また、書類の数・内容を簡潔にして残った力で市をよくすべきだと思います。
無駄な道路づくりを廃止する。
それぞれの方々に、その役相応の活躍、活動をしていただきたいと思います。
市民病院はいる。
子育てに目を向けて
市役所の土曜、日曜の開庁を。せめて証明書等の書類がもらえるようにしてほしい。
職安など必要な施設がどんどん遠くなって、とても住みにくくなっている。
市役所に臨時採用の事務職員が現在でもいらっしゃるのであれば。
生活保護対象者の見直し、検討、調査
市役所を定年した人を再雇用するのではなく若い人に門戸を開いてほしい。特に公民館、保育園
公務員を減らす。
必要な所には人を増やすことを考えてもよい
全て当たり前のことだと思われます。仕事をしている身としては当然だと思います
市役所の部署によっては、人手が極端に足りないと聞く(福祉関係の部署など)。そうしたところの職員数は増やすべき。
守ることも大切です。しかし小野田は守ってばかりではこの先の発展はないと思う
行財政改革の情報公開　実施を決めた具体的目標とその進捗状況が毎月わかるように
職員が意見をきちんと言える職場環境（市長は職員の声に身を傾けること）
厚陽小中のような利用数の箱を作らず、必要性のあるものを作る。無駄な議員を減らす。
年功序列型賃金の廃止。管理職の賃金カット。
民間で出来ることは民間に任す。小さな行政。
高齢者の保護
障がい者等の知識や働く場所を増えて欲しい。
祭り事が多すぎる
最近の市役所職員の姿勢は活気がない。市民から何か文句をつけられないか気にしているように思える。（丁寧なことはよい。言葉づかいもよいが、何か威厳がない。）市を背負っているというような頼もしさがないように思える。
市役所の手続きとかの対応が事務的で人間味がない
わからない
旧山陽町重視で旧小野田市軽視の政策を変えること。
お金と引き換えに、住民の安全や未来を売らないこと。具体的には、原発誘致に反対、広域がれき処理受け入れに反対すること。
税収が減少がさけられない中、議会の廃止や市民にはサービスに限界があることを十分説明すること。
乳児医療費の無償化の枠の拡大
人材の発掘
縦割りをなくす。すべての用事を1か所にまとめてあちこち住民ら足をはこばせないようにする。
国保料の引き下げ
職員が率先してボランティア活動に参加してほしい。
トップの職員に対する対応
社協職員の意欲を高める。

問20　行財政改革の進め方として、最も重視すべきことは何ですか？

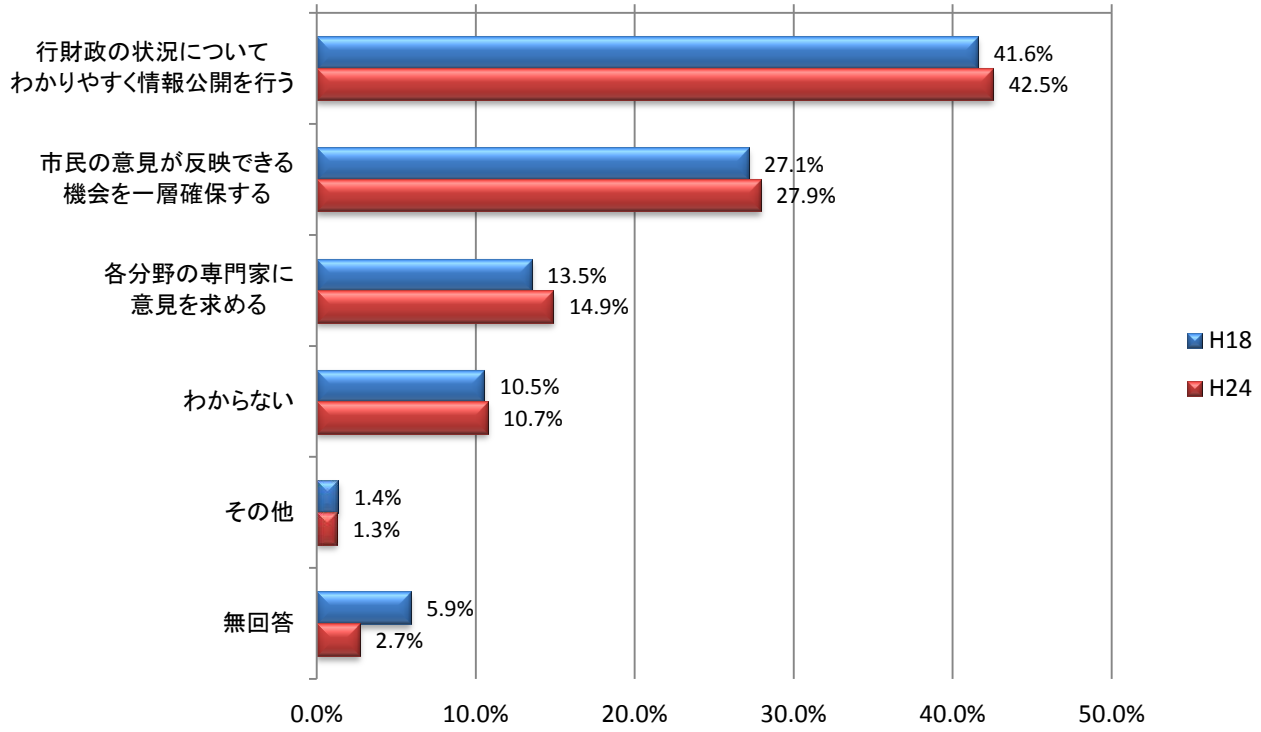
項　　目	H18	H24
行財政の状況についてわかりやすく情報公開を行う	585	503
市民の意見が反映できる機会を一層確保する	382	330
各分野の専門家に意見を求める	190	176
わからない	148	127
その他	19	15
無回答	83	32
合　　計	1,407	1,183

■全体

「行財政改革の状況についてわかりやすく情報公開を行う」(42.5%)、「市民の意見が反映できる機会を一層確保する」(27.9%)、「各分野の専門家に意見を求める」(14.9%)の順に選ばれています。

■前回調査時との比較

前回調査時と大きな変動はありませんでした。



「その他」の意見

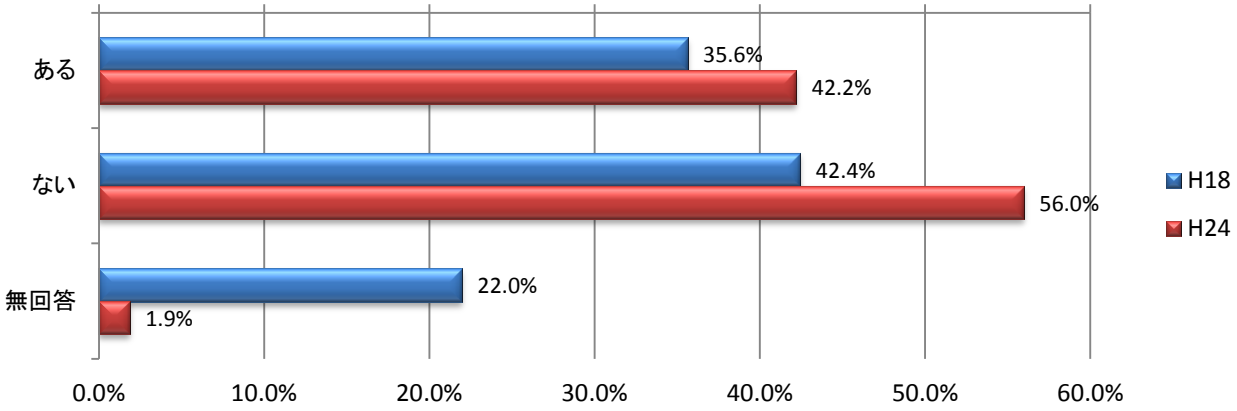
計画と実施の結果報告と継続
部課の効率化・合併化
市職員一人一人のレベルアップ→なんでも決定でき実力をつけて実行できる組織にする
改革の目標を鮮明にする。
今のことがわからない。もっとわかりやすくなければ、どう進めてよいかわからない。
生活保護者家庭の確認
時代が変わっているので、例年やっていた事、行事や会合を廃止し、教員・議員数を減らしたりし、簡略化
予算達成(目標)意識をもつ
こういうアンケートよりももっと大切なことがあるのではないかと思います。人員削減、規模縮小も大切で
1．都市計画税の活用について具体的に示してほしい。 2．「1」について担当課の業務内容を示してほしい。
何のために働いているか、はっきりさせればよい
議員・職員の数を減らす
行政に関わる議員・職員は、「公」であることを自負してほしい。市民のためといいながら、自らのためにし
ボランティア意識の高揚・啓発
行財政改革を毅然としてリーダーシップで進めることのできる首長を市民が選択すること。

問21　あなたは現在、上記の活動分野のうち、参加されているものがありますか？

項　　目	H18	H24
ある	501	499
ない	597	662
無回答	309	22
合計	**1,407**	**1,183**

■前回調査時との比較

「ある」と答えた方は35.6%から42.2%へ、「ない」と答えた方は42.4%から56.0%へ増加しました。
「無回答」だった方が22.0%から1.9%へ減少しました。



問22　問21で「1.ある」と答えた方は、上記の活動分野の中から主なものを5つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

項　　目	H18	H24
消防･防災活動	28	58
防犯活動	48	51
子育て支援活動	50	60
高齢者の支援活動	60	82
障がい児や障がい者の支援活動	25	30
健康づくり活動	45	62
ごみの減量化・リサイクル活動	139	174
自然保護や環境の保全活動	19	31
まちの美化･緑化活動	72	97
青少年の健全育成活動	40	28
スポーツ活動	101	96
レクリエーション活動	35	42
文化･芸術活動	77	84
歴史の保存･継承活動	16	21
国際交流・外国人との交流活動	14	10
消費生活への支援活動	10	14
自治会の活動	267	324
男女共同参画社会づくり活動	15	18
その他	11	4
合　　計	**501**	**499**

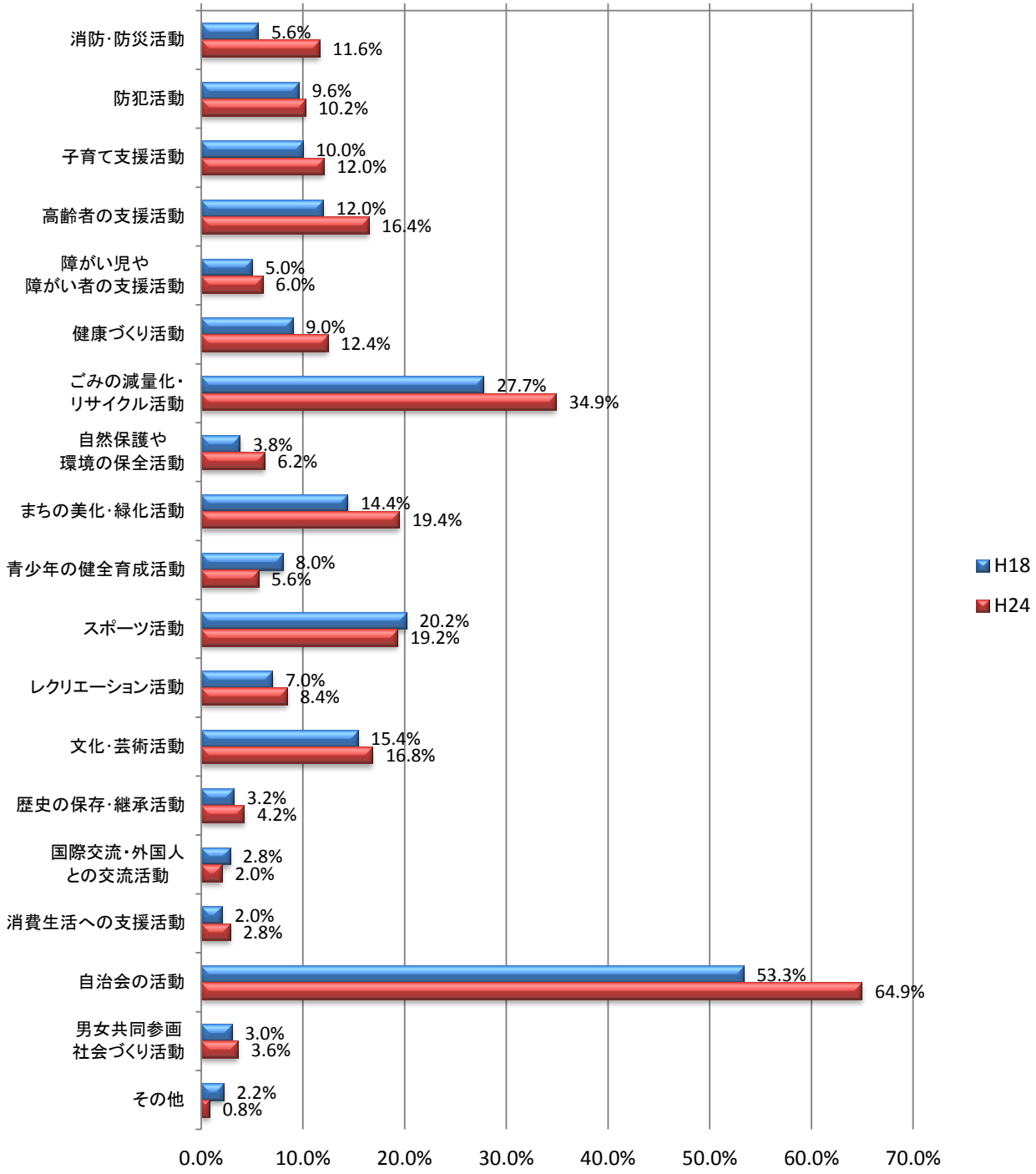
■全体

「自治会の活動」(64.9%)、「ごみの減量化・リサイクル活動」(34.9%)、「まちの美化・緑化活動」(19.4%)、「スポーツ活動」(19.2%)に参加している方が多いことが分かります。

■前回調査時との比較

参加者の割合が増加した項目として、「消防・防災活動」(5.6%→11.6%)、「ごみの減量化・リサイクル活動」(27.7%→34.9%)、「自然保護や環境の保全活動」(3.8%→6.2%)、「まちの美化・緑化活動」(14.4%→19.4%)、「自治会の活動」(53.3%→64.9%)等があります。

参加割合


消防･防災活動
5.6%
11.6%
防犯活動
9.6%
10.2%
子育て支援活動
10.0%
12.0%
高齢者の支援活動
12.0%
16.4%
障がい児や
障がい者の支援活動
5.0%
6.0%
健康づくり活動
9.0%
12.4%
ごみの減量化・
リサイクル活動
27.7%
34.9%
自然保護や
環境の保全活動
3.8%
6.2%
まちの美化･緑化活動
14.4%
19.4%
青少年の健全育成活動
8.0%
5.6%
スポーツ活動
20.2%
19.2%
レクリエーション活動
7.0%
8.4%
文化･芸術活動
15.4%
16.8%
歴史の保存･継承活動
3.2%
4.2%
国際交流･外国人
との交流活動
2.8%
2.0%
消費生活への支援活動
2.0%
2.8%
自治会の活動
53.3%
64.9%
男女共同参画
社会づくり活動
3.0%
3.6%
その他
2.2%
0.8%
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
H18
H24

問23　問21で「1.ある」をお答えの方で、現在は参加していないが今後参加したい分野があれば、上記の活動分野の中から主なものを5つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

項　　目	H18	H24
消防･防災活動	19	35
防犯活動	41	38
子育て支援活動	36	46
高齢者の支援活動	33	62
障がい児や障がい者の支援活動	16	41
健康づくり活動	52	106
ごみの減量化・リサイクル活動	26	41
自然保護や環境の保全活動	35	52
まちの美化･緑化活動	43	81
青少年の健全育成活動	12	34
スポーツ活動	16	39
レクリエーション活動	23	48
文化･芸術活動	24	73
歴史の保存･継承活動	23	60
国際交流・外国人との交流活動	24	51
消費生活への支援活動	22	40
自治会の活動	12	19
男女共同参画社会づくり活動	19	24
その他	0	2
合　　計	**501**	**499**

■全体

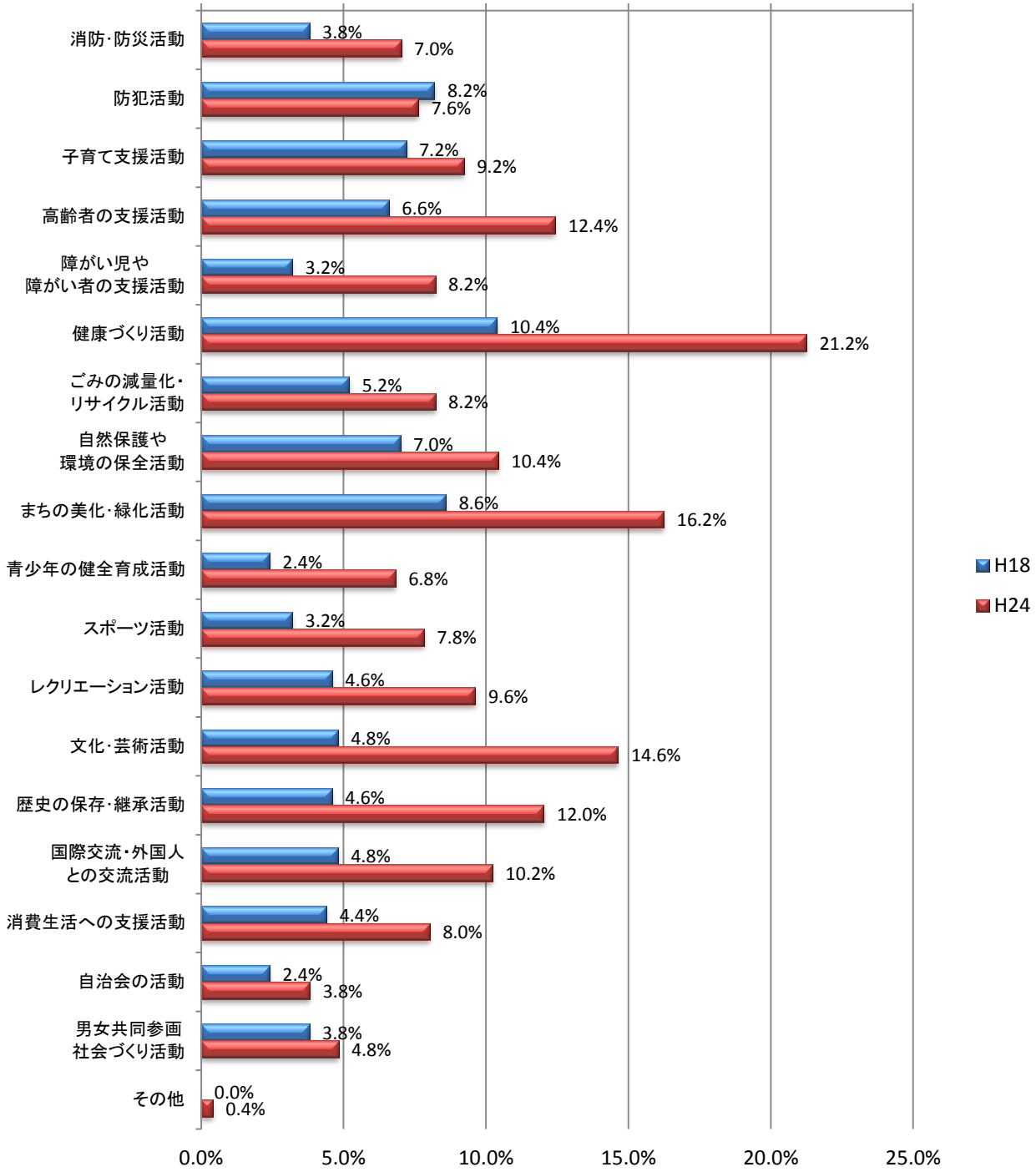
「健康づくり活動」(21.2%)、「まちの美化・緑化活動」(16.2%)、「文化・芸術活動」(14.6%)、「高齢者の支援活動」(12.4%)、「歴史の保存・継承活動」(12.0%)に参加したい方が多いことが分かります。

■前回調査時との比較

前回調査時と比較すると、多くの項目で参加を希望される方の割合が増加しています。

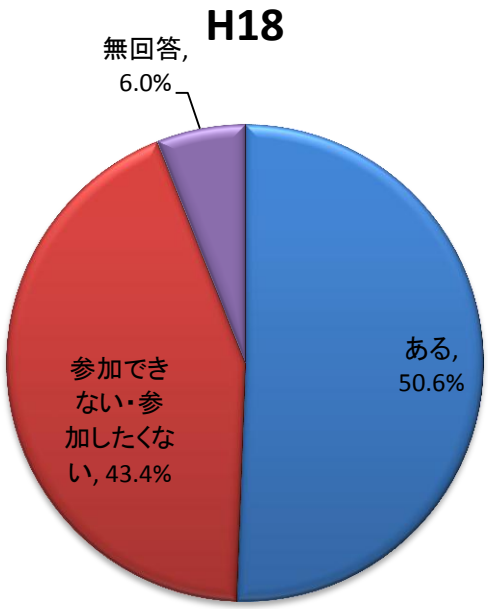
中でも、増加割合が大きかった項目として、「高齢者の支援活動」(6.6%→12.4%)、「障がい児や障がい者の支援活動」(3.2%→8.2%)、「健康づくり活動」(10.4%→21.2%)、「まちの美化・緑化活動」(8.6%→16.2%)、「青少年の健全育成活動」(2.4%→6.8%)、「スポーツ活動」(3.2%→7.8%)、「レクリエーション活動」(4.6%→9.6%)、「文化・芸術活動」(4.8%→14.6%)、「歴史の保存・継承活動」(4.6%→12.0%)、「国際交流・外国人との交流活動」(4.8%→10.2%)等がありました。

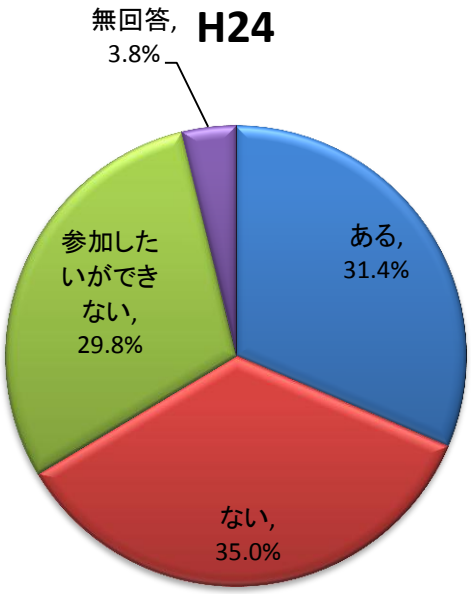
参加希望の割合


消防･防災活動
3.8%
7.0%
防犯活動
8.2%
7.6%
子育て支援活動
7.2%
9.2%
高齢者の支援活動
6.6%
12.4%
障がい児や
障がい者の支援活動
3.2%
8.2%
健康づくり活動
10.4%
21.2%
ごみの減量化・
リサイクル活動
5.2%
8.2%
自然保護や
環境の保全活動
7.0%
10.4%
まちの美化･緑化活動
8.6%
16.2%
青少年の健全育成活動
2.4%
6.8%
スポーツ活動
3.2%
7.8%
レクリエーション活動
4.6%
9.6%
文化･芸術活動
4.8%
14.6%
歴史の保存･継承活動
4.6%
12.0%
国際交流･外国人
との交流活動
4.8%
10.2%
消費生活への支援活動
4.4%
8.0%
自治会の活動
2.4%
3.8%
男女共同参画
社会づくり活動
3.8%
4.8%
その他
0.0%
0.4%
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
H18
H24

問24　問21で「2.ない」をお答えの方は、今後参加したいと考えているものがありますか。

項　　目	H18	H24
ある	302	208
ない	259	232
参加したいができない		197
無回答	36	25
合　　計	597	662





■前回調査時との比較

「ある」と答えた方の割合は前回調査時50.6%から31.4%へと減少し、「ない」又は「参加したいができない」と答えた方の割合は43.4%から64.8%に増加しました。

memo

問25　問24で「1.ある」をお答えの方は、上記の活動分野の中から主なものを5つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

項　　目	H18	H24
消防･防災活動	33	16
防犯活動	58	29
子育て支援活動	63	49
高齢者の支援活動	70	46
障がい児や障がい者の支援活動	43	24
健康づくり活動	79	53
ごみの減量化・リサイクル活動	70	57
自然保護や環境の保全活動	74	51
まちの美化･緑化活動	70	65
青少年の健全育成活動	22	13
スポーツ活動	76	57
レクリエーション活動	43	24
文化･芸術活動	59	42
歴史の保存･継承活動	33	26
国際交流・外国人との交流活動	39	24
消費生活への支援活動	20	14
自治会の活動	49	36
男女共同参画社会づくり活動	19	8
その他	2	0
合　　計	302	208

■全体

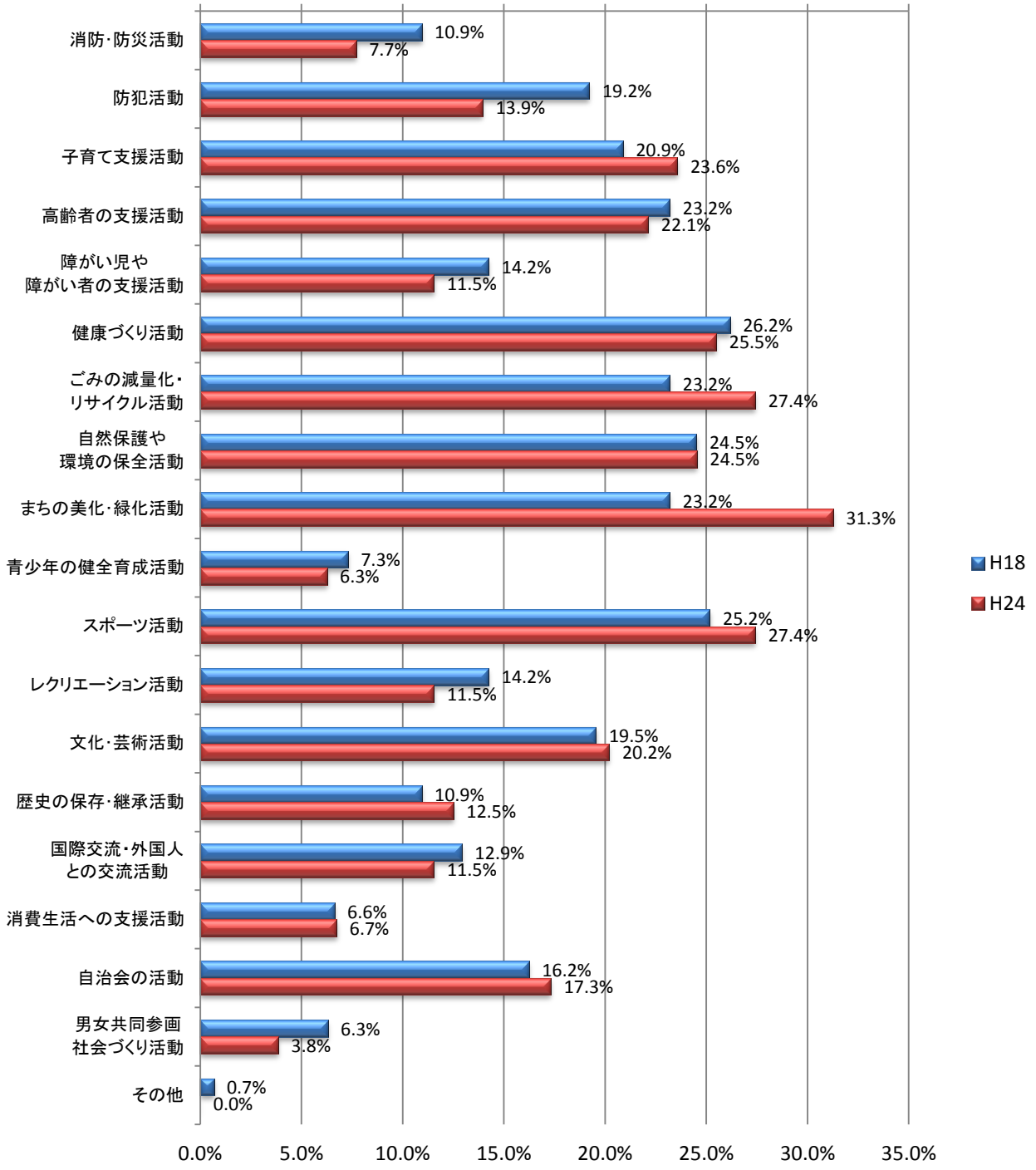
「まちの美化・緑化活動」(31.3%)、「ごみの減量化・リサイクル活動」(27.4%)、「スポーツ活動」(27.4%)、「健康づくり活動」(25.5%)、「自然保護や環境の保全活動」(24.5%)に参加を希望している方が多いことが分かります。

■前回調査時との比較

参加を希望される方の割合が増加した項目として、「まちの美化・緑化活動」(23.2%→31.3%)等がありました。

参加を希望される方の割合が減少した項目としては、「消防・防災活動」(10.9%→7.7%)、「防犯活動」(19.2%→13.9%)、「男女共同参画社会づくり活動」(6.3%→3.8%)等がありました。

参加希望の割合


消防･防災活動
10.9%
7.7%
防犯活動
19.2%
13.9%
子育て支援活動
20.9%
23.6%
高齢者の支援活動
23.2%
22.1%
障がい児や
障がい者の支援活動
14.2%
11.5%
健康づくり活動
26.2%
25.5%
ごみの減量化･
リサイクル活動
23.2%
27.4%
自然保護や
環境の保全活動
24.5%
24.5%
まちの美化･緑化活動
23.2%
31.3%
青少年の健全育成活動
7.3%
6.3%
スポーツ活動
25.2%
27.4%
レクリエーション活動
14.2%
11.5%
文化･芸術活動
19.5%
20.2%
歴史の保存･継承活動
10.9%
12.5%
国際交流･外国人
との交流活動
12.9%
11.5%
消費生活への支援活動
6.6%
6.7%
自治会の活動
16.2%
17.3%
男女共同参画
社会づくり活動
6.3%
3.8%
その他
0.7%
0.0%
0.0%
5.0%
10.0%
15.0%
20.0%
25.0%
30.0%
35.0%
H18
H24

問26　問24で「2.ない」または「3.参加したいができない」をお答えの方は、その理由をお答えください。

高齢のため	健康上の理由から
多忙のため	車がないため
性格上の理由から	人が怖いため
体調不良のため	歩けないから
いやだから	仕事のため
人見知りのため	興味がないから
体力がないから	家族の介護のため
時間がない	学生だから
身体障害者だから	体が不自由だから
機会がない	身体的理由のため
情報がないから	家族の健康問題があるため
体力が劣る	外出が苦手だから
余裕がない	日常の生活で手一杯だから
めんどくさいから	個を楽しみたい
関心がもてない	遠距離通勤のため
参加する気がない	認知症なので無理
好きではないから	参加する元気がない
できることがない	長期出張が多いため
活動時間があわない	仕事（勤務）が不規則
自由に過ごしたいから	活動内容がわからない
自分が消極的なので。	参加したい活動がない
参加日が休みと合わない	今は、考えられないから。
施設に入所しているため	参加の仕方がわからない。
脳梗塞の後遺症があるため	自分ができそうな事がない
在宅障がい者がいるため。	内容がよくわからないため
年寄りと暮らしているため	どこで行っているかわからない
いつ活動しているか分からない	何をしたらいいか分からない。
内容がくわしくわからないから	仲間がいない、年齢的に躊躇する
楽しくない。楽しそうではない。	外のことをしているので時間がない
活動していたが、終了したので。	情報が少ないので内容がわからない
活動への参加の仕方がわからない。	交通の便がとても悪く参加しにくい。
身体的に普通の人についていけない	仕事と農業の両立があるのでできない。
仕事もあり、家庭に年寄りがいるため	日曜、祭日と平日に仕事をしているため
仕事と家庭でそこに割く時間がないため	職場が離れており日ごろの活動ができない
情報がない。時間、金銭の余裕がない。	子どもができたら考えたいと思うが今はなし
移住したばかりなので行動が起こせない。	
仕事の勤務時間が遅く、帰宅時間が遅いため	
仕事関係で地元にいることが極めて少ないから	
仕事のためと休日は家庭ですることがあるため	
友人がいない、又チャンスがあれば参加したい。	
活動に参加するための手段（車の運転ができない）	
休日が少ないため、ゆっくり休むことを優先したい	
仕事があるためできない。将来的にはしたいと思う。	
ボランティアに参加する時間がつくれないでいます。	
負担が大きいイメージがあるので気軽に参加しづらい。	
障がいをもった孫の子守で身動きがとれず何もできない。	
参加する時間が取れない。永住できるかどうかもわからない。	
自分に該当しているものがないと思った。時間に余裕がない。	
時間をわざわざ作って、ボランティア活動などしたいと思わないから	
ボランティア活動、NPOが地域で役立っているという実感がないから	
日々の生活において、自分なりの活動をすれば良いと思っているので。	
下関市が近く便利なため、生活拠点が下関市や小倉になっているため。	
仕事で時間がない。ごみの減量化やリサイクルは個人で努力している。	
いろいろな分野で協力したいが、健康上や家族の看護等で参加が難しい	
健康上の問題と対人関係が不得意なので親しい方がいれば参加できるかもしれない	
自身が生きていくのに(仕事をするのに)精いっぱいです。老後(退職後)ならば可能。	
いつ・どこで・どんな事をしているのか詳細が分からず、身近な活動してとらえられない。大変そうで取り組む意欲がわかない。	
参加する意味もないし、参加しても効果が期待できない。自分たちの生活で精一杯。NPOに参加するほど時間も資金もない。移動するにも車を使います。ガソリン代がかかります。人のために動けるほど生活に余裕はありません。	

問27　あなたは、市政に関心がありますか。

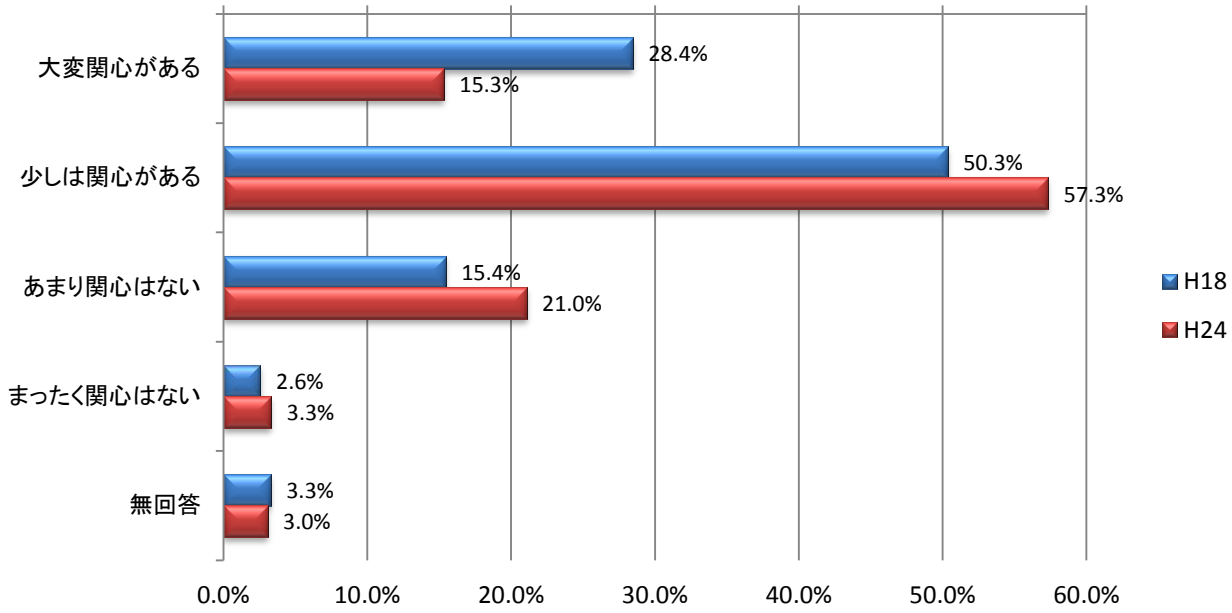
項　　目	H18	H24
大変関心がある	400	181
少しは関心がある	708	678
あまり関心はない	217	249
まったく関心はない	36	39
無回答	46	36
合　　計	1,407	1,183

■全体

「大変関心がある」又は「少しは関心がある」と答えた方の割合（72.6%）が、「あまり関心はない」又は「まったく関心はない」と答えた方の割合（24.3%）を上回っています。

■前回調査時との比較

「大変関心がある」と答えた方の割合は、28.4%から15.3%に減少しました。
「少しは関心がある」と答えた方の割合は、50.3%から57.3%に増加しました。
「大変関心がある」又は「少しは関心がある」と答えた方の割合は、78.7%から72.6%に減少しました。
「あまり関心はない」又は「まったく関心はない」と答えた方の割合は、18.0%から24.3%に増加しました。



問28　市民の意見・提言が市政に反映されていると思いますか？

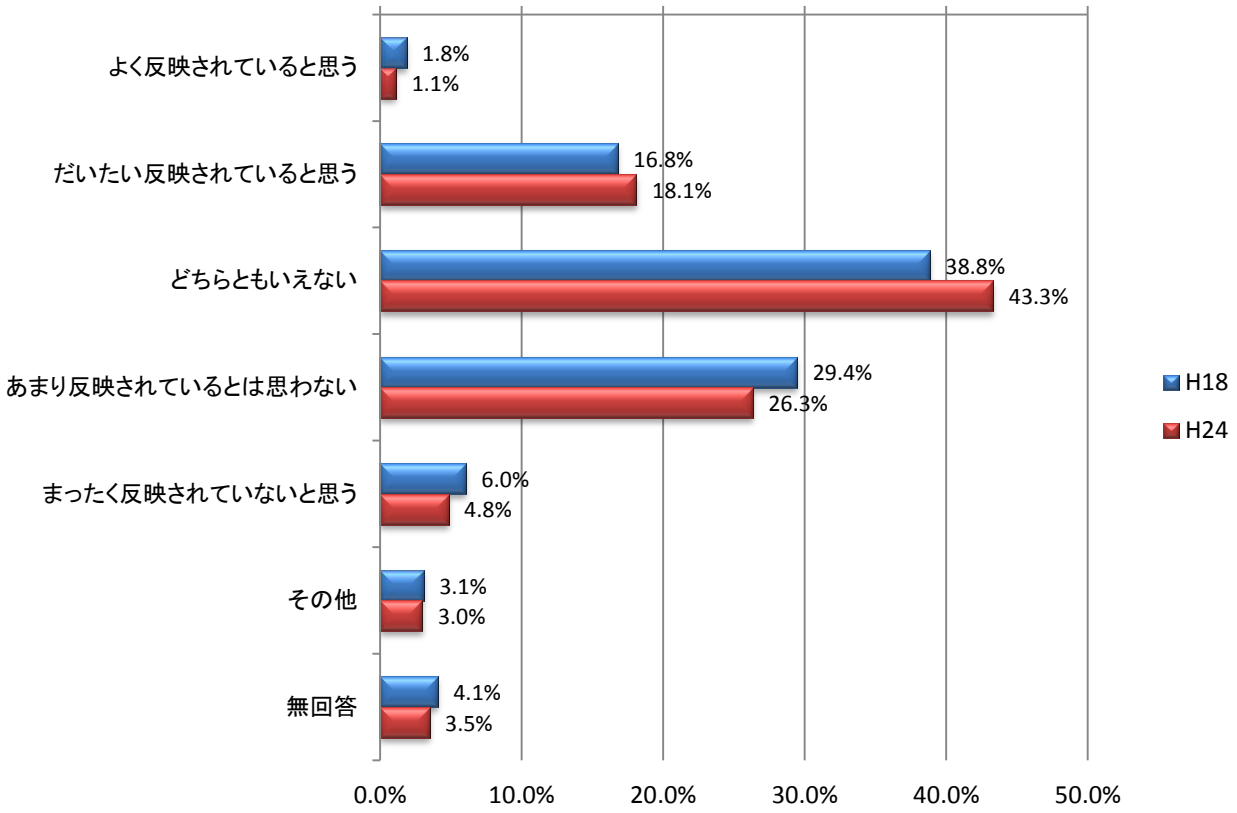
項　　目	H18	H24
よく反映されていると思う	26	13
だいたい反映されていると思う	236	214
どちらともいえない	546	512
あまり反映されているとは思わない	414	311
まったく反映されていないと思う	85	57
その他	43	35
無回答	57	41
合　　計	1,407	1,183

■全体

「よく反映されていると思う」又は「だいたい反映されていると思う」と答えた方の割合（19.2%）が、「あまり反映されているとは思わない」又は「まったく反映されていないと思う」と答えた方の割合（31.1%）を下回りました。

■前回調査時との比較

「あまり反映されているとは思わない」と答えた方の割合は、29.4%から26.3%へ減少しました。
「どちらともいえない」と答えた方の割合は、38.8%から43.3%に増加しました。



「その他」の意見

市民の意見が分からない
分からない
市民の意見・提言を知らない
引っ越してわからない
意見提言したいことがない。
一部の声の大きい人の意見のみ反映されている。
市民の提言の内容が不明
比較対象がないのでわかりません
偏った意見が反映されているので、不満がある。
どんな意見が出されているのか自体がわからない
市長への手紙が途中、止まっている事があった

問29　あなたは、市政に意見・提言の機会や手段、方法に満足していますが？

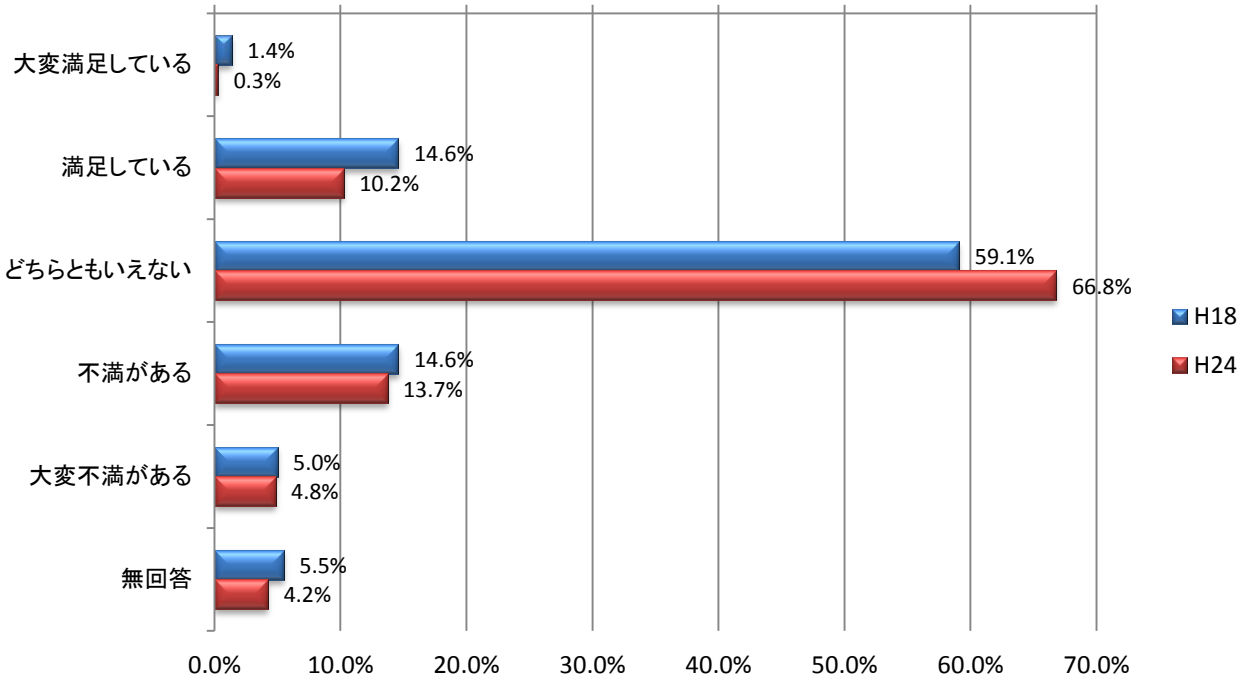
項　　目	H18	H24
大変満足している	19	3
満足している	205	121
どちらともいえない	831	790
不満がある	205	162
大変不満がある	70	57
無回答	77	50
合　　計	1,407	1,183

■全体

「大変満足している」又は「満足している」と答えた方の割合（10.5%）が、「不満がある」又は「大変不満がある」と答えた方の割合（18.5%）を下回っています。
「どちらともいえない」と答えた方の割合が66.8%と多数を占めています。

■前回調査時との比較

「大変満足している」と答えた方の割合は、1.4%から0.3%に減少しました。
「大変満足している」又は「満足している」と答えた方の割合は、16.0%から10.5%に減少しました。
「どちらともいえない」と答えた方の割合は、59.1%から66.8%に増加しました。



問30　あなたは、市政への市民参加、意見・提言の反映について、どのような方法が望ましいと思いますか？

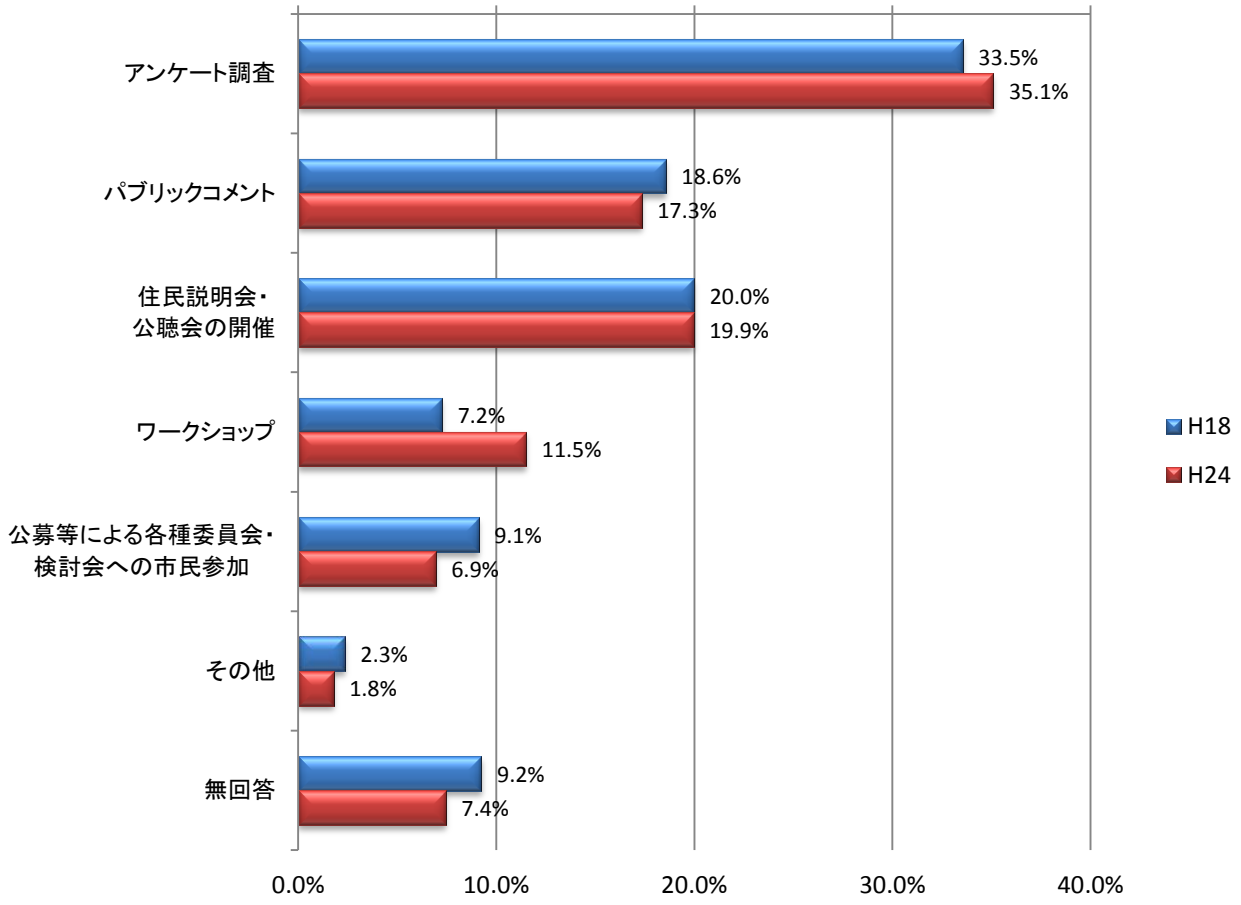
項　　目	H18	H24
アンケート調査	472	415
パブリックコメント	261	205
住民説明会・公聴会の開催	281	236
ワークショップ	102	136
公募等による各種委員会・検討会への市民参加	128	82
その他	33	21
無回答	130	88
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「アンケート調査」（35.1%）、「住民説明会・公聴会の開催」（19.9%）、「パブリックコメント」（17.3%）が多く選ばれています。

■全体

「ワークショップ」と答えた方の割合が7.2%から11.5%に増加しました。



「その他」の意見

公共的民間団体の意見・提言を重視すべき
何をやってもトップの考え方が変わらないとムダ
自治会の集合時に問題提起して談話の中から汲み取っていただきたい
市会議員がたくさんおられるのだから市民の声を聞けばよい。選挙の時は声を聞くと連呼していたと思うが。
インターネットの書き込み、ホームページ
ネットで意見交換の欄を入れる。
市議会議員を利用する。
双方向のディスカッション
インターネット上での意見の募集
考えましたが良い案が出ませんでした
望ましい方法が見つからない。
わからない。難しい。
広報・議会だよりで十分である。
どれでもよいが、結果と対策をはっきりすべき。
参加者が限定された一部の方々に偏らないことが大切
今の市政は個人のエゴや個人の利益のみを考えた意見が通りやすくなっていると思う。社会的弱者の意見を聞くことや不利益でも市のためになることをすること。
アンケートをしてその結果を踏まえ、どういう変化を加えたかを公表する。あまりコストをかけないで。
市民の意見・提言がシステマティックに反映される行政ではない。
自治会の有効活用
わからない

問31　市からの情報提供について、不足と感じるものがありますか？

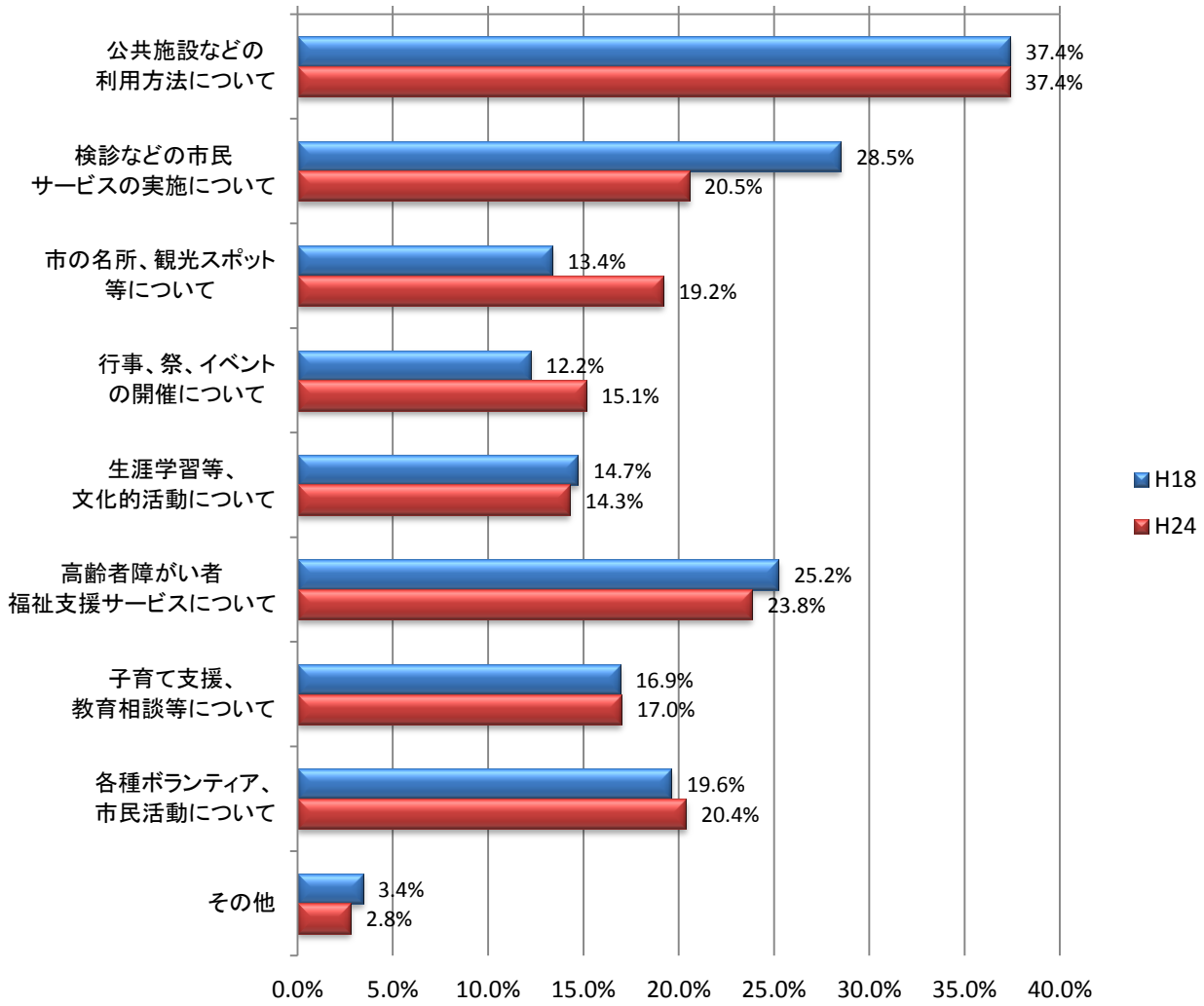
項　　目	H18	H24
公共施設などの利用方法について	526	442
検診などの市民サービスの実施について	401	243
市の名所、観光スポット等について	188	227
行事、祭、イベントの開催について	172	179
生涯学習等、文化的活動について	207	169
高齢者障がい者福祉支援サービスについて	355	282
子育て支援、教育相談等について	238	201
各種ボランティア、市民活動について	276	241
その他	48	33
合　　計	1,407	1,183

■全体

「公共施設などの利用方法について」(37.4%)、「高齢者障がい者福祉支援サービスについて」(23.8%)、「検診などの市民サービスの実施について」(20.5%)、「各種ボランティア、市民活動について」(20.4%)が多く選ばれています

■前回調査時との比較

「検診などの市民サービスの実施について」が28.5%から20.5%に減少しました。
「市の名所、観光スポット等について」が13.4%から19.2%に増加しました。



「その他」の意見

上記の情報提供の中では、不満を感じておりません
防災、災害の連絡網
山陽小野田市に魅力がないのでわからない。
周知が遅い
不妊治療専門病院など山口県内での情報が少ないため、県外での利用が多い
別に感じない
会計報告。個々の公務員の業務内容と給与体系
現在の情報で満足しています
災害時の情報提供が伝わっていない
現状でよい
各種手続き方法
情報提供の周知方法
今の自分の生活に必要なものがない
災害時の連絡
各支援関係も市民側が個々に要求して初めて受けることができる。行政から連絡できないのか。(知らな
おもしろみがない
市議会
すべて
インターネットによる要望のチェック
公共工事入札に関する職員の対応
財政について

問32　市からの情報は、どのような手段で入手されていますか？

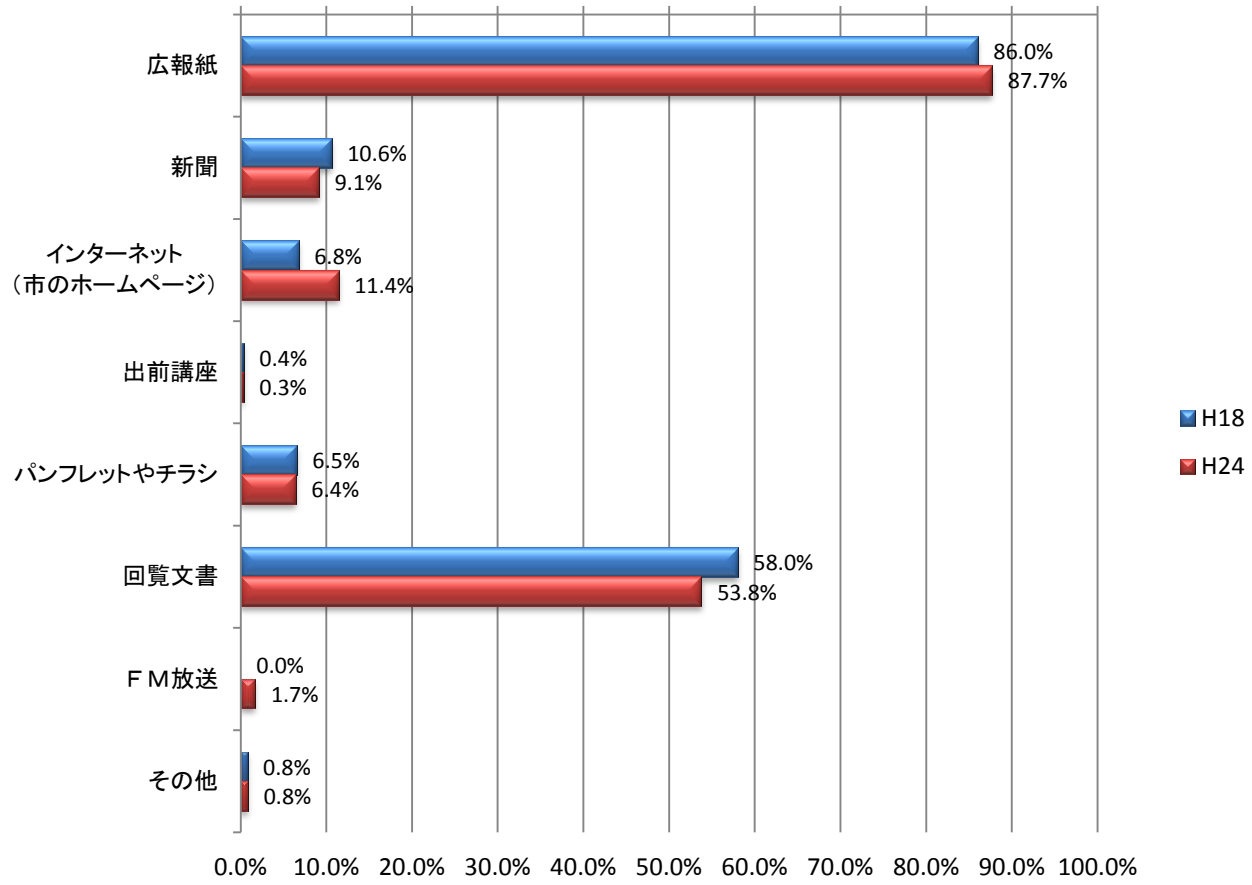
項　　目	H18	H24
広報紙	1,210	1,037
新聞	149	108
インターネット（市のホームページ）	95	135
出前講座	5	4
パンフレットやチラシ	92	76
回覧文書	816	636
FM放送		20
その他	11	10
合　　計	1,407	1,183

■全体

「広報紙」（87.7%）、「回覧文書」（53.8%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

平成24年2月のFM放送局開局に伴い、今回の調査に「FM放送」を付け加えました。「FM放送」と答えた方は1.7%でした。
「インターネット（市のホームページ）」と答えた方の割合が、6.8%から11.4%に増加しました。



「その他」の意見

口コミ
家族の会話、ニュース
新聞の中のチラシ
情報は得ていない
入ってこない
知人から
人のうわさ
入手していない

問33　山陽小野田市は住み良いまちですか？

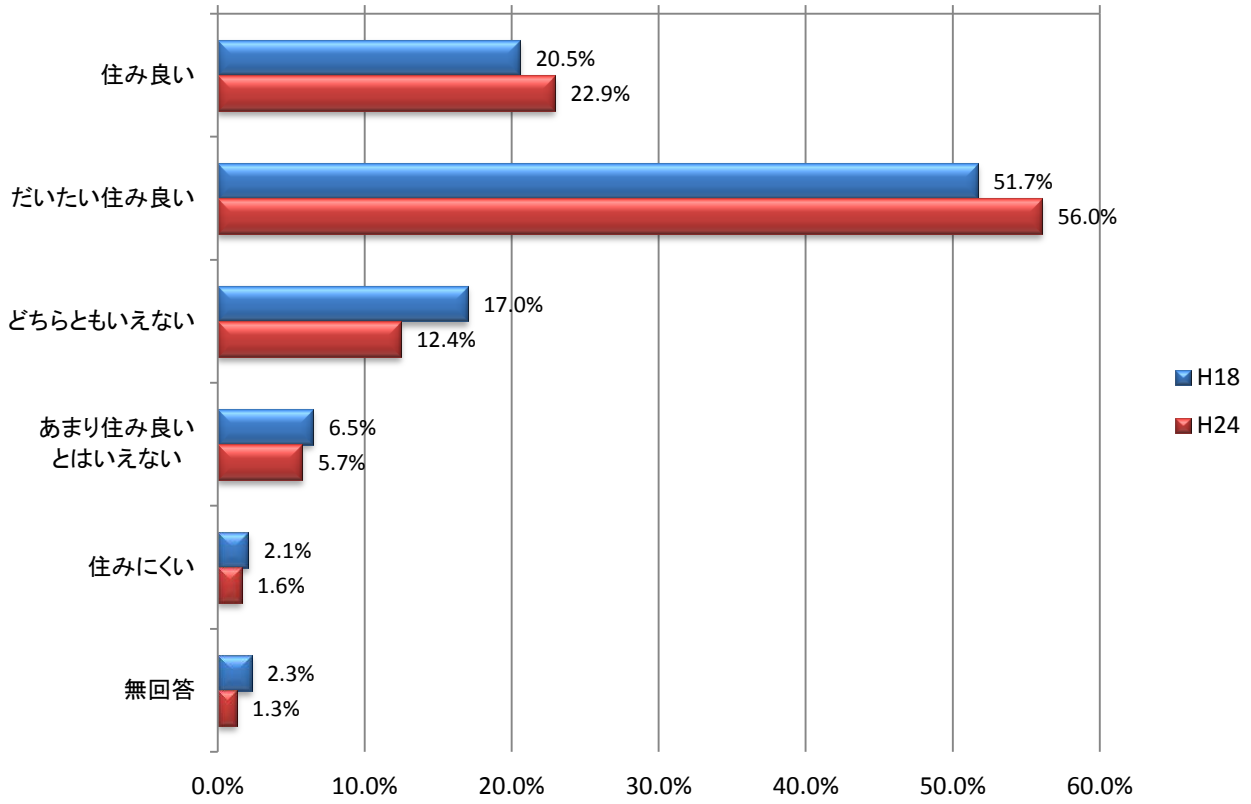
項　　目	H18	H24
住み良い	289	271
だいたい住み良い	727	663
どちらともいえない	239	147
あまり住み良いとはいえない	91	68
住みにくい	29	19
無回答	32	15
合　　計	1,407	1,183

■全体

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合（78.9%）が、「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合（7.3%）を上回りました。

■前回調査時との比較

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合は、72.2%から78.9%に増加しました。
「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合は、8.6%から7.3%に減少しました。



※年齢別による集計

		住み良い	だいたい住み良い	どちらともいえない	あまり住み良いとはいえない	住みにくい	無回答	合計
20歳未満	H18	0	4	3	2	1	0	**10**
	H24	9	17	4	4	0	0	**34**
20～24歳	H18	11	45	13	5	2	4	**80**
	H24	11	18	5	6	2	1	**43**
25～29歳	H18	19	34	17	4	1	1	**76**
	H24	11	25	9	3	2	1	**51**
30～34歳	H18	9	39	16	6	1	0	**71**
	H24	8	37	10	1	2	0	**58**
35～39歳	H18	13	47	16	6	1	0	**83**
	H24	15	37	7	5	1	0	**65**
40～44歳	H18	10	43	12	6	2	0	**73**
	H24	8	32	7	6	1	0	**54**
45～49歳	H18	11	56	23	9	4	2	**105**
	H24	20	54	8	3	2	0	**87**
50～54歳	H18	22	78	24	10	1	0	**135**
	H24	19	74	14	3	3	0	**113**
55～59歳	H18	33	87	27	9	4	4	**164**
	H24	28	59	14	5	1	0	**107**
60～64歳	H18	31	64	22	8	3	4	**132**
	H24	26	92	24	7	3	3	**155**
65～69歳	H18	37	66	24	7	5	2	**141**
	H24	42	87	15	9	1	0	**154**
70～74歳	H18	34	75	14	11	2	3	**139**
	H24	32	55	12	6	0	3	**108**
75歳以上	H18	57	86	25	7	2	12	**189**
	H24	42	74	17	10	1	7	**151**
無回答	H18	2	3	3	1	0	0	**9**
	H24	0	2	1	0	0	0	**3**
合計	H18	**289**	**727**	**239**	**91**	**29**	**32**	**1,407**
	H24	**271**	**663**	**147**	**68**	**19**	**15**	**1,183**

■全体

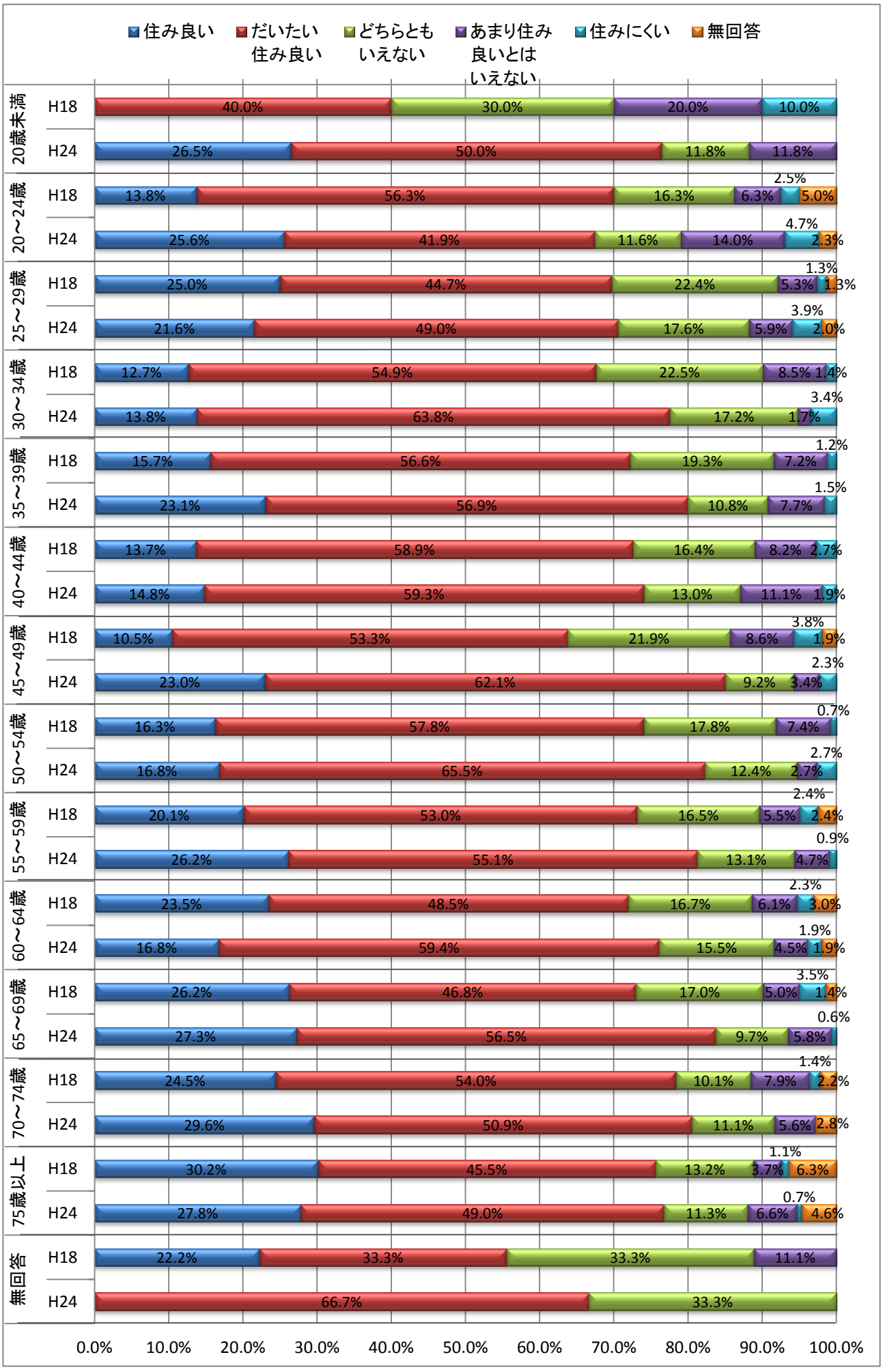
「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合は、すべての年代において「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合を上回りました。

■前回調査時との比較

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合が増加した年代は、20歳未満（40.0%→76.5%）、45歳～49歳（63.8%→85.1%）他でした。

「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合が減少した年代は、20歳未満（30.0%→11.8%）、45歳～49歳（12.4%→5.7%）他でした。

「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合が増加した年代は、20～24歳（8.8%→18.7%）、75歳以上（4.8%→7.3%）他でした。


住み良い
だいたい住み良い
どちらともいえない
あまり住み良いとはいえない
住みにくい
無回答
20歳未満
H18 40.0% 30.0% 20.0% 10.0%
H24 26.5% 50.0% 11.8% 11.8%
20～24歳
H18 13.8% 56.3% 16.3% 6.3% 2.5% 5.0%
H24 25.6% 41.9% 11.6% 14.0% 4.7% 2.3%
25～29歳
H18 25.0% 44.7% 22.4% 5.3% 1.3% 1.3%
H24 21.6% 49.0% 17.6% 5.9% 3.9% 2.0%
30～34歳
H18 12.7% 54.9% 22.5% 8.5% 1.4%
H24 13.8% 63.8% 17.2% 1.7% 3.4%
35～39歳
H18 15.7% 56.6% 19.3% 7.2% 1.2%
H24 23.1% 56.9% 10.8% 7.7% 1.5%
40～44歳
H18 13.7% 58.9% 16.4% 8.2% 2.7%
H24 14.8% 59.3% 13.0% 11.1% 1.9%
45～49歳
H18 10.5% 53.3% 21.9% 8.6% 3.8% 1.9%
H24 23.0% 62.1% 9.2% 3.4% 2.3%
50～54歳
H18 16.3% 57.8% 17.8% 7.4% 0.7%
H24 16.8% 65.5% 12.4% 2.7% 2.7%
55～59歳
H18 20.1% 53.0% 16.5% 5.5% 2.4% 2.4%
H24 26.2% 55.1% 13.1% 4.7% 0.9%
60～64歳
H18 23.5% 48.5% 16.7% 6.1% 2.3% 3.0%
H24 16.8% 59.4% 15.5% 4.5% 1.9% 1.9%
65～69歳
H18 26.2% 46.8% 17.0% 5.0% 3.5% 1.4%
H24 27.3% 56.5% 9.7% 5.8% 0.6%
70～74歳
H18 24.5% 54.0% 10.1% 7.9% 1.4% 2.2%
H24 29.6% 50.9% 11.1% 5.6% 2.8%
75歳以上
H18 30.2% 45.5% 13.2% 3.7% 1.1% 6.3%
H24 27.8% 49.0% 11.3% 6.6% 0.7% 4.6%
無回答
H18 22.2% 33.3% 33.3% 11.1%
H24 66.7% 33.3%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

※校区別による集計

		住み良い	だいたい住み良い	どちらともいえない	あまり住み良いとはいえない	住みにくい	無回答	合計
本山	H18	10	38	9	2	2	1	**62**
	H24	22	26	5	1	0	0	**54**
赤崎	H18	26	50	13	7	3	4	**103**
	H24	28	53	14	0	1	2	**98**
須恵	H18	49	80	21	12	2	4	**168**
	H24	36	82	15	6	1	2	**142**
小野田	H18	39	74	27	7	3	1	**151**
	H24	35	71	13	7	2	2	**130**
高泊	H18	23	63	24	5	2	4	**121**
	H24	11	46	7	3	2	2	**71**
高千帆	H18	50	103	27	12	3	5	**200**
	H24	48	96	22	4	1	1	**172**
有帆	H18	20	68	20	5	3	1	**117**
	H24	12	61	10	5	0	0	**88**
厚狭	H18	42	134	50	21	5	6	**258**
	H24	34	126	34	20	7	3	**224**
厚陽	H18	5	29	7	7	1	2	**51**
	H24	13	20	8	4	0	0	**45**
出合	H18	8	35	11	2	3	1	**60**
	H24	9	15	4	6	1	1	**36**
埴生	H18	8	25	17	4	1	2	**57**
	H24	18	51	9	10	2	1	**91**
津布田	H18	6	25	10	6	1	1	**49**
	H24	5	16	4	2	2	1	**30**
無回答	H18	3	3	3	1	0	0	**10**
	H24	0	0	2	0	0	0	**2**
合計	H18	**289**	**727**	**239**	**91**	**29**	**32**	**1,407**
	H24	**271**	**663**	**147**	**68**	**19**	**15**	**1,183**

■全体

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合は、すべての校区において「あまり住み良いとはいえない」又は「住みにくい」と答えた方の割合を上回っています。

■前回調査時との比較

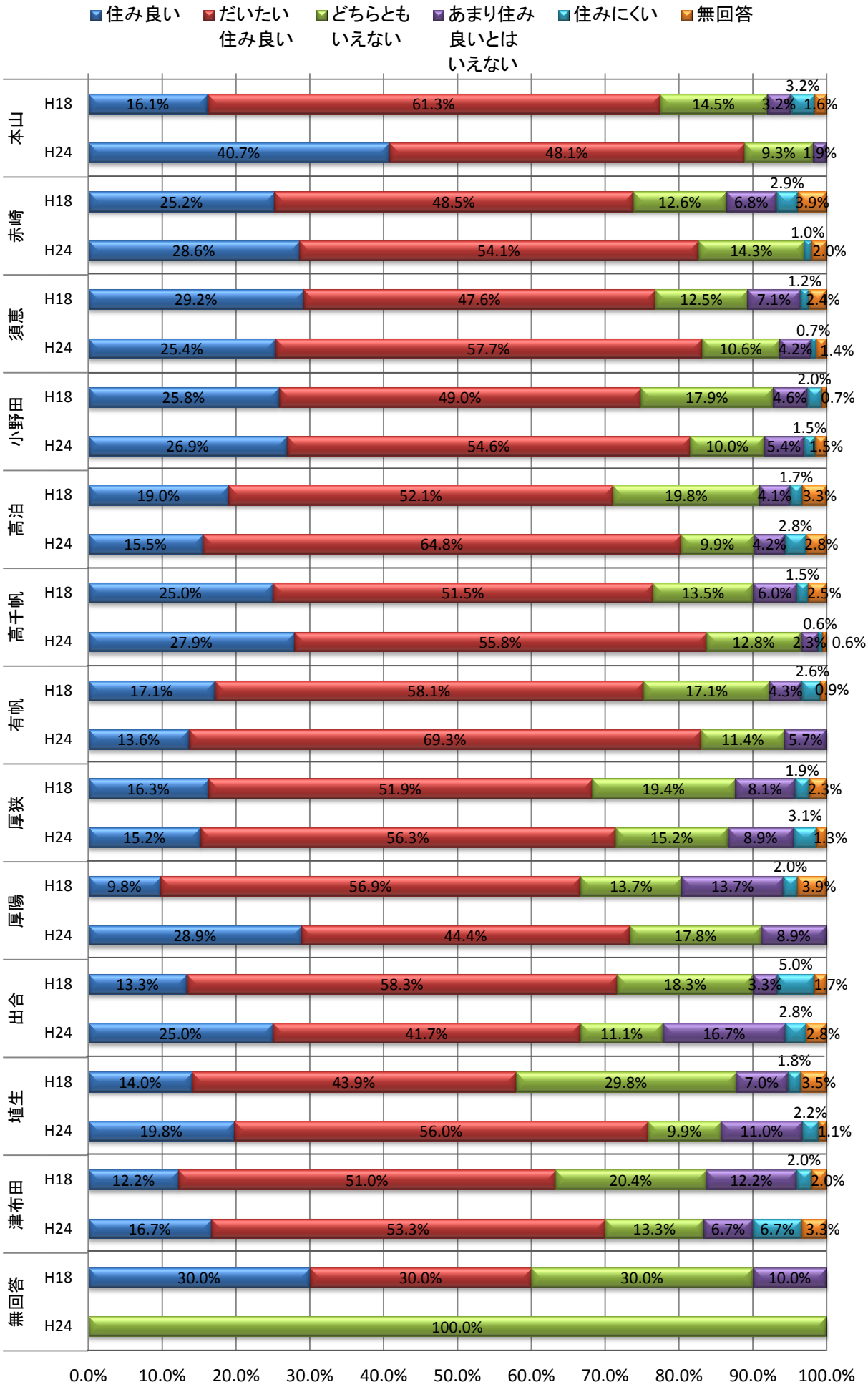
「住み良い」と答えた方の割合が増加した校区は、本山校区（16.1%→40.7%）、厚陽校区（9.8%→28.9%）、出合校区（13.3%→25.0%）他でした。

「住み良い」又は「だいたい住み良い」と答えた方の割合が増加した校区は、埴生校区（57.9%→75.8%）他でした。

「住みにくい」又は「あまり住み良いとはいえない」と答えた方の割合が減少した校区は、本山校区（6.4%→1.9%）、赤崎校区（9.7%→1.0%）、高千帆校区（7.5%→2.9%）他でした。

「住みにくい」又は「あまり住み良いとはいえない」と答えた方の割合が増加した校区は、出合校区（8.3%→19.5%）、埴生校区（8.8%→13.2%）他でした。

埴生校区では、住み良いと感じている方、住み良いと感じていない方の両方が、前回調査時より増加しているという結果になりました。


住み良い
だいたい住み良い
どちらともいえない
あまり住み良いとはいえない
住みにくい
無回答
本山
H18 16.1% 61.3% 14.5% 3.2% 3.2% 1.6%
H24 40.7% 48.1% 9.3% 1.9%
赤崎
H18 25.2% 48.5% 12.6% 6.8% 2.9% 3.9%
H24 28.6% 54.1% 14.3% 1.0% 2.0%
須恵
H18 29.2% 47.6% 12.5% 7.1% 1.2% 2.4%
H24 25.4% 57.7% 10.6% 4.2% 0.7% 1.4%
小野田
H18 25.8% 49.0% 17.9% 4.6% 2.0% 0.7%
H24 26.9% 54.6% 10.0% 5.4% 1.5% 1.5%
高泊
H18 19.0% 52.1% 19.8% 4.1% 1.7% 3.3%
H24 15.5% 64.8% 9.9% 4.2% 2.8% 2.8%
高千帆
H18 25.0% 51.5% 13.5% 6.0% 1.5% 2.5%
H24 27.9% 55.8% 12.8% 2.3% 0.6% 0.6%
有帆
H18 17.1% 58.1% 17.1% 4.3% 2.6% 0.9%
H24 13.6% 69.3% 11.4% 5.7%
厚狭
H18 16.3% 51.9% 19.4% 8.1% 1.9% 2.3%
H24 15.2% 56.3% 15.2% 8.9% 3.1% 1.3%
厚陽
H18 9.8% 56.9% 13.7% 13.7% 2.0% 3.9%
H24 28.9% 44.4% 17.8% 8.9%
出合
H18 13.3% 58.3% 18.3% 3.3% 5.0% 1.7%
H24 25.0% 41.7% 11.1% 16.7% 2.8% 2.8%
埴生
H18 14.0% 43.9% 29.8% 7.0% 1.8% 3.5%
H24 19.8% 56.0% 9.9% 11.0% 2.2% 1.1%
津布田
H18 12.2% 51.0% 20.4% 12.2% 2.0% 2.0%
H24 16.7% 53.3% 13.3% 6.7% 6.7% 3.3%
無回答
H18 30.0% 30.0% 30.0% 10.0%
H24 100.0%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

memo

問34　あなたは、山陽小野田市に愛着を感じていますか？

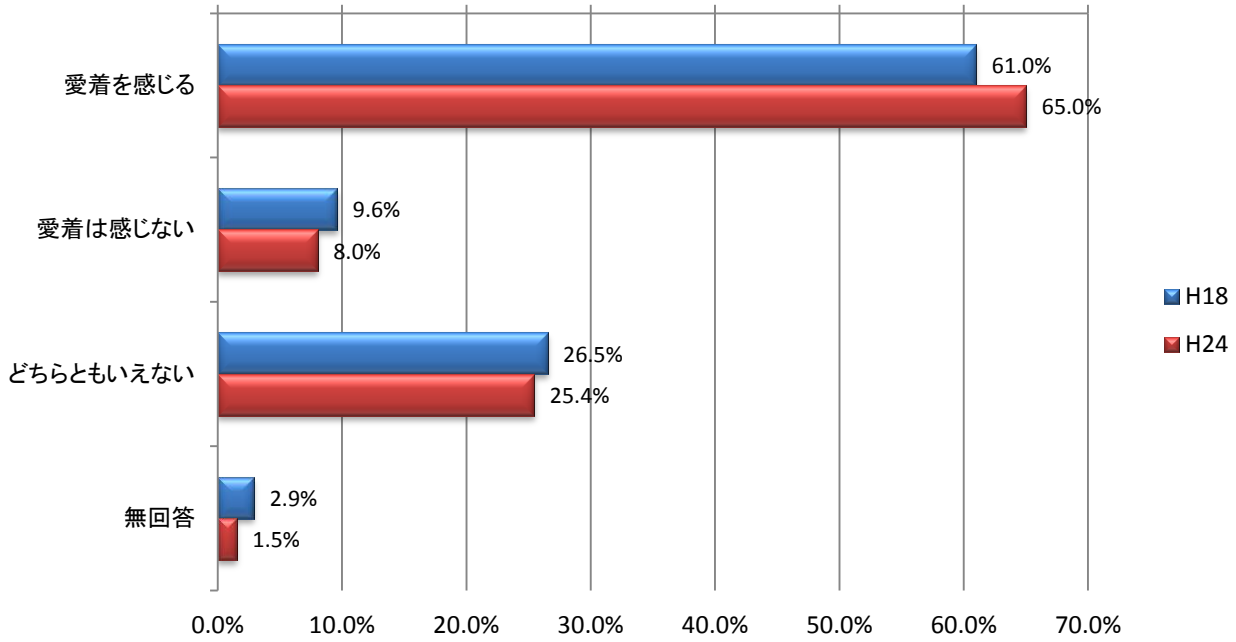
項　　目	H18	H24
愛着を感じる	858	769
愛着は感じない	135	95
どちらともいえない	373	301
無回答	41	18
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「愛着を感じる」と答えた方の割合（65.0%）が、「愛着は感じない」と答えた方の割合（8.0%）を上回りました。

■前回調査時との比較

「愛着を感じる」と答えた方の割合は61.0%→65.0%に増加し、「愛着は感じない」と答えた方の割合は9.6%→8.0%に減少しました。



※年齢別による集計

		愛着を感じる	愛着は感じない	どちらともいえない	無回答	無回答
20歳未満	H18	4	2	4	0	**10**
	H24	18	5	11	0	**34**
20～24歳	H18	47	6	23	4	**80**
	H24	30	4	8	1	**43**
25～29歳	H18	45	13	17	1	**76**
	H24	29	5	17	0	**51**
30～34歳	H18	39	14	17	1	**71**
	H24	33	9	16	0	**58**
35～39歳	H18	43	13	27	0	**83**
	H24	38	9	18	0	**65**
40～44歳	H18	41	8	24	0	**73**
	H24	30	7	17	0	**54**
45～49歳	H18	51	14	38	2	**105**
	H24	57	11	19	0	**87**
50～54歳	H18	81	15	38	1	**135**
	H24	70	10	33	0	**113**
55～59歳	H18	102	17	41	4	**164**
	H24	75	5	26	1	**107**
60～64歳	H18	87	11	31	3	**132**
	H24	95	8	48	4	**155**
65～69歳	H18	92	10	35	4	**141**
	H24	109	9	35	1	**154**
70～74歳	H18	96	6	31	6	**139**
	H24	79	2	24	3	**108**
75歳以上	H18	125	4	45	15	**189**
	H24	105	10	28	8	**151**
無回答	H18	5	2	2	0	**9**
	H24	1	1	1	0	**3**
合計	H18	**858**	**135**	**373**	**41**	**1,407**
	H24	**769**	**95**	**301**	**18**	**1,183**

■全体

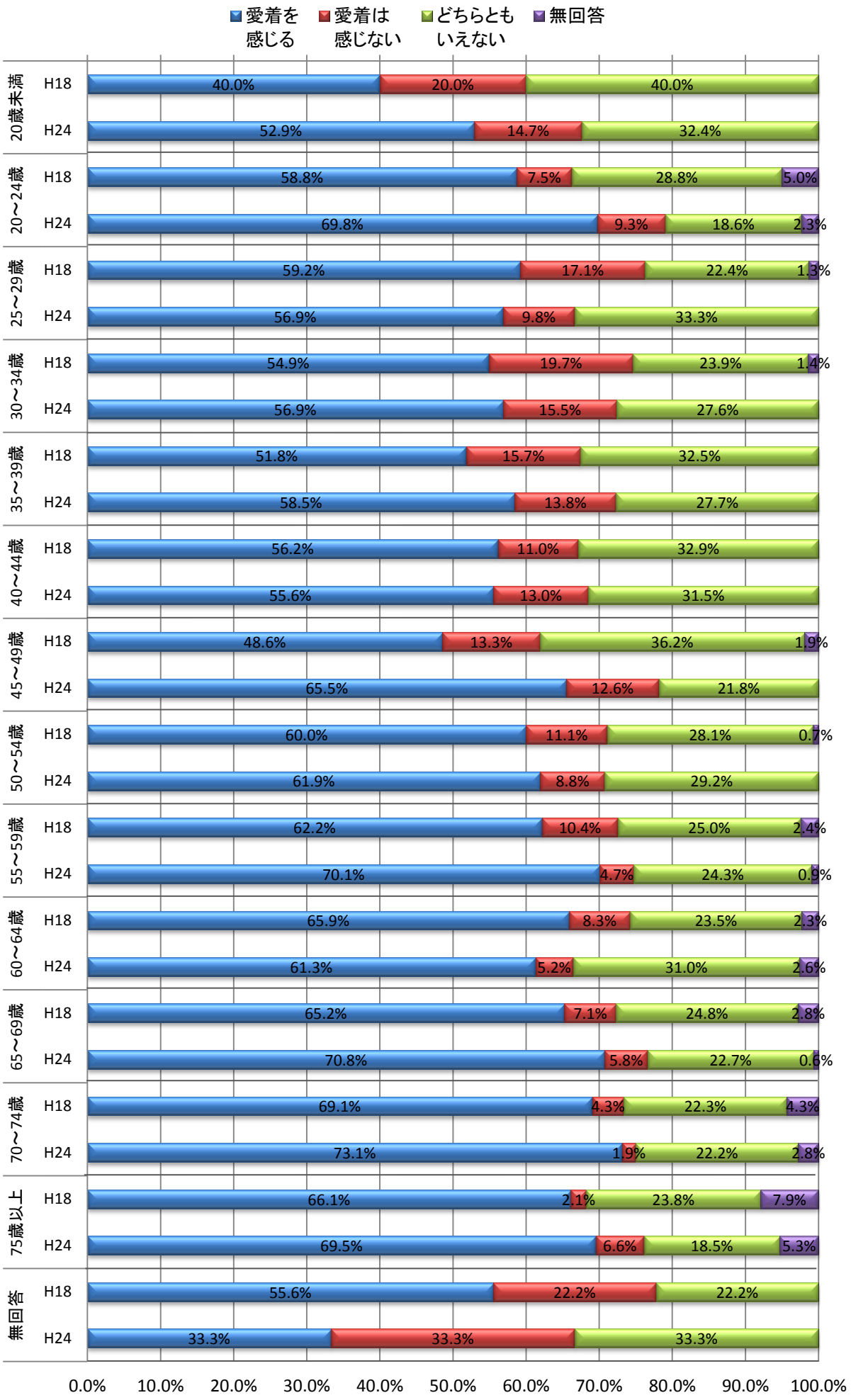
「愛着を感じる」と答えた方の割合は、すべての年代において「愛着は感じない」と答えた方の割合を上回っています。

■前回調査時との比較

「愛着を感じる」と答えた方の割合が増加した年代は、20歳未満（40.0%→52.9%）、45歳～49歳（48.6%→65.5%）他でした。

「愛着は感じない」と答えた方の割合が減少した年代は、25歳～29歳（17.1%→9.8%）、55歳～59歳（10.4%→4.7%）、70歳～74歳（4.3%→1.9%）他でした。

「愛着は感じない」と答えた方の割合が増加したのは、75歳以上（2.1%→6.6%）他でした。


愛着を感じる
愛着は感じない
どちらともいえない
無回答
20歳未満 H18 40.0% 20.0% 40.0%
H24 52.9% 14.7% 32.4%
20～24歳 H18 58.8% 7.5% 28.8% 5.0%
H24 69.8% 9.3% 18.6% 2.3%
25～29歳 H18 59.2% 17.1% 22.4% 1.3%
H24 56.9% 9.8% 33.3%
30～34歳 H18 54.9% 19.7% 23.9% 1.4%
H24 56.9% 15.5% 27.6%
35～39歳 H18 51.8% 15.7% 32.5%
H24 58.5% 13.8% 27.7%
40～44歳 H18 56.2% 11.0% 32.9%
H24 55.6% 13.0% 31.5%
45～49歳 H18 48.6% 13.3% 36.2% 1.9%
H24 65.5% 12.6% 21.8%
50～54歳 H18 60.0% 11.1% 28.1% 0.7%
H24 61.9% 8.8% 29.2%
55～59歳 H18 62.2% 10.4% 25.0% 2.4%
H24 70.1% 4.7% 24.3% 0.9%
60～64歳 H18 65.9% 8.3% 23.5% 2.3%
H24 61.3% 5.2% 31.0% 2.6%
65～69歳 H18 65.2% 7.1% 24.8% 2.8%
H24 70.8% 5.8% 22.7% 0.6%
70～74歳 H18 69.1% 4.3% 22.3% 4.3%
H24 73.1% 1.9% 22.2% 2.8%
75歳以上 H18 66.1% 2.1% 23.8% 7.9%
H24 69.5% 6.6% 18.5% 5.3%
無回答 H18 55.6% 22.2% 22.2%
H24 33.3% 33.3% 33.3%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

※校区別による集計

		愛着を感じる	愛着は感じない	どちらともいえない	無回答	合計
本山	H18	46	4	11	1	**62**
	H24	46	0	8	0	**54**
赤崎	H18	69	15	15	4	**103**
	H24	73	5	18	2	**98**
須恵	H18	108	19	34	7	**168**
	H24	92	12	36	2	**142**
小野田	H18	95	10	44	2	**151**
	H24	78	15	34	3	**130**
高泊	H18	68	14	33	6	**121**
	H24	45	4	19	3	**71**
高千帆	H18	129	15	53	3	**200**
	H24	120	13	39	0	**172**
有帆	H18	61	15	39	2	**117**
	H24	62	2	23	1	**88**
厚狭	H18	151	21	77	9	**258**
	H24	128	22	71	3	**224**
厚陽	H18	33	5	10	3	**51**
	H24	33	0	11	1	**45**
出合	H18	35	3	20	2	**60**
	H24	16	8	11	1	**36**
埴生	H18	30	8	18	1	**57**
	H24	59	9	22	1	**91**
津布田	H18	26	6	16	1	**49**
	H24	17	4	8	1	**30**
無回答	H18	7	0	3	0	**10**
	H24	0	1	1	0	**2**
合計	H18	**858**	**135**	**373**	**41**	1,407
	H24	**769**	**95**	**301**	**18**	1,183

■全体

「愛着を感じる」と答えた方の割合は、すべての校区において「愛着は感じない」と答えた方の割合を上回っています。

本山校区、厚陽校区では、「愛着は感じない」と答えた方はいませんでした。

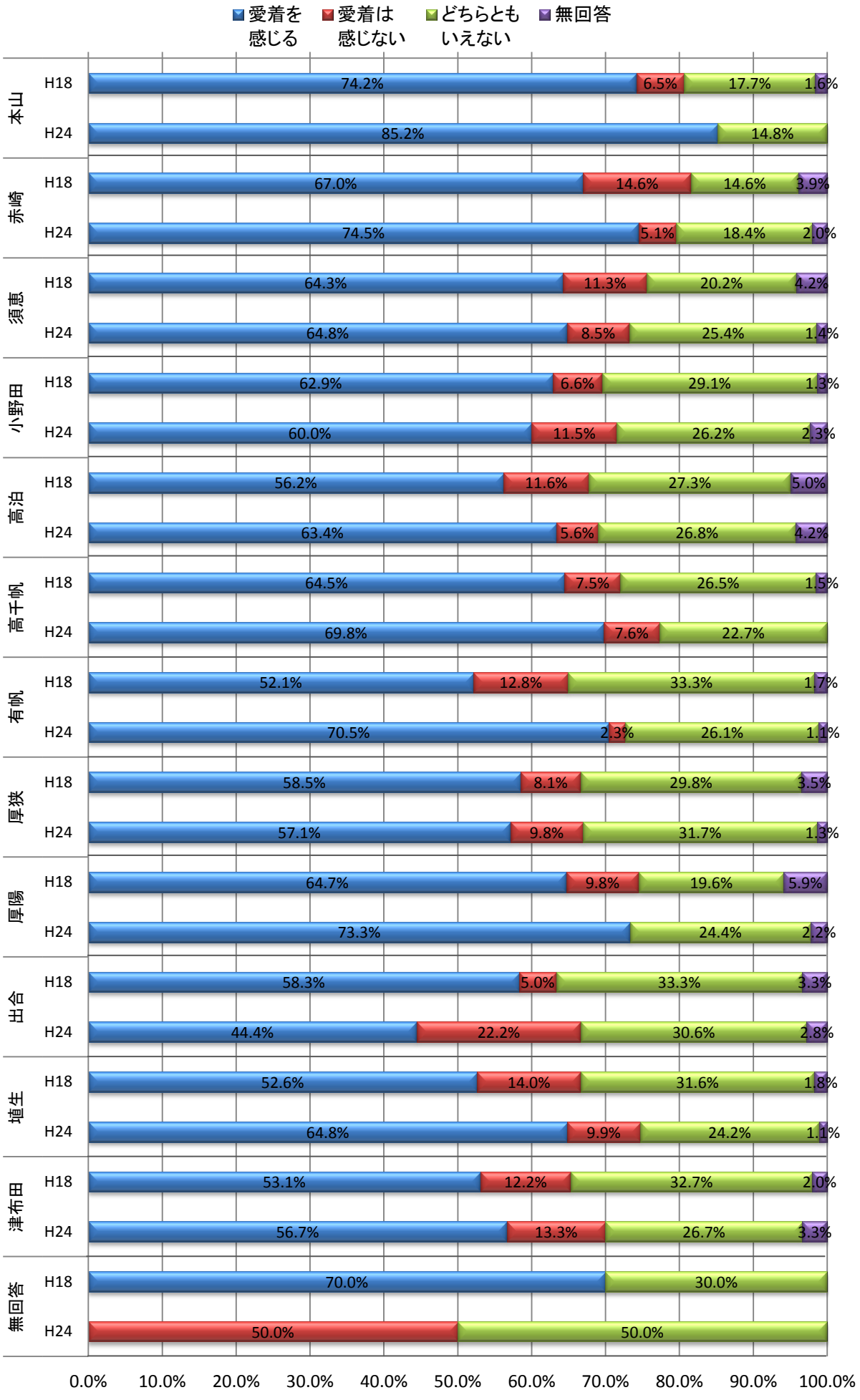
■前回調査時との比較

「愛着を感じる」と答えた方の割合が増加した校区は、有帆校区（52.1%→70.5%）、埴生校区（52.6%→64.8%）他でした。

「愛着を感じる」と答えた方の割合が減少した校区は、出合校区（58.3%→44.4%）他でした。

「愛着は感じない」と答えた方の割合が減少した校区は、赤崎校区（14.6%→5.1%）、高泊校区（11.6%→5.6%）、有帆校区（12.8%→2.3%）他でした。

「愛着は感じない」と答えた方の割合が増加した校区は、小野田校区（6.6%→11.5%）、出合校区（5.0%→22.2%）他でした。


愛着を感じる
愛着は感じない
どちらともいえない
無回答
本山
H18 74.2% 6.5% 17.7% 1.6%
H24 85.2% 14.8%
赤崎
H18 67.0% 14.6% 14.6% 3.9%
H24 74.5% 5.1% 18.4% 2.0%
須恵
H18 64.3% 11.3% 20.2% 4.2%
H24 64.8% 8.5% 25.4% 1.4%
小野田
H18 62.9% 6.6% 29.1% 1.3%
H24 60.0% 11.5% 26.2% 2.3%
高泊
H18 56.2% 11.6% 27.3% 5.0%
H24 63.4% 5.6% 26.8% 4.2%
高千帆
H18 64.5% 7.5% 26.5% 1.5%
H24 69.8% 7.6% 22.7%
有帆
H18 52.1% 12.8% 33.3% 1.7%
H24 70.5% 2.3% 26.1% 1.1%
厚狭
H18 58.5% 8.1% 29.8% 3.5%
H24 57.1% 9.8% 31.7% 1.3%
厚陽
H18 64.7% 9.8% 19.6% 5.9%
H24 73.3% 24.4% 2.2%
出合
H18 58.3% 5.0% 33.3% 3.3%
H24 44.4% 22.2% 30.6% 2.8%
埴生
H18 52.6% 14.0% 31.6% 1.8%
H24 64.8% 9.9% 24.2% 1.1%
津布田
H18 53.1% 12.2% 32.7% 2.0%
H24 56.7% 13.3% 26.7% 3.3%
無回答
H18 70.0% 30.0%
H24 50.0% 50.0%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

memo

問35　今後も、山陽小野田市に住みたいと思いますか？

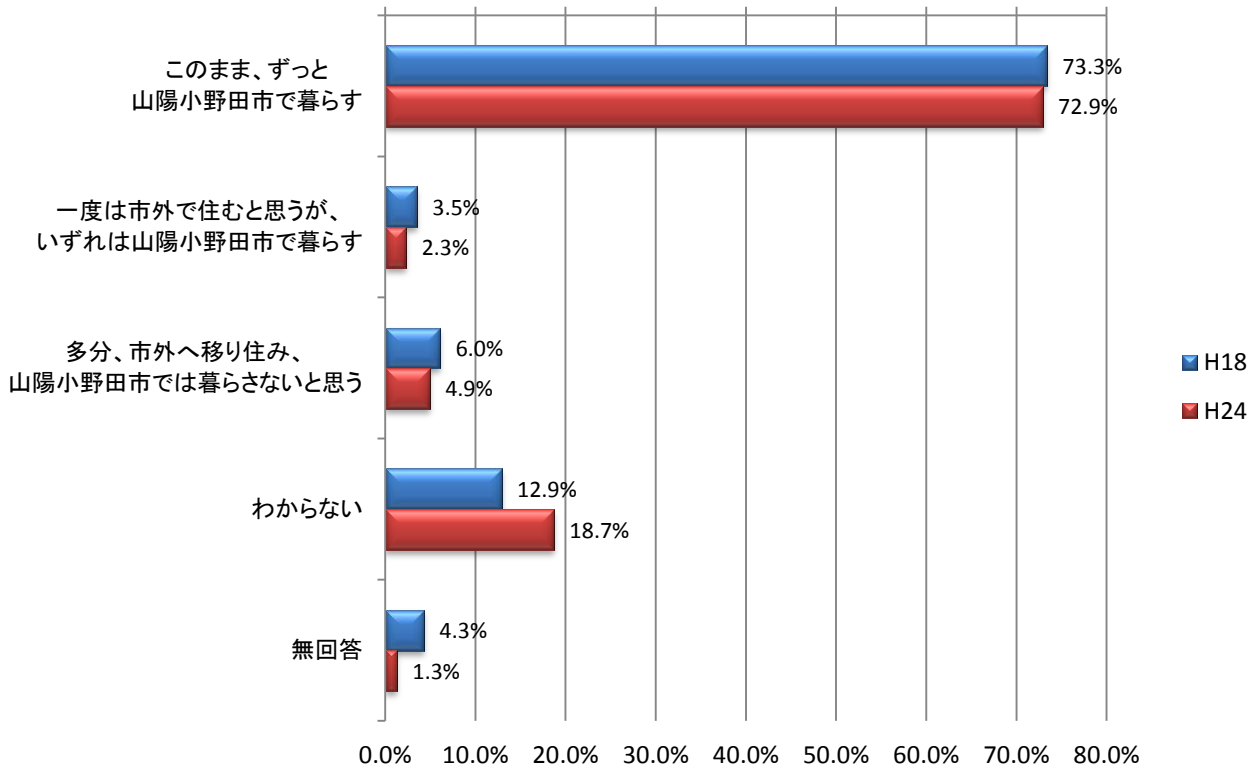
項　　目	H18	H24
このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす	1,032	862
一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす	49	27
多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う	85	58
わからない	181	221
無回答	60	15
合　　計	**1,407**	**1,183**

■全体

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」又は「一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合（75.2%）が、「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方の割合（4.9%）を上回っています。

■前回調査時との比較

前回調査時と今回とで大きな変動は見られませんでした。



※年齢別による集計

		このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす	一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす	多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う	わからない	無回答	合計
20歳未満	H18	1	4	5	0	0	10
	H24	10	5	3	16	0	34
20～24歳	H18	20	22	8	25	5	80
	H24	12	9	5	16	1	43
25～29歳	H18	37	4	10	24	1	76
	H24	21	4	6	20	0	51
30～34歳	H18	38	3	8	20	2	71
	H24	29	2	7	20	0	58
35～39歳	H18	52	4	10	15	2	83
	H24	41	1	4	19	0	65
40～44歳	H18	48	3	7	14	1	73
	H24	29	1	7	17	0	54
45～49歳	H18	74	2	6	18	5	105
	H24	56	3	4	24	0	87
50～54歳	H18	108	1	9	15	2	135
	H24	80	0	9	24	0	113
55～59歳	H18	132	2	8	16	6	164
	H24	83	2	8	14	0	107
60～64歳	H18	115	2	4	7	4	132
	H24	132	0	1	19	3	155
65～69歳	H18	122	1	1	8	9	141
	H24	143	0	1	10	0	154
70～74歳	H18	123	0	4	4	8	139
	H24	96	0	2	7	3	108
75歳以上	H18	154	1	5	14	15	189
	H24	128	0	1	14	8	151
無回答	H18	8	0	0	1	0	9
	H24	2	0	0	1	0	3
合計	H18	1,032	49	85	181	60	1,407
	H24	862	27	58	221	15	1,183

■全体

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合は、年齢が高くなるにつれて高くなっています。

「一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合は、年齢が低くなるにつれて高くなっています。

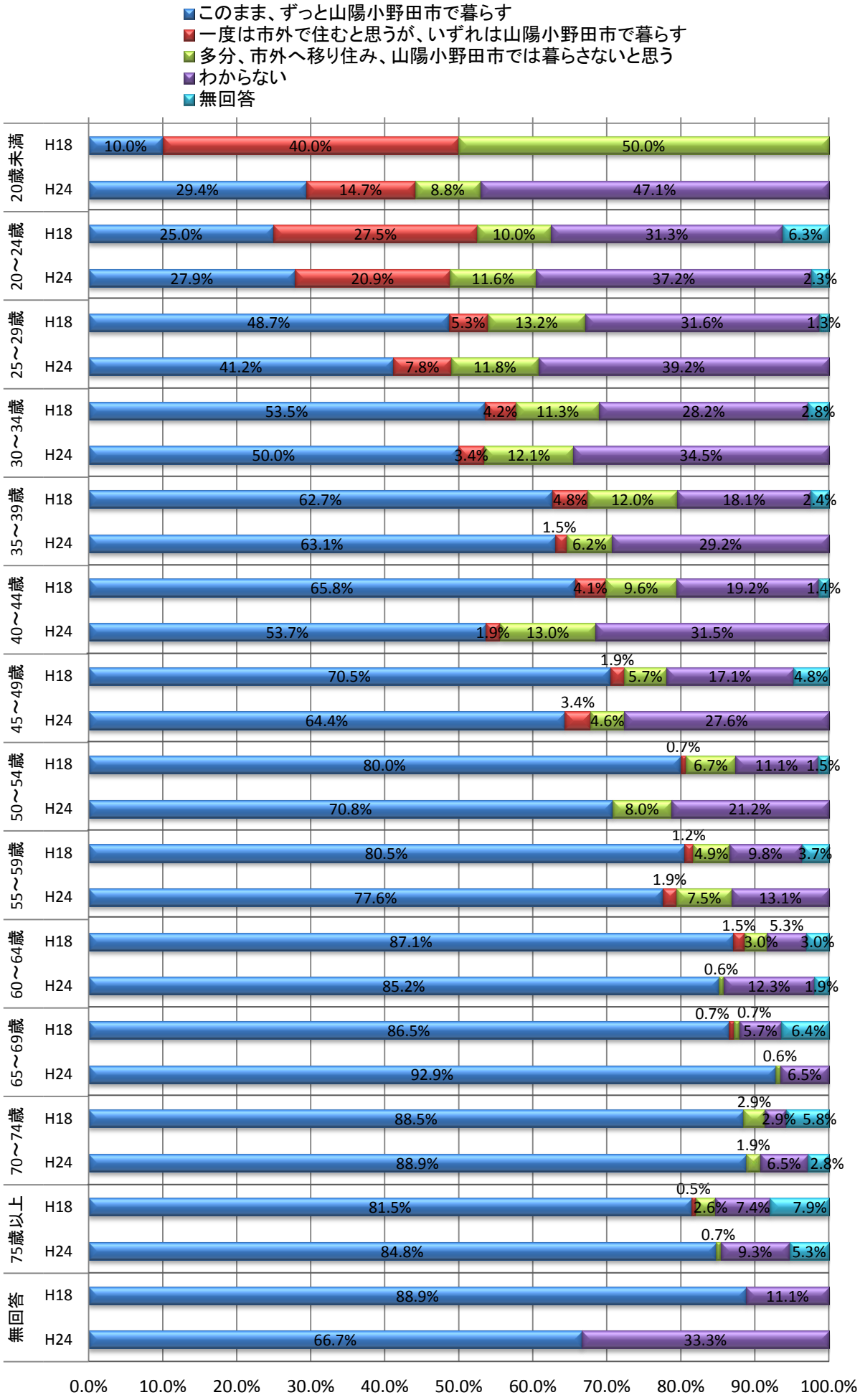
■前回調査時との比較

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が増加した年代は、20歳未満（10.0%→29.4%）他でした。

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が減少した年代は、40歳～44歳（65.8%→53.7%）、50歳～54歳（80.0%→70.8%）他でした。

「一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が減少した年代は、20歳未満（40.0%→14.7%）、35歳～39歳（4.8%→1.5%）、40歳～44歳（4.1%→1.9%）他でした。

「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方の割合が減少した年代は、20歳未満（50.0%→8.8%）、35歳～39歳（12.0%→6.2%）、60歳～64歳（3.0%→0.6%）、75歳以上（2.6%→0.7%）他でした。


このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす
一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす
多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う
わからない
無回答
20歳未満 H18 10.0% 40.0% 50.0%
H24 29.4% 14.7% 8.8% 47.1%
20～24歳 H18 25.0% 27.5% 10.0% 31.3% 6.3%
H24 27.9% 20.9% 11.6% 37.2% 2.3%
25～29歳 H18 48.7% 5.3% 13.2% 31.6% 1.3%
H24 41.2% 7.8% 11.8% 39.2%
30～34歳 H18 53.5% 4.2% 11.3% 28.2% 2.8%
H24 50.0% 3.4% 12.1% 34.5%
35～39歳 H18 62.7% 4.8% 12.0% 18.1% 2.4%
H24 63.1% 1.5% 6.2% 29.2%
40～44歳 H18 65.8% 4.1% 9.6% 19.2% 1.4%
H24 53.7% 1.9% 13.0% 31.5%
45～49歳 H18 70.5% 1.9% 5.7% 17.1% 4.8%
H24 64.4% 3.4% 4.6% 27.6%
50～54歳 H18 80.0% 0.7% 6.7% 11.1% 1.5%
H24 70.8% 8.0% 21.2%
55～59歳 H18 80.5% 1.2% 4.9% 9.8% 3.7%
H24 77.6% 1.9% 7.5% 13.1%
60～64歳 H18 87.1% 1.5% 3.0% 5.3% 3.0%
H24 85.2% 0.6% 12.3% 1.9%
65～69歳 H18 86.5% 0.7% 0.7% 5.7% 6.4%
H24 92.9% 0.6% 6.5%
70～74歳 H18 88.5% 2.9% 2.9% 5.8%
H24 88.9% 1.9% 6.5% 2.8%
75歳以上 H18 81.5% 0.5% 2.6% 7.4% 7.9%
H24 84.8% 0.7% 9.3% 5.3%
無回答 H18 88.9% 11.1%
H24 66.7% 33.3%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

※校区別による集計

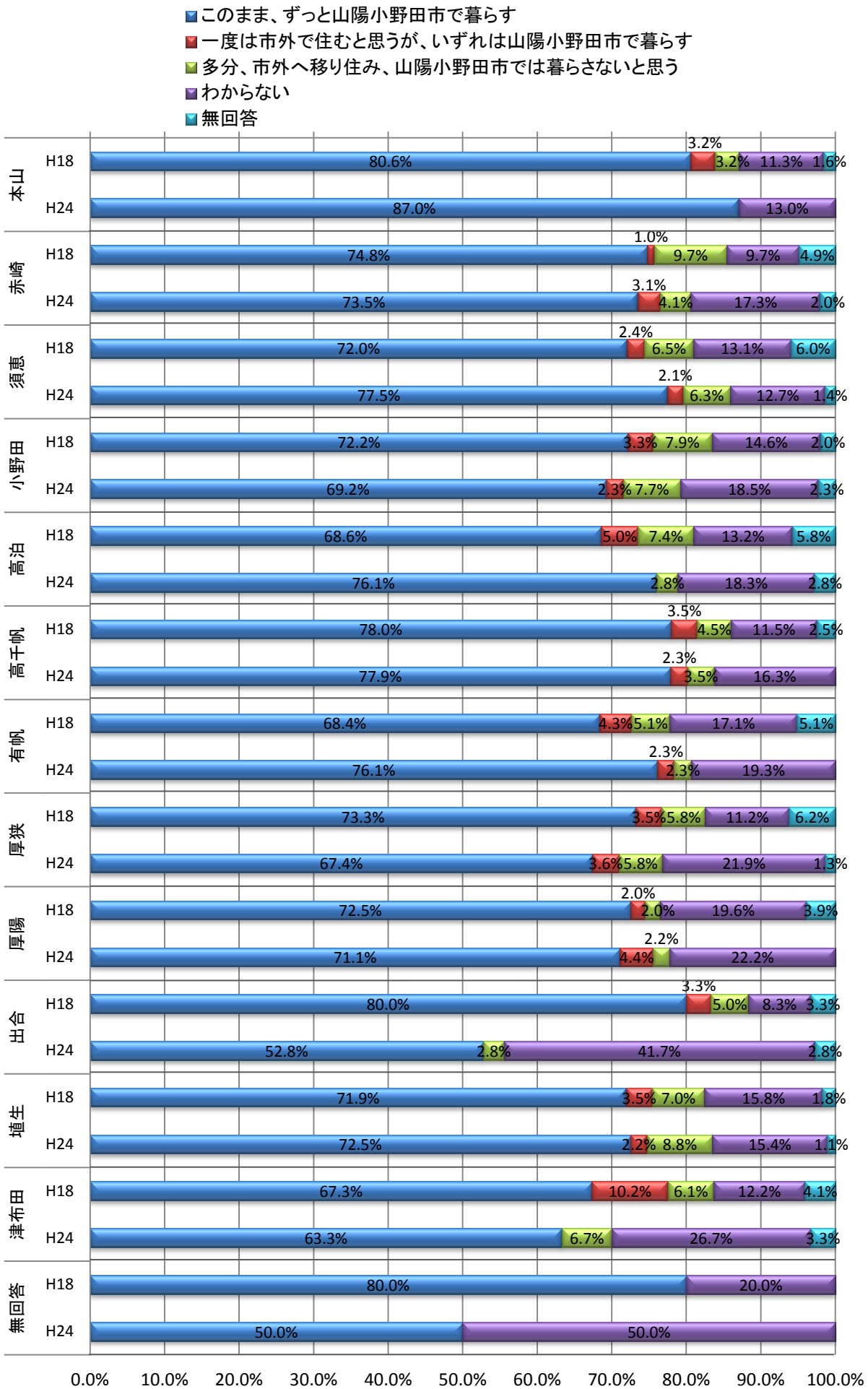
		このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす	一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす	多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う	わからない	無回答	合計
本山	H18	50	2	2	7	1	62
	H24	47	0	0	7	0	54
赤崎	H18	77	1	10	10	5	103
	H24	72	3	4	17	2	98
須恵	H18	121	4	11	22	10	168
	H24	110	3	9	18	2	142
小野田	H18	109	5	12	22	3	151
	H24	90	3	10	24	3	130
高泊	H18	83	6	9	16	7	121
	H24	54	0	2	13	2	71
高千帆	H18	156	7	9	23	5	200
	H24	134	4	6	28	0	172
有帆	H18	80	5	6	20	6	117
	H24	67	2	2	17	0	88
厚狭	H18	189	9	15	29	16	258
	H24	151	8	13	49	3	224
厚陽	H18	37	1	1	10	2	51
	H24	32	2	1	10	0	45
出合	H18	48	2	3	5	2	60
	H24	19	0	1	15	1	36
埴生	H18	41	2	4	9	1	57
	H24	66	2	8	14	1	91
津布田	H18	33	5	3	6	2	49
	H24	19	0	2	8	1	30
無回答	H18	8	0	0	2	0	10
	H24	1	0	0	1	0	2
合計	H18	**1,032**	**49**	**85**	**181**	**60**	**1,407**
	H24	**862**	**27**	**58**	**221**	**15**	**1,183**

■全体

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が高かったのは、本山校区（87.0%）、高千帆校区（77.9%）、須恵校区（77.5%）の順でした。
「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が低かったのは、出合校区（52.8%）、津布田校区（63.3%）、厚狭校区（67.4%）の順でした。

■前回調査時との比較

「このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす」と答えた方の割合が減少したのは、出合校区（80.0%→52.8%）他でした。
「多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う」と答えた方の割合が減少したのは、赤崎校区（9.7%→4.1%）、高泊校区（7.4%→2.8%）、有帆校区（5.1%→2.3%）他でした。


このまま、ずっと山陽小野田市で暮らす
一度は市外で住むと思うが、いずれは山陽小野田市で暮らす
多分、市外へ移り住み、山陽小野田市では暮らさないと思う
わからない
無回答
本山
H18 80.6% 3.2% 3.2% 11.3% 1.6%
H24 87.0% 13.0%
赤崎
H18 74.8% 1.0% 9.7% 9.7% 4.9%
H24 73.5% 3.1% 4.1% 17.3% 2.0%
須恵
H18 72.0% 2.4% 6.5% 13.1% 6.0%
H24 77.5% 2.1% 6.3% 12.7% 1.4%
小野田
H18 72.2% 3.3% 7.9% 14.6% 2.0%
H24 69.2% 2.3% 7.7% 18.5% 2.3%
高泊
H18 68.6% 5.0% 7.4% 13.2% 5.8%
H24 76.1% 2.8% 18.3% 2.8%
高千帆
H18 78.0% 3.5% 4.5% 11.5% 2.5%
H24 77.9% 2.3% 3.5% 16.3%
有帆
H18 68.4% 4.3% 5.1% 17.1% 5.1%
H24 76.1% 2.3% 19.3%
厚狭
H18 73.3% 3.5% 5.8% 11.2% 6.2%
H24 67.4% 3.6% 5.8% 21.9% 1.3%
厚陽
H18 72.5% 2.0% 2.0% 19.6% 3.9%
H24 71.1% 2.2% 4.4% 22.2%
出合
H18 80.0% 3.3% 5.0% 8.3% 3.3%
H24 52.8% 2.8% 41.7% 2.8%
埴生
H18 71.9% 3.5% 7.0% 15.8% 1.8%
H24 72.5% 2.2% 8.8% 15.4% 1.1%
津布田
H18 67.3% 10.2% 6.1% 12.2% 4.1%
H24 63.3% 6.7% 26.7% 3.3%
無回答
H18 80.0% 20.0%
H24 50.0% 50.0%
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

問36　問35で「1」または「2」と回答した方は、山陽小野田市に住みたいと思う理由は何ですか？

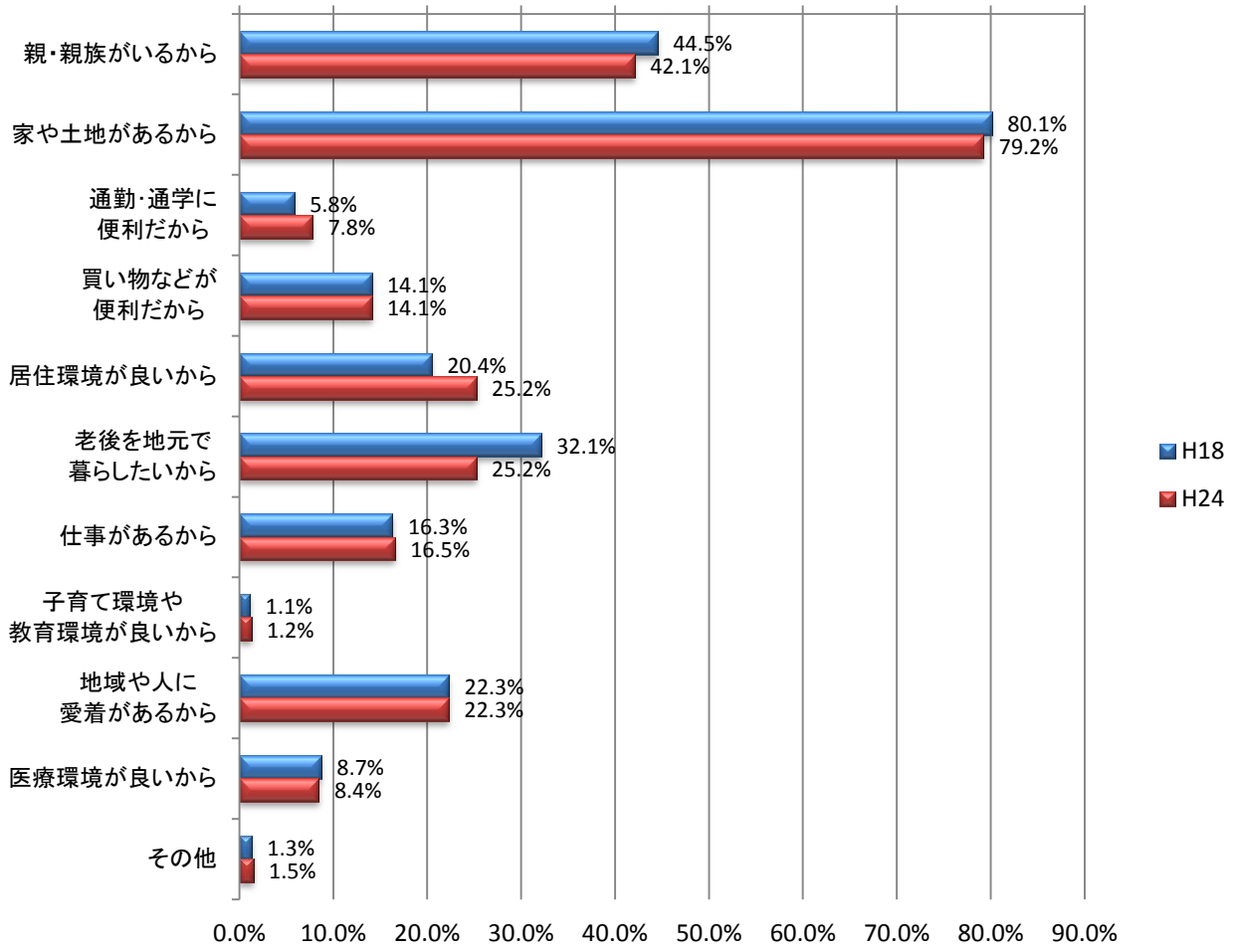
項　　目	H18	H24
親・親族がいるから	481	374
家や土地があるから	866	704
通勤･通学に便利だから	63	69
買い物などが便利だから	152	125
居住環境が良いから	221	224
老後を地元で暮らしたいから	347	224
仕事があるから	176	147
子育て環境や教育環境が良いから	12	11
地域や人に愛着があるから	241	198
医療環境が良いから	94	75
その他	14	13
合　　計	**1,081**	**889**

■全体

「家や土地があるから」（79.2%）、「親・親族がいるから」（42.1%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「居住環境が良いから」が20.4%から25.2%に増加しています。
「老後を地元で暮らしたいから」が32.1%から25.2%に減少しています。



「その他」の意見

祖先の歴史を断絶したくないから
ずっと住んでいるから
子どもを自分と同じ小野田で育てたい
親の墓があるから
生まれた土地だから
子どもを転校などさせたくないから。
子どもの頃からずっと住んでいるところだから
思うようにならないので。
農業をしているから
物価が安い
テレビ番組が多い
50年以上住み続けたから
年齢からいって、住居移転は考えられないから
長年住んだという思い

問37　問35で「3」と回答した方は、今後市外に住みたいと思う理由は何ですか？

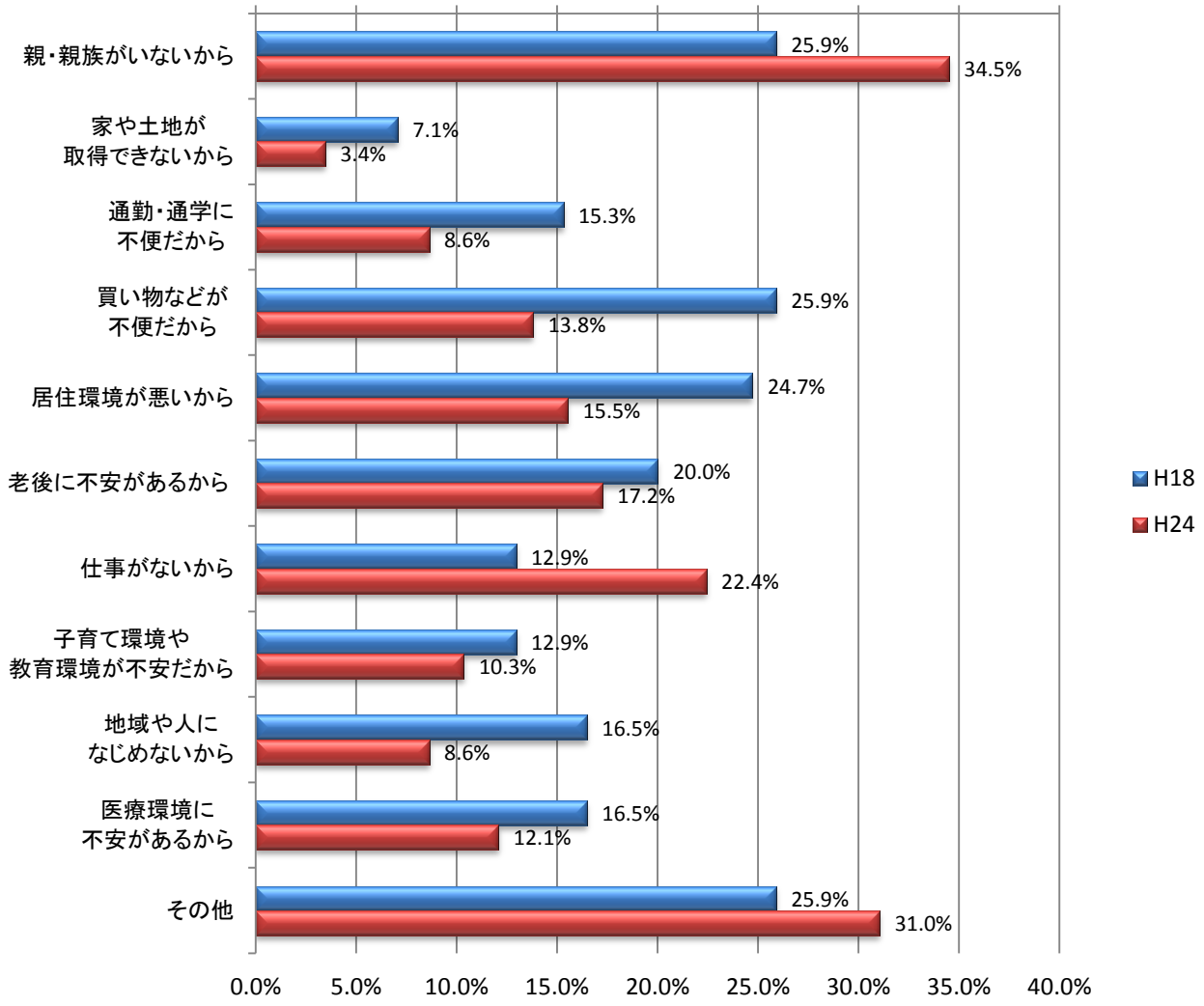
項　　目	H18	H24
親・親族がいないから	22	20
家や土地が取得できないから	6	2
通勤・通学に不便だから	13	5
買い物などが不便だから	22	8
居住環境が悪いから	21	9
老後に不安があるから	17	10
仕事がないから	11	13
子育て環境や教育環境が不安だから	11	6
地域や人になじめないから	14	5
医療環境に不安があるから	14	7
その他	22	18
合　　計	**85**	**58**

■全体

「親・親族がいないから」（34.5%）、「仕事がないから」（22.4%）、「老後に不安があるから」（17.2%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「家や土地が取得できないから」は7.1%から3.4%へ、「通勤・通学に不便だから」は15.3%から8.6%へ、「買い物などが不便だから」は25.9%から13.8%へ、「居住環境が悪いから」は24.7%から15.5%へ、「地域や人になじめないから」は16.5%から8.6%へ減少しました。
「仕事がないから」を選ばれた方は12.9%から22.4%へ増加しました。



「その他」の意見

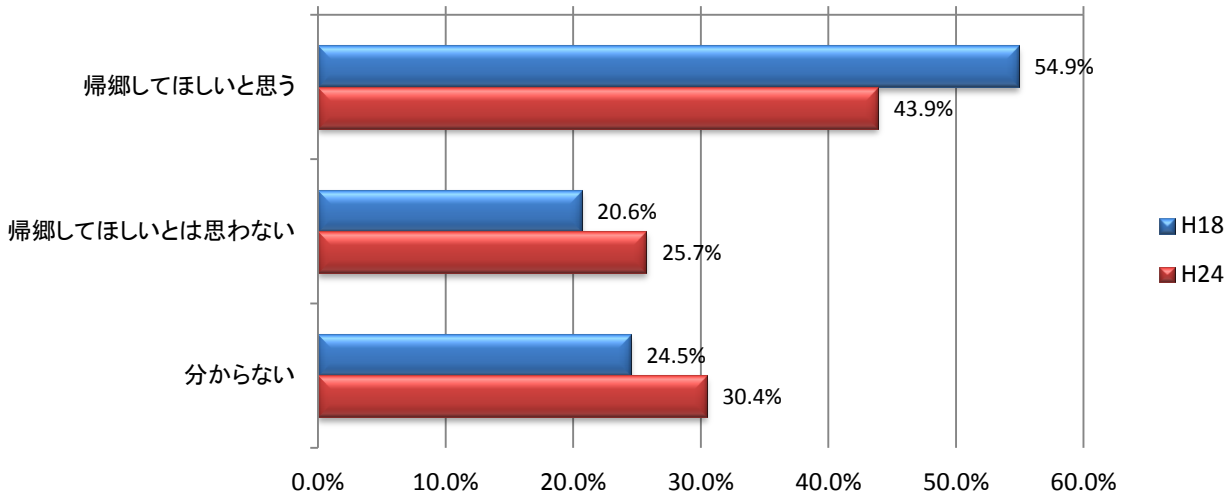
転勤	水害が心配
同居になるから	現在単身赴任中
実家に戻るため	単身赴任中だから
水害がおこるから	市役所の対応の悪さ
JRの本数が少ない	実家は別のところだから
本籍地に戻ると思うから	結婚して市外に出るため
他市で家を取得しているから	税金が安い市外がたくさんある。
単身赴任で市外に自宅を所有するため	扶養しなければならない親族が市外にいるから
就職関係で県外に出て働きたい企業があるから	
本来なら解決されているべき災害にあったから＝人災	
通勤も居住環境も教育環境も老後もここでは全てに不安	
ショッピングセンターがあまりないし、あってもヘボい。	

問38　転出している子ども(孫)に帰郷してほしいと思いますか。

項　　目	H18	H24
帰郷してほしいと思う	343	232
帰郷してほしいとは思わない	129	136
分からない	153	161
合　　計	**625**	**529**

■前回調査時との比較

「帰郷してほしいと思う」と答えた方の割合は54.9%から43.9%に減少し、「帰郷してほしいとは思わない」と答えた方は20.6%から25.7%に増加しました。



memo

問39　問38で「1」と回答した方は、子ども（孫）が帰郷するには、どんな施策が必要だと思いますか？

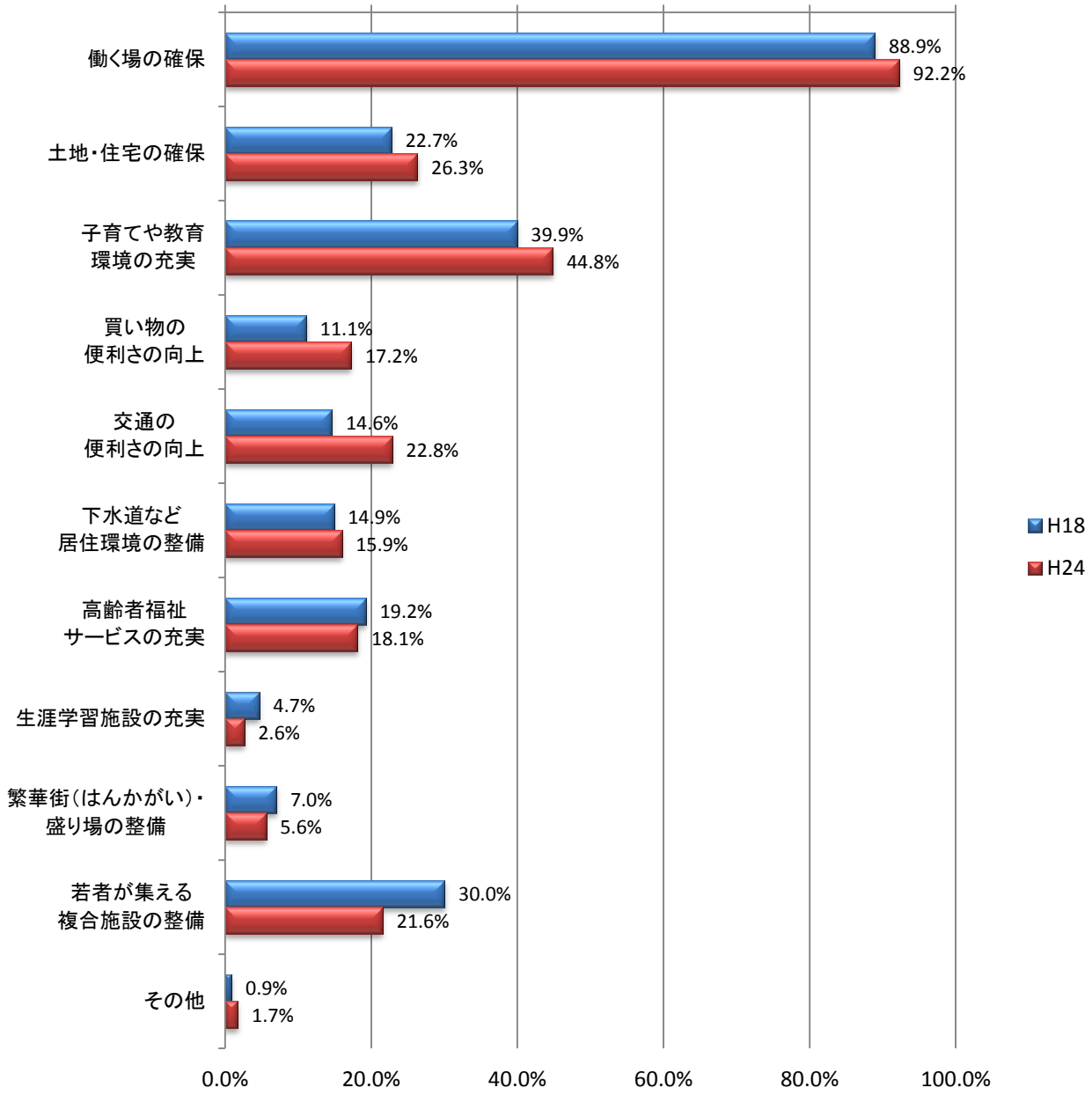
項　　目	H18	H24
働く場の確保	305	214
土地・住宅の確保	78	61
子育てや教育環境の充実	137	104
買い物の便利さの向上	38	40
交通の便利さの向上	50	53
下水道など居住環境の整備	51	37
高齢者福祉サービスの充実	66	42
生涯学習施設の充実	16	6
繁華街（はんかがい）・盛り場の整備	24	13
若者が集える複合施設の整備	103	50
その他	3	4
合　　計	**343**	**232**

■全体

「働く場の確保」と答えた方が92.2%と最も多く、「子育てや教育環境の充実」が44.8%、「土地・住宅の確保」が26.3%と続いています。

■前回調査時との比較

「働く場の確保」の割合は、前回調査時も今回も1位でした。
「買い物の便利さの向上」の割合は11.1%から17.2%へ、「交通の便利さの向上」の割合は14.6%から22.8%へ増加しました。
「生涯学習施設の充実」と答えた方は4.7%から2.6%へ、「若者が集える複合施設の整備」と答えた方は30.0%から21.6%へ減少しました。



「その他」の意見

文化
光ケーブル

問40　あなたは将来に対して、どんなことが不安ですか？

項　　目	H18	H24
自分や家族の健康	685	595
自分や家族の介護	410	482
子どもの将来のこと	311	248
仕事や雇用のこと	262	255
老後の生きがい	267	206
自然災害	255	274
地域の生活環境	142	91
少子・高齢化による地域の衰退（すいたい）	358	308
治安の悪化	193	48
経済的負担	449	396
住まい（住宅）の老朽化	161	166
その他	10	20
合　　計	1,407	1,183

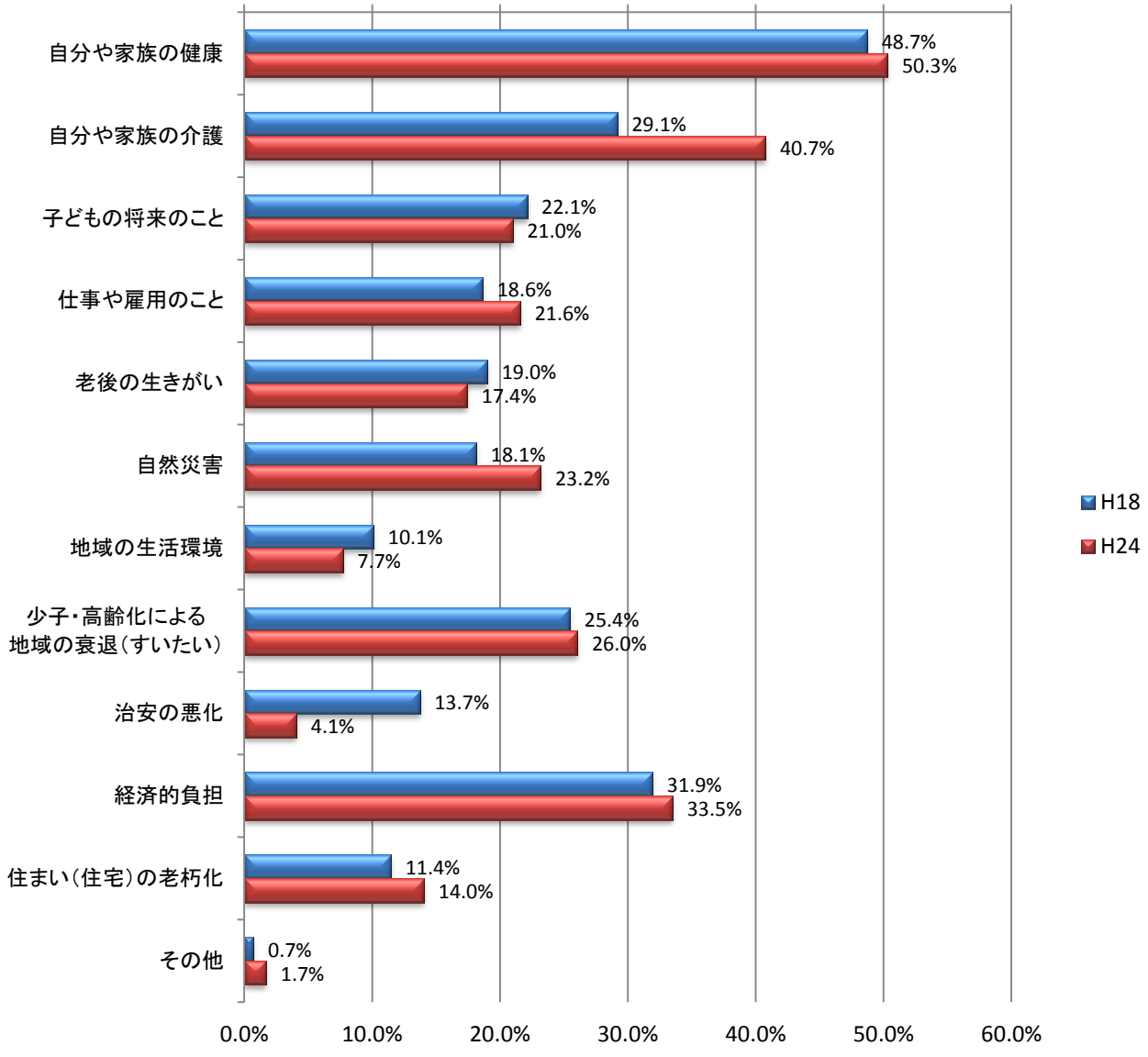
■全体

「自分や家族の健康」（50.3%）、「自分や家族の介護」（40.7%）、「経済的負担」（33.5%）が多く選ばれています。

■前回調査時との比較

「自分や家族の介護」の割合は29.1%から40.7%に、「自然災害」の割合は18.1%から23.2%に増加しています。

「治安の悪化」の割合は13.7%から4.1%に減少しています。



「その他」の意見

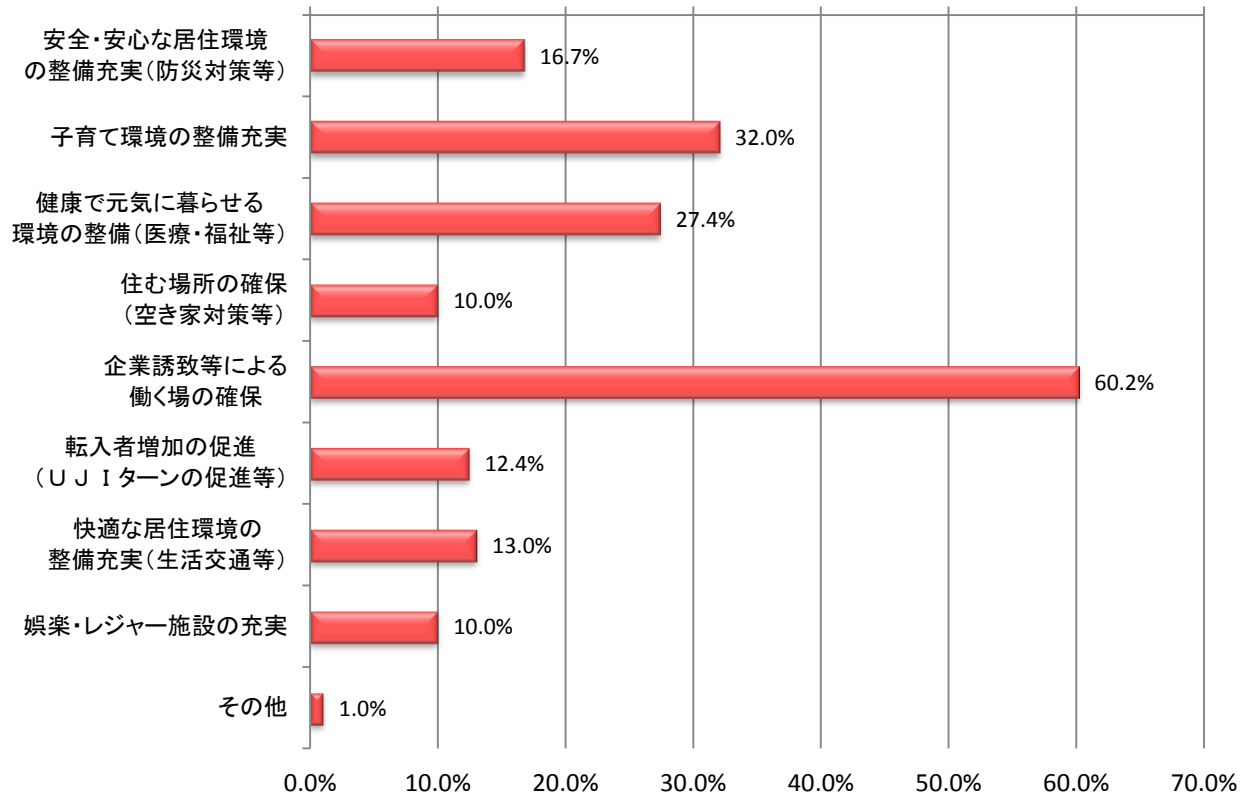
この不便な地に住み続けることや老後の生活が不安
自分の将来について
老後の生活。年金等がちゃんともらえるのか。生活していけるのかが心配。
増税
税金が高い
年金がもらえるのかどうか
自然環境の悪化
得にない
津波、土砂崩れ、満潮時の海水の侵入
住宅の確保
老後の介護と出費、金銭に余裕がないと施設が利用できないのではと聞きます。
年をとっても仕事で生活維持
山陽地区に大きな病院がないこと。
市の借金が増え、次の世代の人たちが負担しなくてはならないこと
原発事故による被害、がれきの広域処理による内部被爆の影響
寒冷化
行政や議会の質の低さ
地域の過疎化
子どもの会社が閉鎖・売却。今後どうすればよいか不安
先行きがみえにくくなってきた経済状況

問41　若者の定住促進策として、特にどのような施策に力をいれるべきと思いますか？

項　　目	H18	H24
安全・安心な居住環境の整備充実（防災対策等）		198
子育て環境の整備充実		379
健康で元気に暮らせる環境の整備（医療・福祉等）		324
住む場所の確保（空き家対策等）		118
企業誘致等による働く場の確保		712
転入者増加の促進（UJIターンの促進等）		147
快適な居住環境の整備充実（生活交通等）		154
娯楽・レジャー施設の充実		118
その他		12
合　　計	0	1,183

■全体

「企業誘致等による働く場の確保」が60.2%と最も多く、次いで「子育て環境の整備充実」が32.0%、「健康で元気に暮らせる環境の整備（医療・福祉等）が27.4%が多く選ばれています。



「その他」の意見

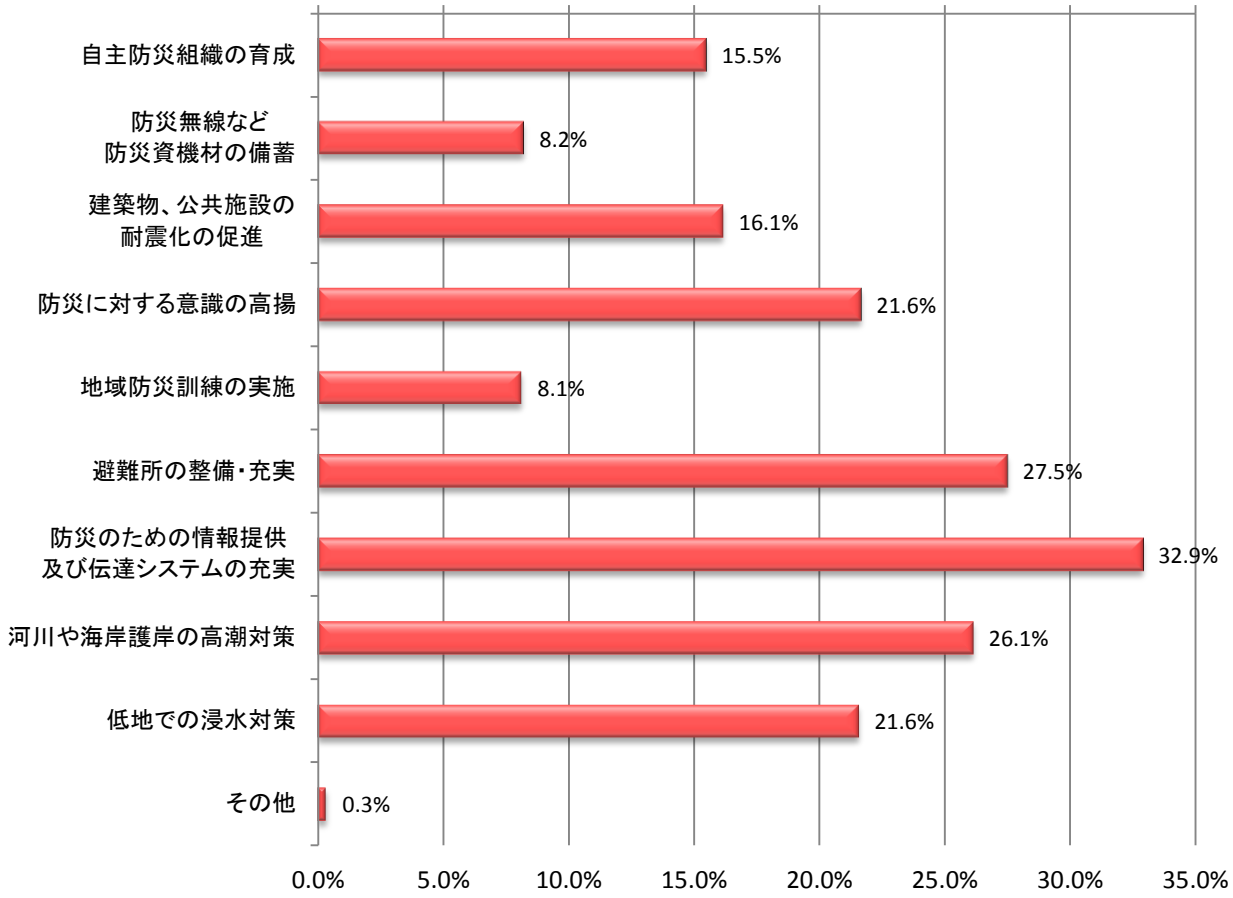
役所の給料を下げる
出会いの場の提供
自治体支援による起業発信
若者にとっては全く魅力がない。若者が住みたいと思う市にする必要があると思う。
市民だけ医療費が安くなるとか、バスの乗り放題チケットとか、の特典があると良いと思う。
志の高い人に場所、人材を提供して起業する。全国的にも例はある。近いところは大島町の地産地消の取り組み。馬路村的な発想を求む。
文化
街の活性化
市営住宅の整備充実
地場産業、地元企業の育成による雇用の確保
幼児教育を徹底する
放射性物質は動かさない。閉じ込める。広げない。ことを市をあげて実行すること。
魅力あるまちづくり

問42　防災対策のために、特にどのような施策に力を入れるべきと思いますか？

項　　目	H18	H24
自主防災組織の育成		183
防災無線など防災資機材の備蓄		97
建築物、公共施設の耐震化の促進		191
防災に対する意識の高揚		256
地域防災訓練の実施		96
避難所の整備・充実		325
防災のための情報提供及び伝達システムの充実		389
河川や海岸護岸の高潮対策		309
低地での浸水対策		255
その他		4
合　　計	0	1,183

■全体

「防災のための情報提供及び伝達システムの充実」が32.9%と最も多く、次いで「避難所の整備・充実」が27.5%、「河川や海岸護岸の高潮対策」が26.1%と多く選ばれています。



「その他」の意見

全て力を入れるべきです
安全な場所へ、水と食料の確保を常にしておく。
低地の建築制限